遠隔監視システム

コルソスCS·D7

通報装置

工事説明書

第6版

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⚠警告 人が **死亡** または **負傷** を負う可能性が想定される内容です

●機器本体から **煙** が出ていたり、 **へんな臭い** がする場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。

●機器本体から **異常音** が出ていたり、機器本体やコード類が **異常に高温** になっている場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。

●上記以外でも、機器をご使用中に **異常** と思われる状態になった場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。

●機器に表示された電源電圧以外の電圧でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●タコ足配線してご使用になりますと、火災の原因となりますので絶対におやめください。

●電源コードを破損し断線させたり、内部電線を露出させたままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり、危険ですので絶対におやめください。

●機器本体の上に花びん、コップ、化粧品、植木鉢、薬品や水の入った容器、小さな金属物をのせたままご使用になりますと、こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●機器本体をふろ場や加湿器のそばなど、湿気の多いところに置いたり、水がかかる恐れのある場所でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●機器本体内に水や金属、紙などの燃えやすい物が入った場合に、そのままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険です。万一異物が入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。

●機器本体を倒したり逆さまにしたままでご使用になりますと火災、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、無理に引っ張る、ねじる、たばねる、コードの上に重いものをのせることなどは、電源コードを断線させ火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●お客様ご自身で機器本体を分解し機器内部の清掃、修理、点検、改造を行うことは火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●機器本体に水をかけたり、通風孔などの開口部から金属類や紙などの燃えやすいものを侵入させないでください。また、機器本体を倒したり、落下させたり、物をぶつけるなどの衝撃を与えないでください。火災、感電、故障の原因となり危険です。

●ぬれた手で電源コードや電源プラグにさわったり、機器を操作されますと感電の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●機器内の蓄電池などの交換をお客様ご自身で行ったり、機器で指定されていない電池を使用されますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。

●周辺装置を架空配線する場合は、避雷器など十分な保護対策を行ってください。

⚠注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみ発生が想定される内容です

●機器本体を規定以外の設置方法(仰向け、横倒し、逆さまなど)でご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を収納箱や本棚など風通しの悪い場所に置いてご使用にならないでください。機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を直接じゅうたんの上や、布団の上に置いてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体にテーブルクロスなどの通気性の悪いカバーを掛けてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。

●機器本体を屋外や直射日光の当たるところ、また冷暖房機の吹き出し口の前などに置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をゴミやほこりの多い場所、また金属粉や有毒ガスの発生する場所に置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置いてご使用にならないでください。故障、誤動作の原因となります。

●機器本体に乗らないでください。倒れたり破損して、けがをする場合があります。

●長時間機器をご使用にならない場合には電源を切り、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

●機器本体に高温の発熱体や熱器具を近づけないでください。溶けて発火したり、変色する場合があります。

●電源コードを高温の発熱体や熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を壁掛けにしてご使用になる場合には、振動や衝撃等によって落下しないようにしっかりと壁に固定してください。機器が落下して、けがをする場合があります。

●機器本体をぐらついた台の上や傾いた所、また振動や衝撃を受けやすい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする場合があります。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となる場合があります。

●コンセントから電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグ本体を持って抜くようにしてください。コードを引っ張りますと、コードが傷つき断線したり、火災、感電の原因となる場合があります。

●機器本体を移動させる場合には、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードを傷つけますと、火災、感電の原因となる場合があります。

お願い 本製品が本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねくことが想定される内容です

★ご使用にあたり次のお願いをお守りください。

●機器本体をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形、破損の原因となります。汚れがひどい場合には、布にうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭き取り、その後かわいた布で拭くようにしてください。

●機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。

●機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置かないでください。故障や、誤動作の原因となる場合があります。

●お客様がご用意された機器を、本システムに接続してご使用になる場合には、あらかじめ販売店もしくはご相談窓口にご確認ください。

本文で、機器とは主装置などの全ての装置を示します

目　次

目　次

1. 概 要

コルソスCS・D7通報装置は、センサからの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、異常／復旧情報やアナログ値情報を音声メッセージやデータで通報します。
また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機等から回線を通じて、現在のセンサの状態を確認することや、出力接点の遠隔制御を行うことができます。また、集音マイク、外部スピーカを接続し、臨場音聴取や拡声を行うことができます。各種オプションセット(別売)を組み合わせて、様々な機能を実現できます。
オプションセットは1セットの実装が可能です。
オプションセットを実装することにより、お客様のニーズに合せたシステムの構築が簡単に実現できます。

例えばEVUセット(エレベータホン通話ユニットセット)を実装すれば、本装置にエレベータホンセットが接続できます。
エレベータホン子機からの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、設置先／子機番号情報をデータで通報し、通報先とハンズフリー／プレストーク通話が可能です。
また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機から回線を通じて、通話方式切替等の遠隔操作を行うことができます。

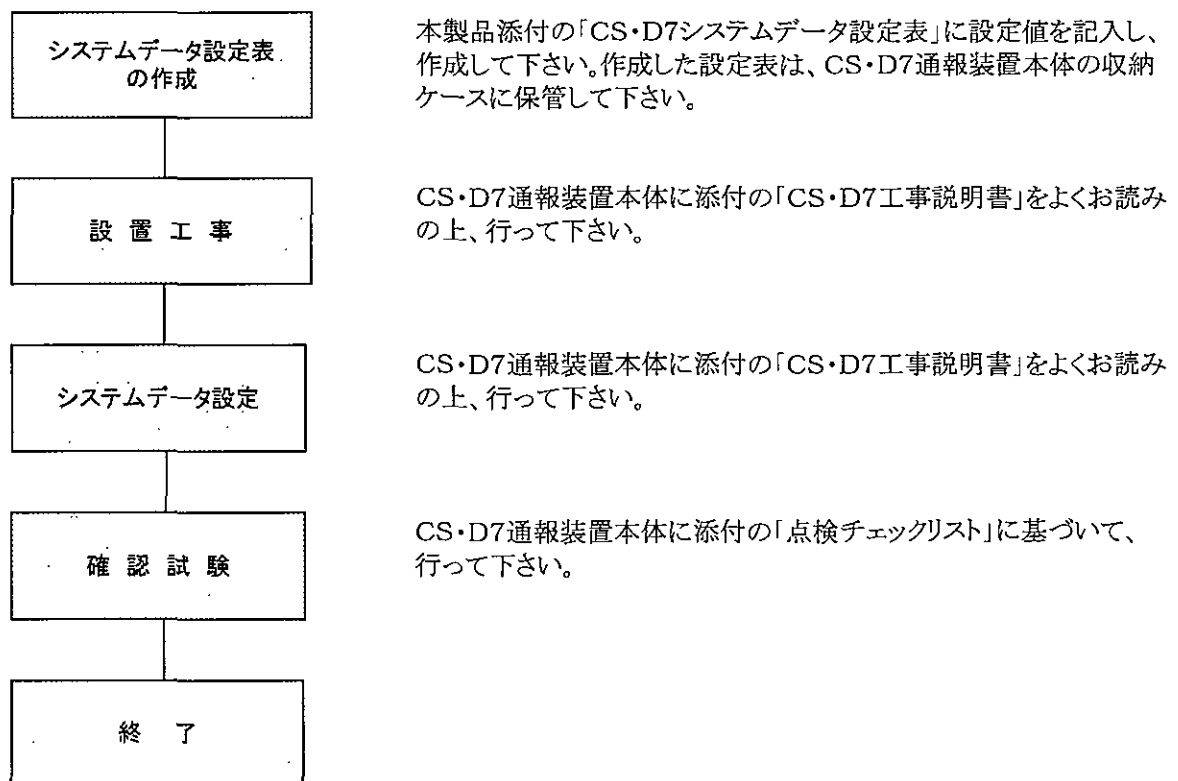
また、FAXセット(FAX通信ユニット)を実装することにより、従来の音声通報、データ(PB)通報に加え、FAXへの通報が可能となります。
FAXへは、各種状態発生情報を表示する異常復旧通報、前日のデータ集計結果等を表示する日報、前月のデータ集計結果等を表示する月報等の各帳票で通報します。
また、FAXからのテレコントロールにより、任意に現在の各種状態や前回、前々回の日報および月報を出力することも可能です。

新設時または既設のシステム変更時は、必ず以下のフローチャートに従って行って下さい。

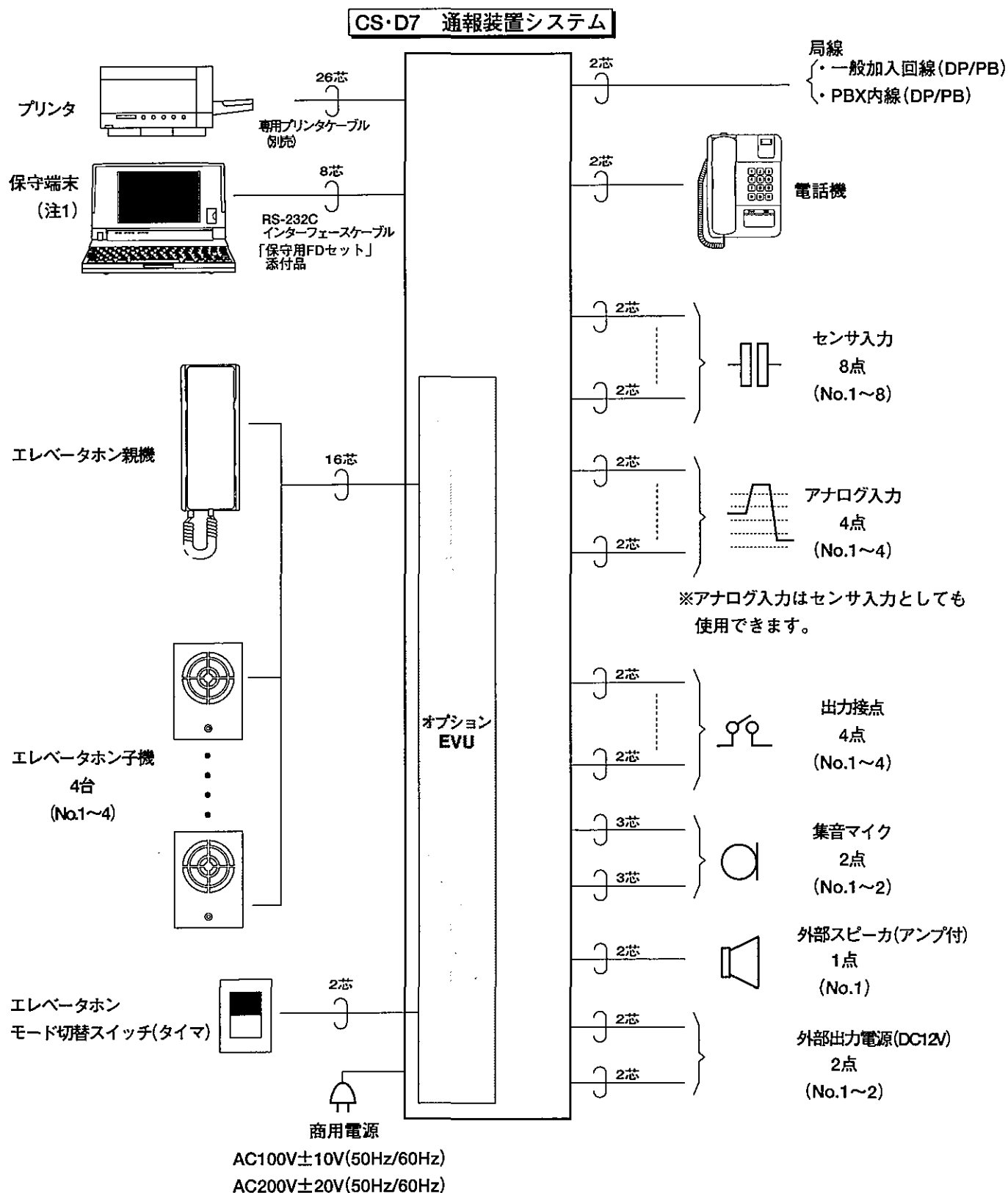
本製品添付の「CS・D7システムデータ設定表」に設定値を記入し、作成して下さい。作成した設定表は、CS・D7通報装置本体の収納ケースに保管して下さい。

CS・D7通報装置本体に添付の「CS・D7工事説明書」をよくお読みの上、行って下さい。

CS・D7通報装置本体に添付の「CS・D7工事説明書」をよくお読みの上、行って下さい。

CS・D7通報装置本体に添付の「点検チェックリスト」に基づいて、行って下さい。

2. システム構成

2.1 システム構成例

本装置にオプションとしてEVUセット：1セットを実装した場合の構成例です。

注1. 保守端末は、「保守用FDセット」(別売)が動作可能なパソコンのことです。

2.2 システム構成品と機能説明

◆基本装置

No	品 名	数量	機能および構成品
1	CS・D7通報装置	1	機能:センサ等の機器を接続し、各通報機能を実現できます。 ・センサ入力:8点 ・アナログ入力:4点 ・出力接点:4点 ・外部出力電源:2点 ・集音マイク:2点 ・外部スピーカ:1点 実装可能なオプションユニット枚数:1枚 構成品( )内は数量: ・CS・D7 通報装置(1) ・カギ(2) ・予備ヒューズ(2) ・木ネジ(4) ・蓄電池(1) ・壁掛け工事シート(1) ・取扱説明書(1) ・工事説明書(1) ・システムデータ設定表(1) ・販売店並びに取付工事店様へのお願い(1) ・点検チェックリスト(1) ・重要回線ラベル(3) ・商品ご相談窓口一覧表(1) ・保証書(1) ・コア大(1) ・コア小(1)

◆オプションユニット

No	品 名	数量	機能および構成品
1	CSD7－EVU－A1	1	機能:エレベータホン通話ユニットのセットです。 指定のエレベータインターホンを接続し、エレベータホン機能を実現できます。 ・インターホン親機端子:1点 ・インターホン子機端子:4点 ・エレベータホンモード切替用端子:1点 構成品( )内は数量: ・CSD7-EVU-A1(1) ・取付ネジ(5) ・コア大(1)
2	CSD7－FAXU－A1	1	機能:FAX通報用ユニットのセットです。 各種帳票(月報・日報・異常復旧通報)でFAXに通報します。 構成品( )内は数量: ・CSD7－FAXU-A1(1) ・取付ネジ (5) ・ユニットカバー(1) ・リチウム電池(EX1335-0010)(1) ・保守用FD(2) ・保守用FDセット運用マニュアル(1) ※保守用FDを使用してパソコンとCSD7を接続する場合は、接続ケーブル(別売)が必要です。(保守用品No. 4参照)

◆オプション品

No	品 名	数量	機能および構成品
1	MT-1Dﾌﾟﾘﾝﾀｹｰﾌﾞﾙ EV8817－0000	1	機能:CS・D7通報装置と外付プリンタを接続する専用プリンタケーブルです。 構成品( )内は数量: ・プリンタケーブル(1)

◆保守用品

No	品 名	数量	機能および構成品
1	保守用FDセット	1	機能:Windows95対応のシステムデータ編集ソフトです。 パソコンにてシステムデータのアップ／ダウンロードが行えます。 アップ／ダウンロード方式は、以下の2通りです。 ①接続ケーブルを使用してCS・D7通報装置に接続し、システムデータをアップ／ダウンロードします。 ②モデムカード(別売)を使用して遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ／ダウンロードします。 構成品( )内は数量:・保守用FD(2) ・接続ケーブル(1) ・取扱説明書(1)
2	モデムカード	1	機能:上記パソコンで、遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ／ダウンロードする為のモデムカードです。 構成品( )内は数量: ・モデムカード(1)
3	蓄電池12V、0.8Ah EX0303－0030	―	機能:交換および増設用の蓄電池です。蓄電池の寿命は、約2年です。 構成品( )内は数量: ・蓄電池(1)
4	HX-PC接続ｹｰﾌﾞﾙ-1 EV9982－0010	1	機能:上記パソコンとCS・D7通報装置を接続し、システムデータをアップ／ダウンロードする為の接続ケーブルです。(保守用FDセットの構成品と同一品です。) 構成品( )内は数量: ・接続ケーブル(1)

3. システム仕様

◆ NCU(回線)

No	項 目	最大容量	記 事
1	適用回線	1	一般加入回線またはPBX内線
2	ダイヤル方式	3	DP(10PPS)／DP(20PPS)／DTMF(PB)
3	ダイヤル桁数	32	0～9、*、#、ポーズ、フラッシュ
4	BT検出	有／無	
5	DTMF信号(データ)		
	送出ゲイン	0～14dB	調整は工事担任者の資格を有するものに限ります。

◆ 通報機能

No	項 目			最大容量	記 事
1	通報機能			10	①センサ(異常・復旧／パルス積算／時間積算) ②アナログ(異常・復旧(しきい値:5)／アナログ積算) ③AND条件 ④定時 ⑤定時状態 ⑥停電・復電 ⑦ローバッテリ ⑧蓄電池交換 ⑨モード切替 ⑩一括
2	センサ／アナログ入力			12	外部スイッチおよび外部停止ボタン使用時は、10入力
	センサ入力数			8	無電圧メーク／ブレーク接点
	センサ／アナログ選択入力数			4	センサ入力:無電圧メーク／ブレーク接点 アナログ入力:電圧0～4.9725V、電流0～20mA (アナログ入力時は、ｱﾅﾛｸﾞｾﾝｻ切替ｽｲｯﾁおよびｼｽﾃﾑﾃﾞｰﾀの設定が必要)
	入力検知時間			0.05秒～5分	
3	その他入出力				
	出力接点数			4	メーク／ブレークを設定可能
	集音マイク接続数			2	
	外部スピーカ接続数			1	
4	通報先				
	通報先電話番号登録件数			32	各通報先毎に以下を設定可能
		通報方式		6	固定音声/録音音声/DTMF/DTMF+固定音声/DTMF+録音音声/ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ
		応答検出方式	音声通報	5	極性反転／応答タイマ／課金パルス／DTMF信号／オーディオ信号
			DTMF通報	1	アンサ信号
			ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ通報	3	極性反転／応答タイマ／課金パルス
	通報グループ数			32	各通報グループ毎に以下を設定可能
		通報モード数		2	通報モード1／通報モード2
		通報宛先設定件数		8	通報先電話番号登録32の中から、各通報モード(1／2)毎に設定可能
		自動発信回数		255	各通報グループ毎に設定可能

◆ エレベータホン機能

No	項 目	最大容量	記 事
1	接続機器		
	インターホン親機接続数	1	
	インターホン子機接続数	4	
2	通報先		
	呼出モード数	3	インターホン／Aグループ／Bグループ
	通報先電話番号登録件数	3	各グループ(A／B)毎に設定可能
	応答検出方式	1	DTMF信号

◆ FAX機能

No	項 目	仕様	記 事
1	形式	送信専用 G3機	
2	送信原稿サイズ	A4 幅216mm	
3	伝送速度	9600／7200／4800／2400bps 自動切替(フォールバック機能)	
4	走査線密度	主走査(水平):8ﾄﾞｯﾄ／mm 副走査(垂直):7.7本／mm	

4. 外形寸法および重量

(オプションユニットの重量は含まれていません)

品 名	重量 (Kg)	外形寸法(mm)		
		幅	高さ	奥行き
CS・D7 通報装置	約3	263	355	74

5. システム定格

◆電源電圧・消費電力

動作電源電圧	AC100V±10V(50Hz/60Hz) AC200V±20V(50Hz/60Hz)				
消費電力	オプションユニット実装枚数	消費電力			
		待機時		動作時(最大)	
		100V	200V	100V	200V
	なし	4W	6W	10W	12W
	EVU:1	6W	8W	15W	17W
	FAXU:1	6W	8W	15W	17W

◆局線線路抵抗

局交換機品名	規 格
A形およびH形	ループ抵抗:1,000Ω以下
C1形およびC2形	ループ抵抗:1,200Ω以下
クロスバ形(C1形およびC2形を除く)および D形(電子交換機)	ループ抵抗:1,700Ω以下

◆大地アース

大地アース種別	規 格
	第3種設置工事(設置抵抗100Ω以下)

◆停電動作

停電動作	充電時間
6時間(蓄電池の増設により12時間)待機後3宛先へ通報可能 (ただし、オプションユニットおよび外部出力電源を使用しない場合)	48時間以上

注1. 工場出荷時には、完全充電を行っていませんので、設置時予め充電してください。
注2. 蓄電池の寿命は約2年です。停電の有無に関わらず必ず2年毎に交換してください。
注3. 外部出力電源(MAX:200mA)を使用した場合、約2時間となります。

◆使用温度・使用湿度範囲

使用温度範囲	使用湿度範囲
−5~40℃	90%以下

◆認定番号および色(外観)

認定番号	色
S98−4065−0	マンセル 7.9Y 8.3/0.6

◆工事用品

配線ケーブル	規 格
電話用屋内配線	0.5Φ以上
アース線	1.6Φ1V等 2X1.2Φ1V等
周辺機器(センサ等)配線	0.5Φ以上

注1. 0.4Φの線材は、使用しないで下さい。

6. 接続(周辺)機器の規格

CS・D7 通報システムに接続できる接続(周辺)機器の規格は下表の通りです。

◆通報関係

接続個所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
MDU	外付電話装置	―	―	技術基準適合認定品
	センサ入力	―	―	内部印可電圧:DC5V(内部抵抗:2.2kΩ) 各系統共ループ抵抗:200Ω以下
	熱線、防犯及びその他のセンサ	―	―	無電圧メーク/ブレーク接点方式
	モード切替用外付スイッチ(タイマ)	―	―	無電圧方式ロックスイッチ
	外部停止ボタン	―	―	無電圧方式ノンロック押しボタンスイッチ
	アナログ入力	―	―	入力インピーダンス:100KΩ 入力電圧:DC0~4.9725V 入力電流:DC0~20mA 各系統共ループ抵抗:200Ω以下
	集音マイク(SU630、SU730)	○	8916	アツミ電気製 各系統共ループ抵抗:200Ω以下
	外部スピーカ(3Wアンプボックス)	○	6736	内蔵アンプおよびリモート端子付き 入力インピーダンス:600Ω(100mV~300mV) であれば、他製品でも可
	接点出力に接続される装置	―	―	定格電圧:AC120V, DC60V 定格電流:1A 各系統共ループ抵抗:200Ω以下
	外部出力電源(DC12V)を使用する装置	―	―	トータル消費電流:200mA以下 (200mAを超えるとF4ヒューズが溶断します)

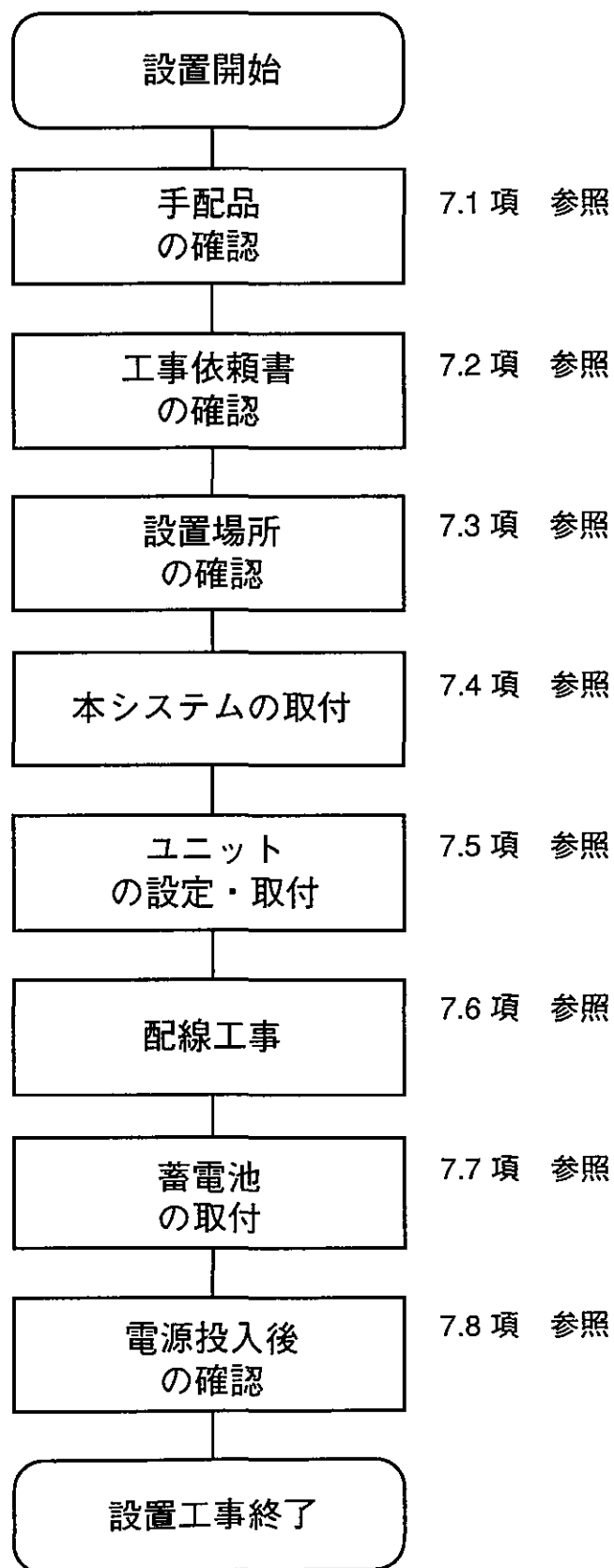
◆エレベータホン関係

接続個所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
MDU	E-01M形(6V系単局用)	○	―	日本インターホン製
	E-02M~E-04M形 (6V系多局用)	○	―	日本インターホン製
	EZ-01M形(24V系単局用)	○	―	日本インターホン製
	EZ-02M~E-04M形 (24V系多局用)	○	―	日本インターホン製
	エレベータホンモード切替用 スイッチ(タイマ)	―	―	無電圧方式ロックスイッチ ループ抵抗:200Ω以下

◆保守関係およびその他

接続個所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
内カバー	プリンタ	―	―	コネクタ　　:セントロ36P 制御コード　:PC-PR系 接続ケーブル:専用プリンタケーブル(別売)
内カバー	RS-232Cに接続する装置	―	―	保守用FDセット(別売)が動作可能なパソコン 接続ケーブル:保守用FDセット添付品
内カバー	録音ジャックに接続する装置	―	―	接続ジャック:3.5Φミニピンジャック(モノラル)

7. 設置工事

設置工事は下図のフローチャートに従って行います。

7.1 手配品の確認

(1) 本装置および周辺機器の手配漏れが無いか確認して下さい。

(2) 工事の手配漏れが無いか確認して下さい。

7.2 工事依頼書の確認

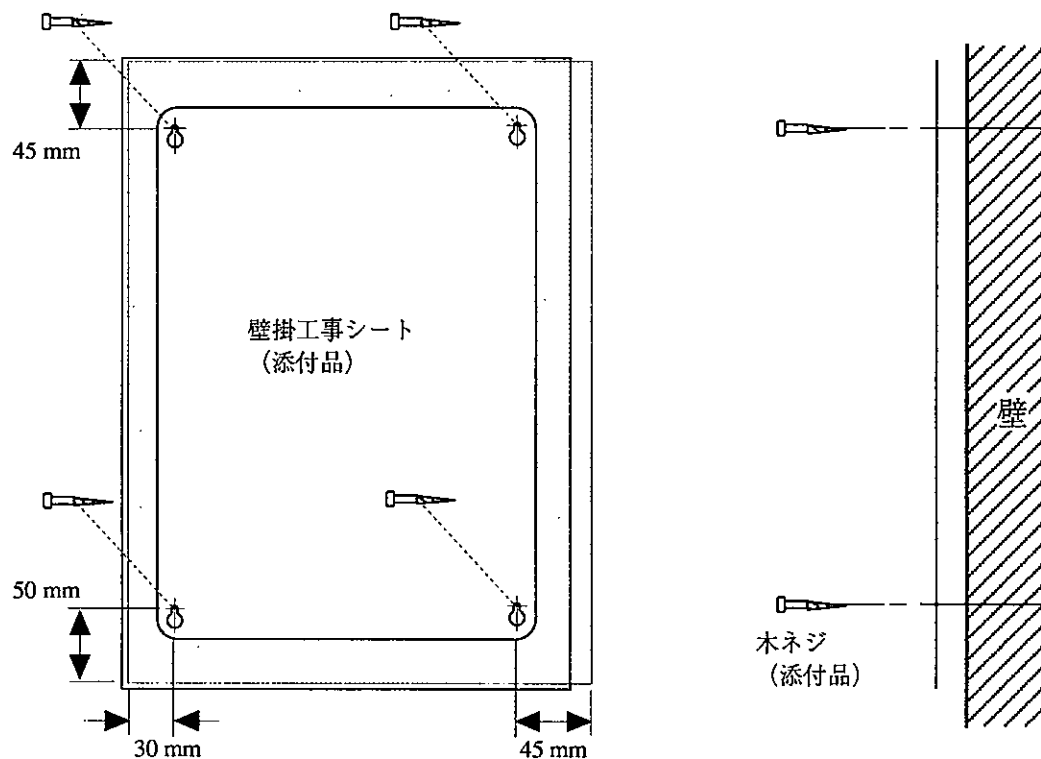
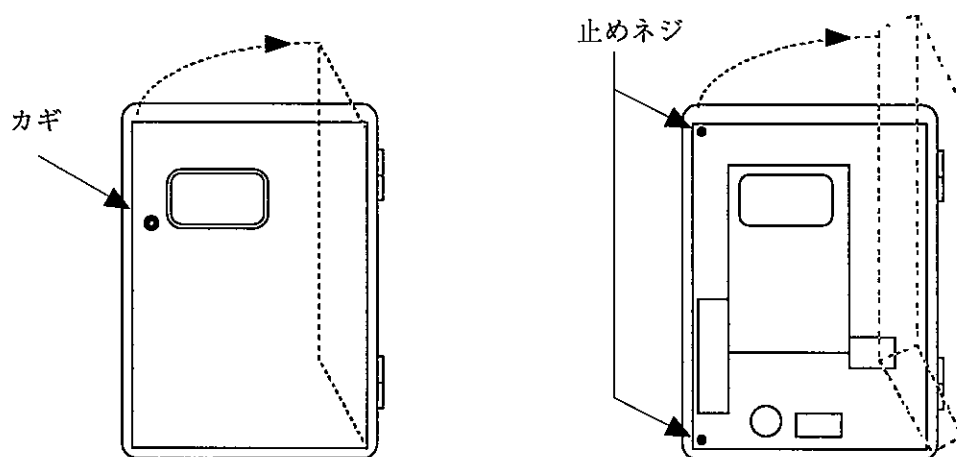
本工事の依頼を受けた時点で、その工事内容を把握し前項のシステム構成より必要なオプションユニットおよび周辺機器等の注意事項を確認し作成する。

7.3 設置場所の確認

項目	設置条件	注意事項
設置環境	・温度：−5〜40℃ ・湿度：90％以下	・急激な温度、湿度の変化がないこと。
設置場所	・直射日光、暖房器具などで高温、多湿にならない場所 ・著しく温度の低下しない場所 ・振動・衝撃、ゴミ・ホコリが少ない場所 ・冠水、薬品類（ガソリン・ベンジン・シンナー等）のかかる恐れのない場所 ・溶接機、高周波ミシンなど電気的ノイズを発生する物やラジオ、テレビなど高周波信号を扱っている機器が近くにない場所 ・通行、物の出し入れがあり、保守点検作業に支障がない場所	
電源設備	・AC100V±10V（50Hz/60Hz）または、AC200V±20V（50Hz/60Hz） ・24時間電源が供給されていること。	・電源コンセントが近くにある場所
通信設備ケーブル	・通信用第3種アースがとれる場所	

7.4 本システムの取付

CS･D7 通報装置本体は、下図の如く壁面に設置して下さい。

設置の際は、添付されている壁掛工事シートおよび木ネジを利用して下さい。

① ネジの取付

④ 外カバー扉、内カバー扉を開く

①壁掛工事シートを壁面に貼付け、取付位置を決めた上、添付品の木ネジを壁面取付寸法の位置に締め付け固定します。
※網掛け部に他の装置等を配置しないで下さい。

②木ネジ（4ヶ）固定後、壁掛工事シートを必ず取除いて下さい。

③①項で固定した木ネジに本体装置を引っかけます。

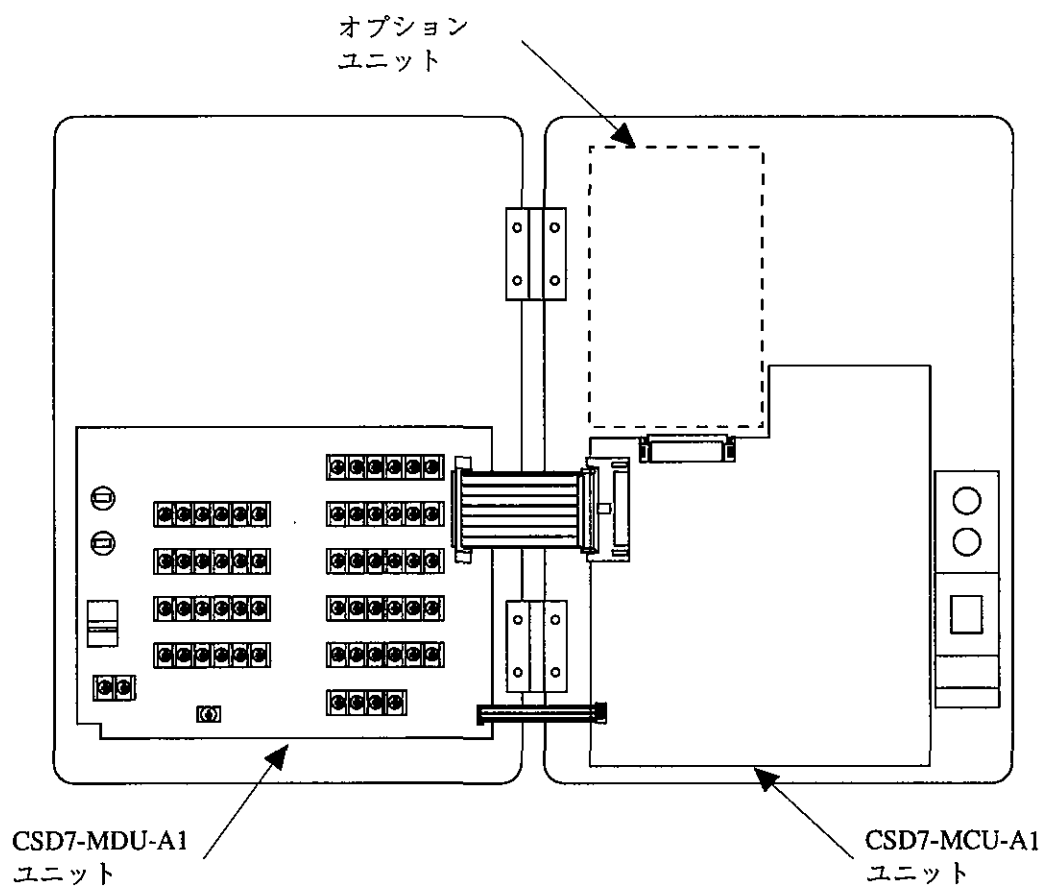
④添付のカギを使って外カバー扉を開けます。
左側の止めネジ2本をゆるめ、内カバー扉を開きます。
※内カバー扉とベース（取付面側筐体）は外せるようになっています。内カバー扉のみを手で持った場合、内カバー扉とベースが外れますので注意して下さい。

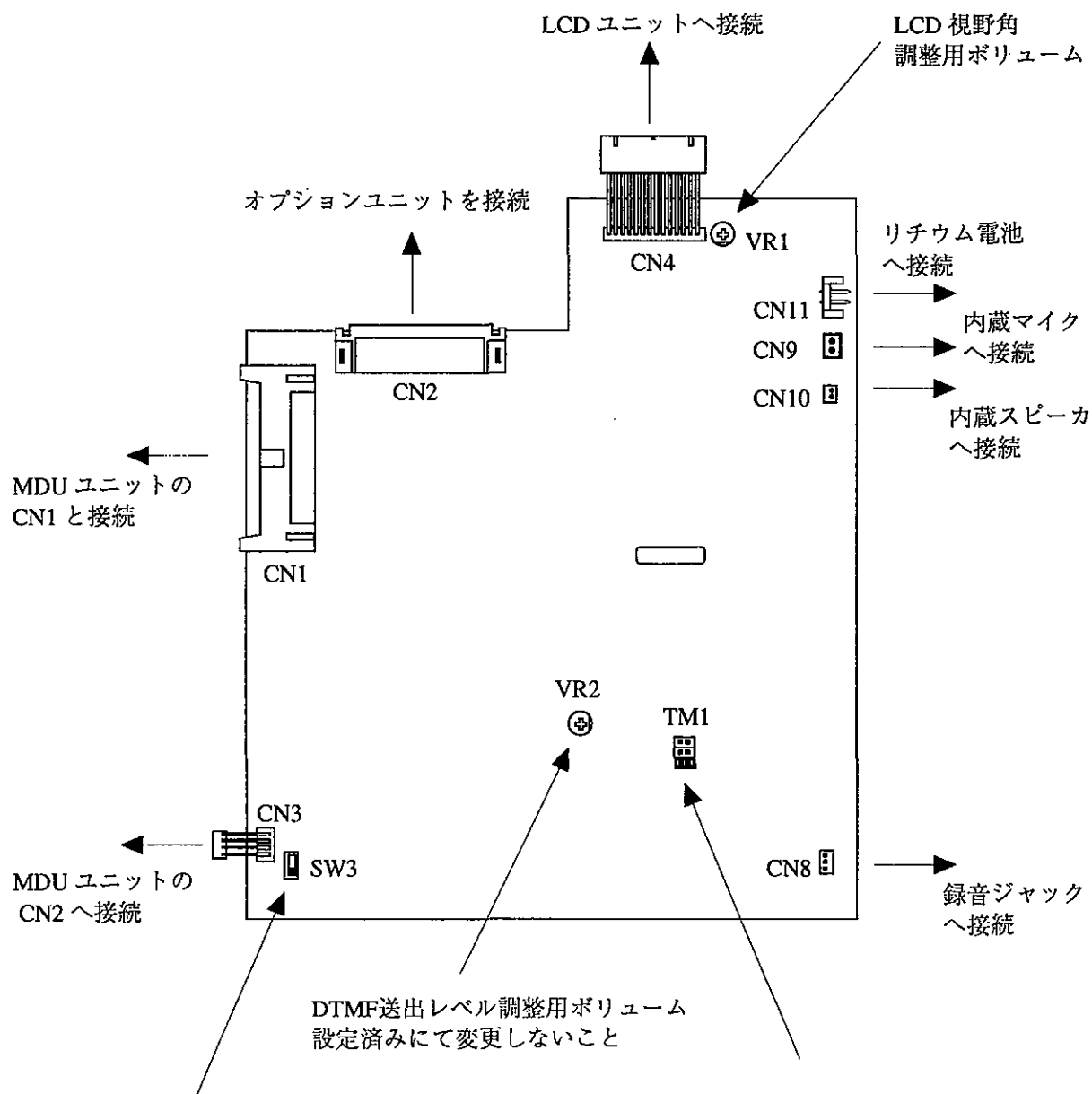
⑤引っかけた本体装置ががたつかないように、木ネジをさらに締め付け固定して下さい。

7.5 ユニットの設定・取付

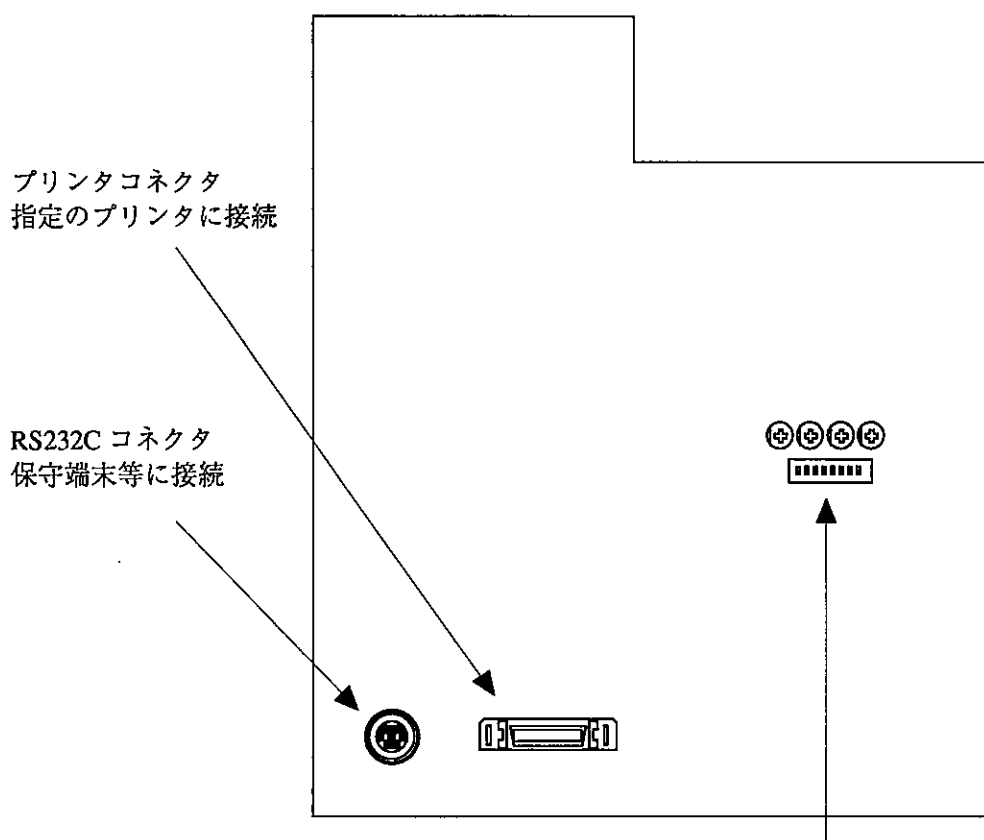
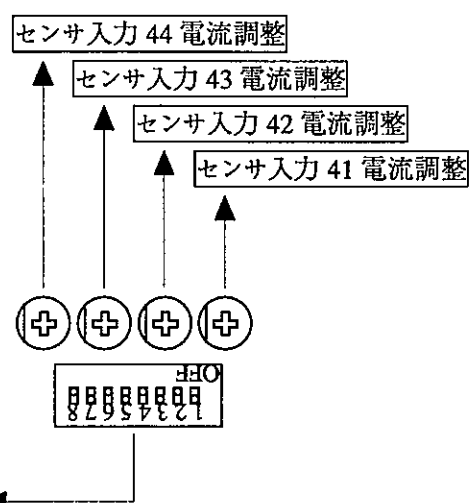
7.5.1 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明

(1) ユニットの位置

各ユニットは、下図（内カバー扉を開けた状態）の通り実装されています。

(2) CSD7-MCU-A1

【MDU ユニット側】

⚠ **注意**：調整は工事担任者の資格を
有する者に限ります。

【外カバー扉側】

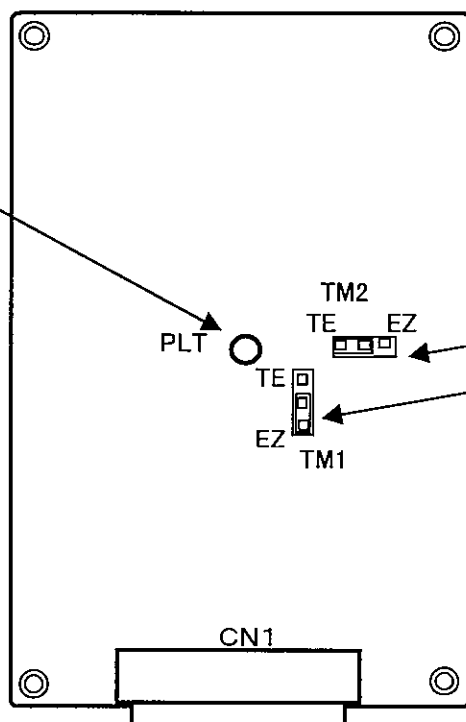
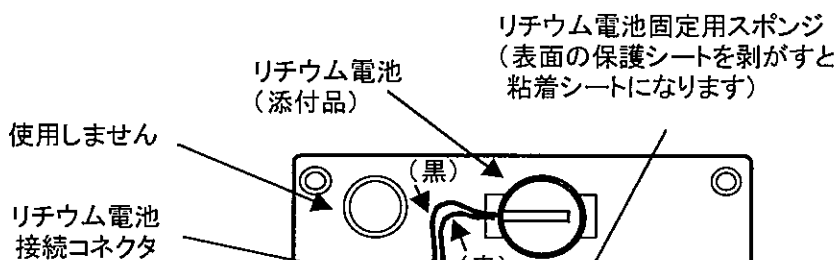
コネクタやスイッチは、外カバー扉を開けゴムカバーを外して接続または操作を行います。

Dip SW								センサ	
8	7	6	5	4	3	2	1	No.	タイプ
						OFF	ON	41	接点入力 41（初期値）
						ON	OFF		アナログ 01（電流）入力
						OFF	OFF		アナログ 01（電圧）入力
				OFF	ON			42	接点入力 42（初期値）
				ON	OFF				アナログ 02（電流）入力
				OFF	OFF				アナログ 02（電圧）入力
		OFF	ON					43	接点入力 43（初期値）
		ON	OFF						アナログ 03（電流）入力
		OFF	OFF						アナログ 03（電圧）入力
OFF	ON							44	接点入力 44（初期値）
ON	OFF								アナログ 04（電流）入力
OFF	OFF								アナログ 04（電圧）入力

電流調整の仕方

①キーボードメンテナンスでアナログ入力の端子状態を表示させます。（取扱説明書を参照）

②電流センサを100%の状態にします。

③ボリュームを回して端子状態の表示を100%にします。

(3)オプションボード

①CSD7-EVU-A1

②CSD7-FAXU-A1

リチウム電池の取付方法

①リチウム電池固定用スポンジの保護シートを剥がします。
②リチウム電池をリチウム電池固定用スポンジに張り付け固定します。(「CSD7－FAXU－A1」の品名が隠れないように貼り付けて下さい。)
③リチウム電池のコネクタをCSD7－FAXU－A1ユニットのCN4に接続します。
※リチウム電池は、通常の使用では交換不要です。

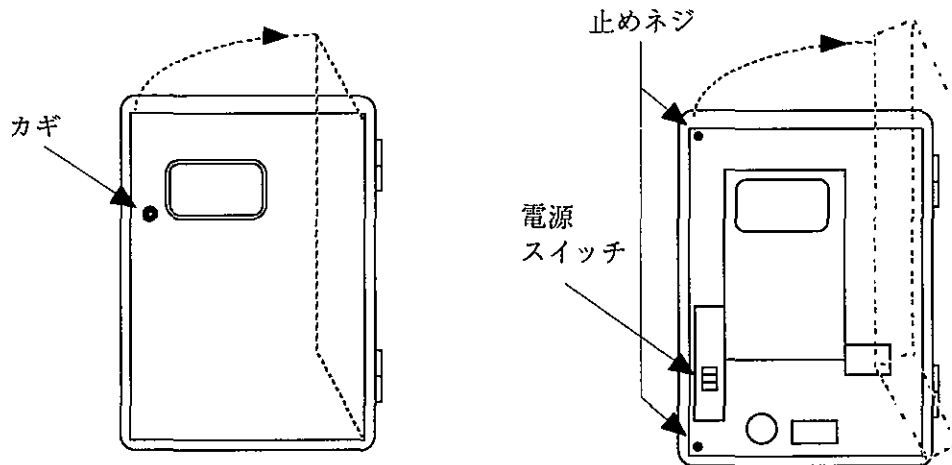
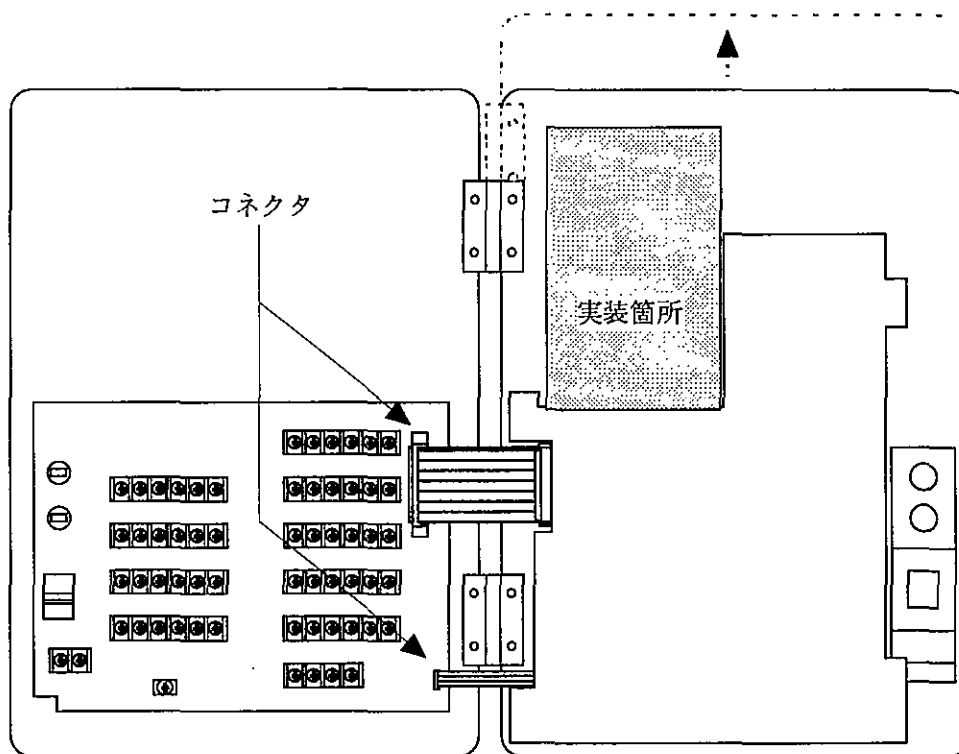
⚠警告

・指定外電池を使用すると爆発を起こす恐れがあります。
・リチウム電池は、必ず接続して下さい。
接続しない場合は、日報や月報のデータが消えることがあります。
・リチウム電池は、必ず接続して下さい。

(4) CSD7-MDU-A1

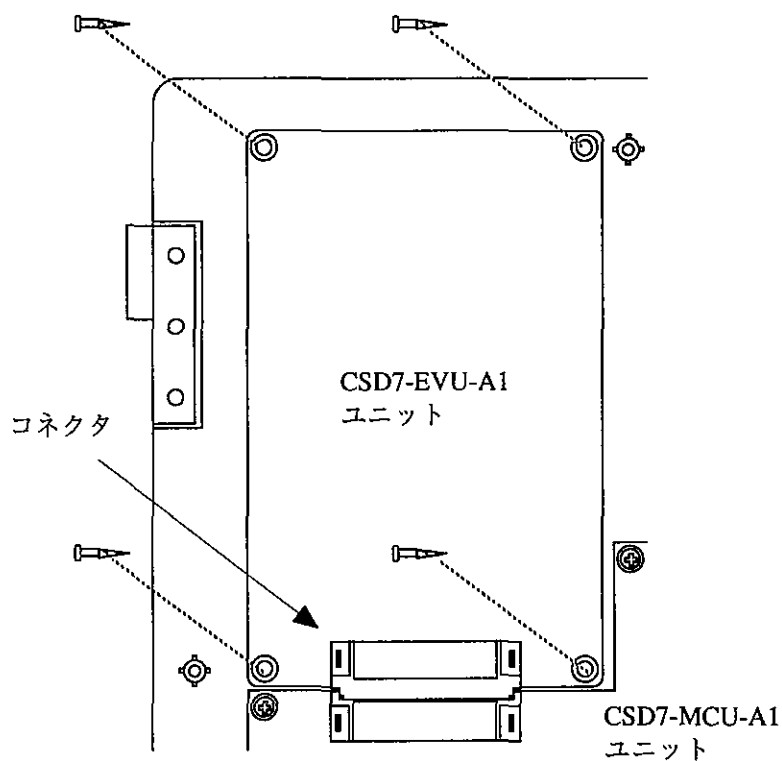
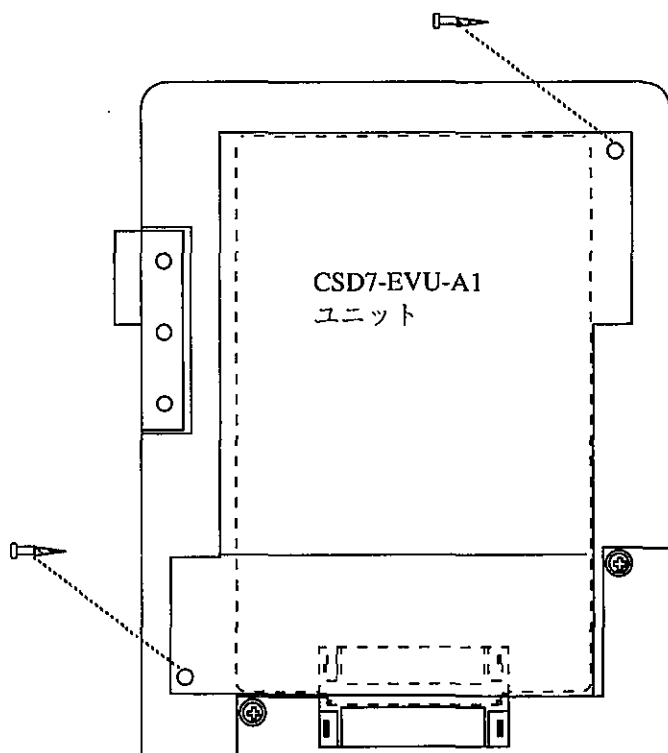
ヒューズ（3.15A）
AC 電源用
ヒューズ（3.15A）
蓄電池用
増設用蓄電池
へ接続
電源ユニットへ
接続
蓄電池
へ接続
電源ユニットへ
接続
CN3
CN5
F3
CN4
CN6
TB9
OP7 OP8 OP9 OP10 OP11 OP12
F2
TB4
MON+ MON- OP13 OP14 OP15 OP16
TB8
OP1 OP2 OP3 OP4 OP5 OP6
MCU ユニットの
CN 1 と接続
F1
TB3
A1+ COM A2+ A3+ COM A4+
TB7
SP+ SP- MIC1 MICG MIC2 MICG
CN1
ヒューズ（0.2A）
外部電源用
F4
TB2
S5 COM S6 S7 COM S8
TB6
RL4a RL4b E12V E12V COM COM
TB1
S1 COM S2 S3 COM S4
TB5
RL1a RL1b RL2a RL2b RL3a RL3b
TB10
CN2
TB11
L1 L2 T1 T2
TEH
MCU ユニットの
CN 3 へ接続
商用電源へ接続
AC100V±10V (50/60 Hz)
AC200V±20V (50/60 Hz)
ETH 端子
第 3 種接地工事（100 Ω以下）

7.5.2　オプションユニットの実装

エレベータホンユニットは、下図の通りCS･D7通報装置本体の内カバー扉に実装します。

②　外カバー扉、内カバー扉を開く

③　内カバー扉の取外し

①本体を水平に置きます。壁に取付けている場合は、そのまま次に進みます。
②添付のカギを使って内カバー扉を開けます。
　電源を切ります。
　左側の止めネジ2本をゆるめ、内カバー扉を開きます。
③壁に取付ている場合は、内カバー扉を取外し、水平に置きます。
　内カバー扉とベース（MDUユニット実装側の筐体）間のコネクタ（2ヶ所）を外します。
　内カバー扉を上の方へ引上げ取外します。
　内カバー扉を水平に置きます。

7.5.3 オプションユニットの取付

エレベータホンユニットは、下図の通り MCU ユニットに取付ます。

①, ② エレベータホンユニットの取付

③ カバーの取付

① エレベータホンユニットと MCU ユニットのコネクタを合わせます。
　エレベータホンユニットを MCU ユニットに押し込みます。
② 添付の取付ネジでエレベータホンユニットを固定します。（4ヶ所）
③ 添付のカバーを取付ます。（ネジ2ヶ所）
　※左下のネジは MCU ユニットのカバー取付ネジを使用し、共付けします。

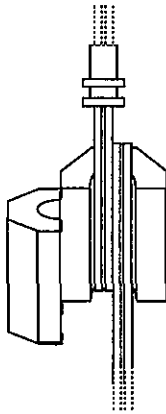
7.6　配線工事

(1) アース線の接続

アース線は、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある ETH 端子に接続し、第 3 種接地工事（接地抵抗 100 Ω以下）を必ず実施して下さい。

(2) 商用電源への接続

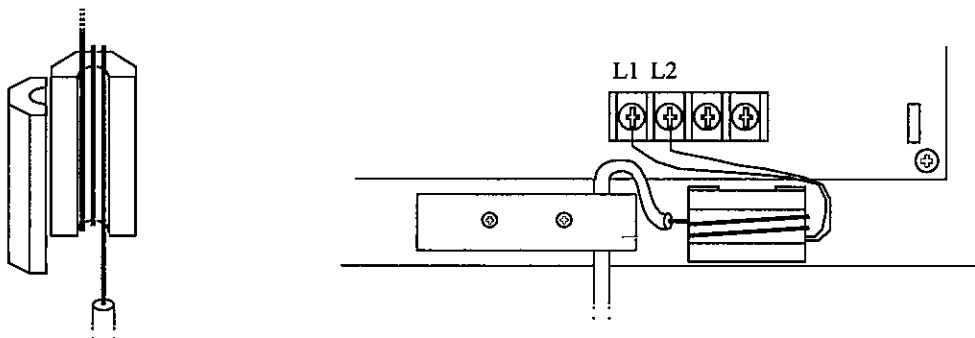
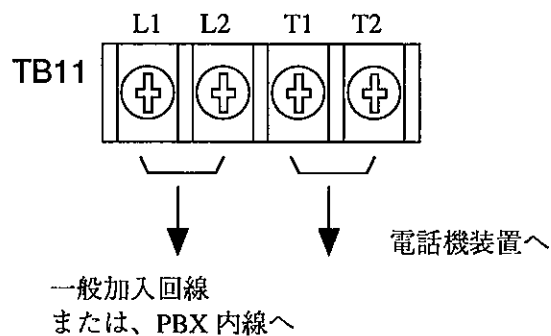
添付品のコアに AC コードを巻き、AC100V のコンセントに差し込みます。

⚠注意 ・AC200Vに接続する場合は装置実装の AC コードを取り外し、AC200V対応の専用ケーブルを使用して下さい。
・一般に家庭で使用する契約種別以外の電力を使用する場合は、使用する契約種別の契約（約款）をご確認下さい。

① 添付のコア（ESD-SR-25）を開きます。
② AC コードを本体になるべく近い位置で一回巻きます。
③ コアを閉じます。

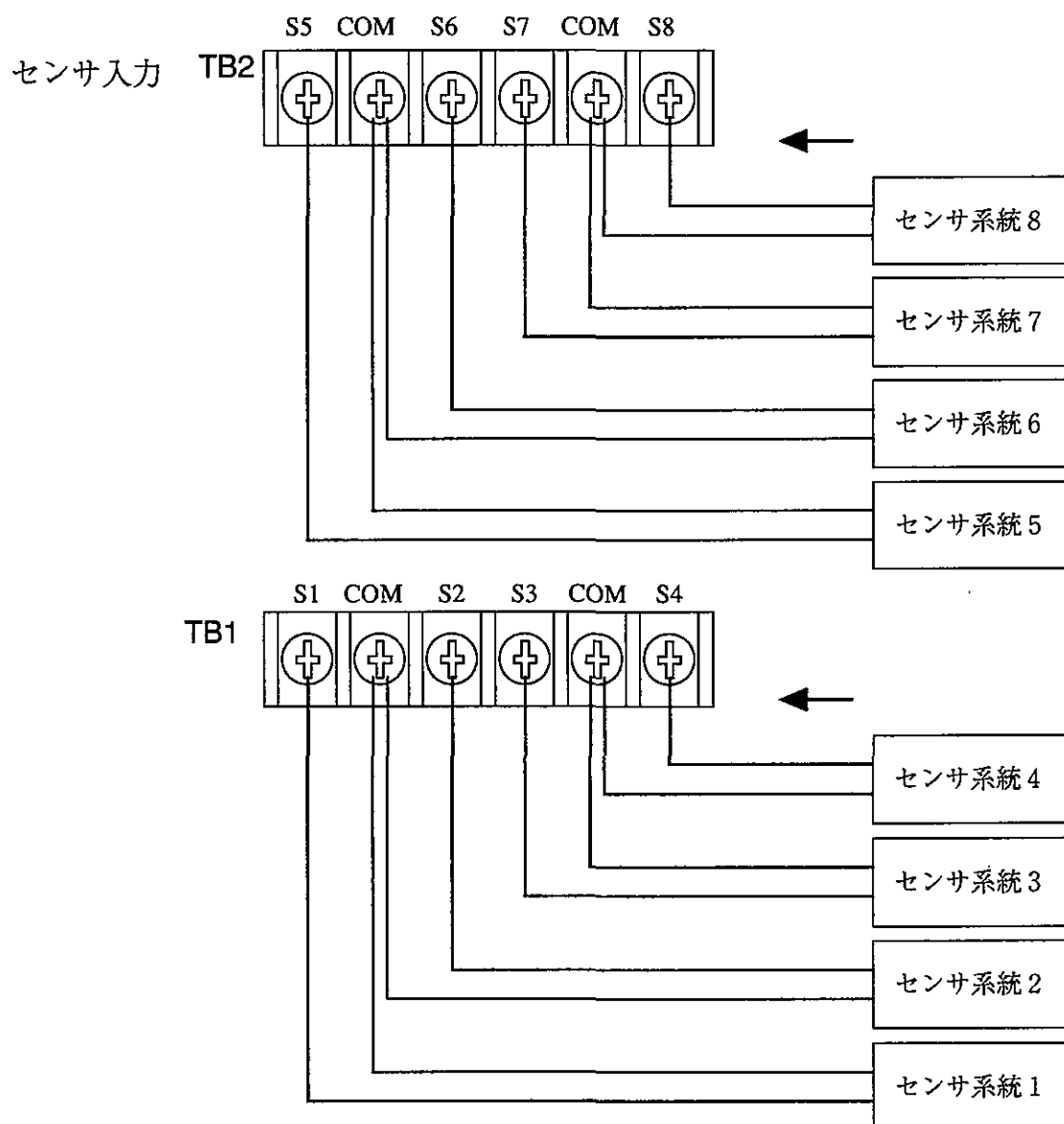
(3) 電話回線、電話装置の接続

電話回線、電話装置は、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにあるTB11 端子台に接続します。

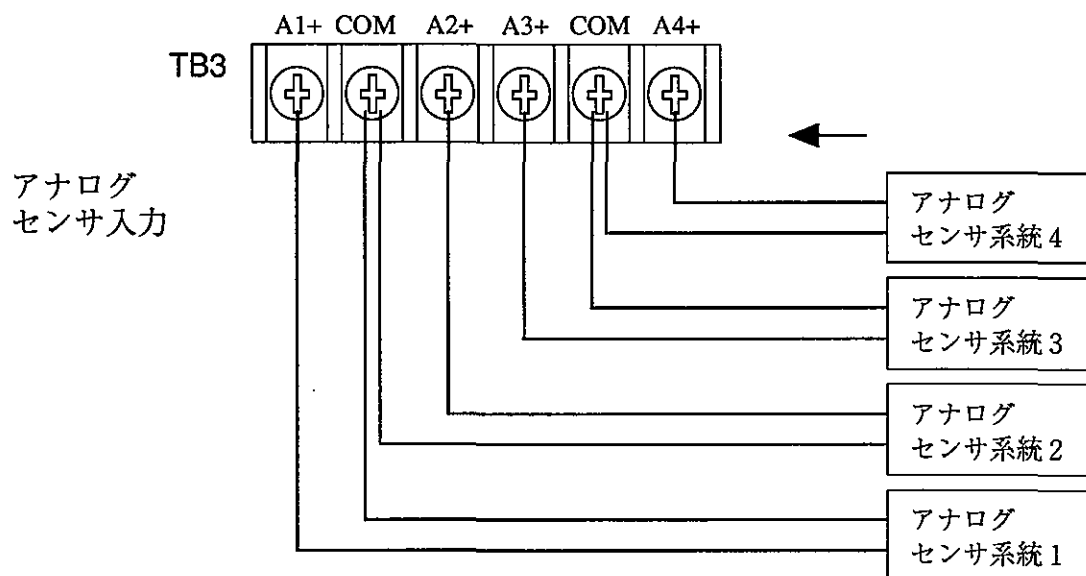
電話線回線には、添付のコアを巻きます。

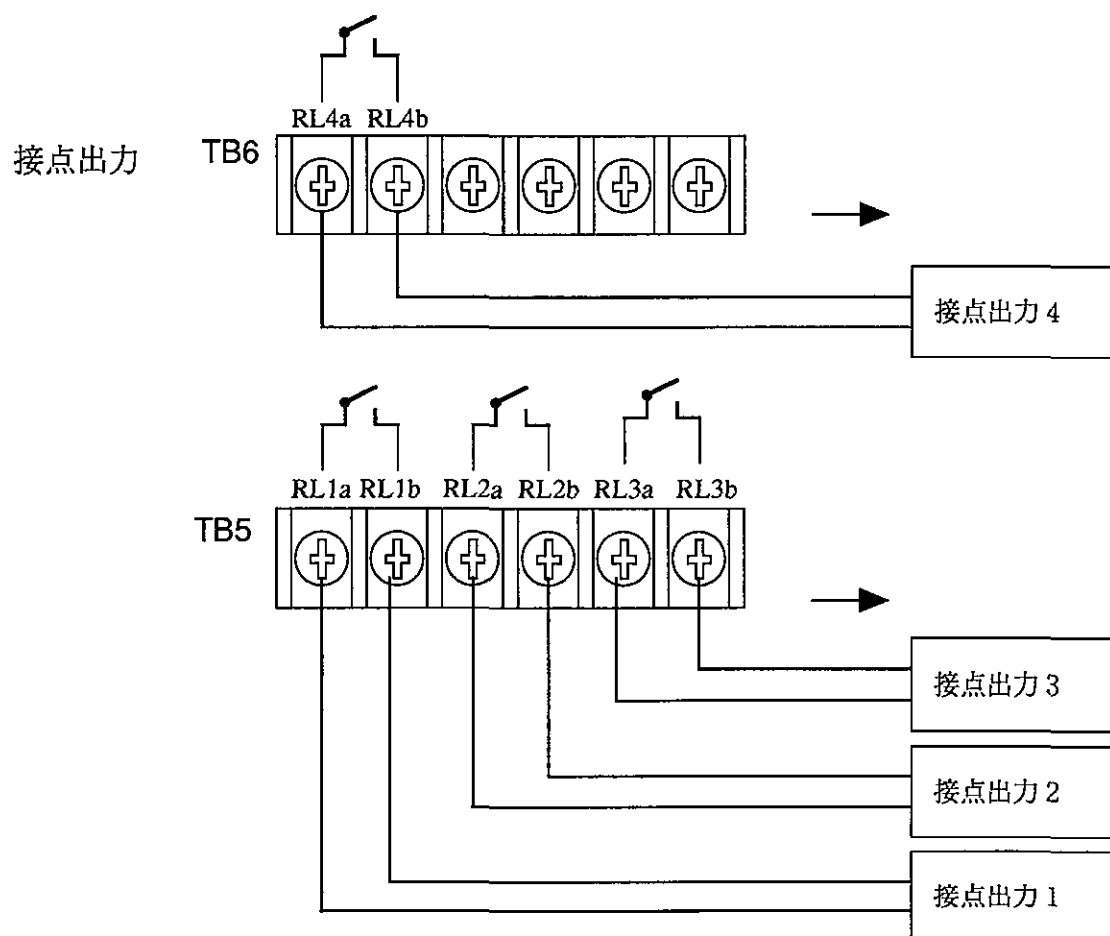
⚠注意 ・電話回線に、他の電話装置をブランチ（親子）接続で使用しないで下さい。
・発信電話番号通知サービス、キャッチホン等の付加サービスを利用すると本装置の正常な動作が妨げられることがあります。
・専用線、ISDN 回線への接続は出来ません。

①添付のコア（ESD-SR-15）を開きます。
②電話回線を本体になるべく近い位置で二回巻き、コアを閉じます。
③コアを MDU ユニット下の空きスペースに入れます。
④電話回線を端子に接続し、ケーブルを固定します。
⑤重要回線ラベルをケーブルの両端（本体とMDF）に貼り付けます。

(4) センサの接続

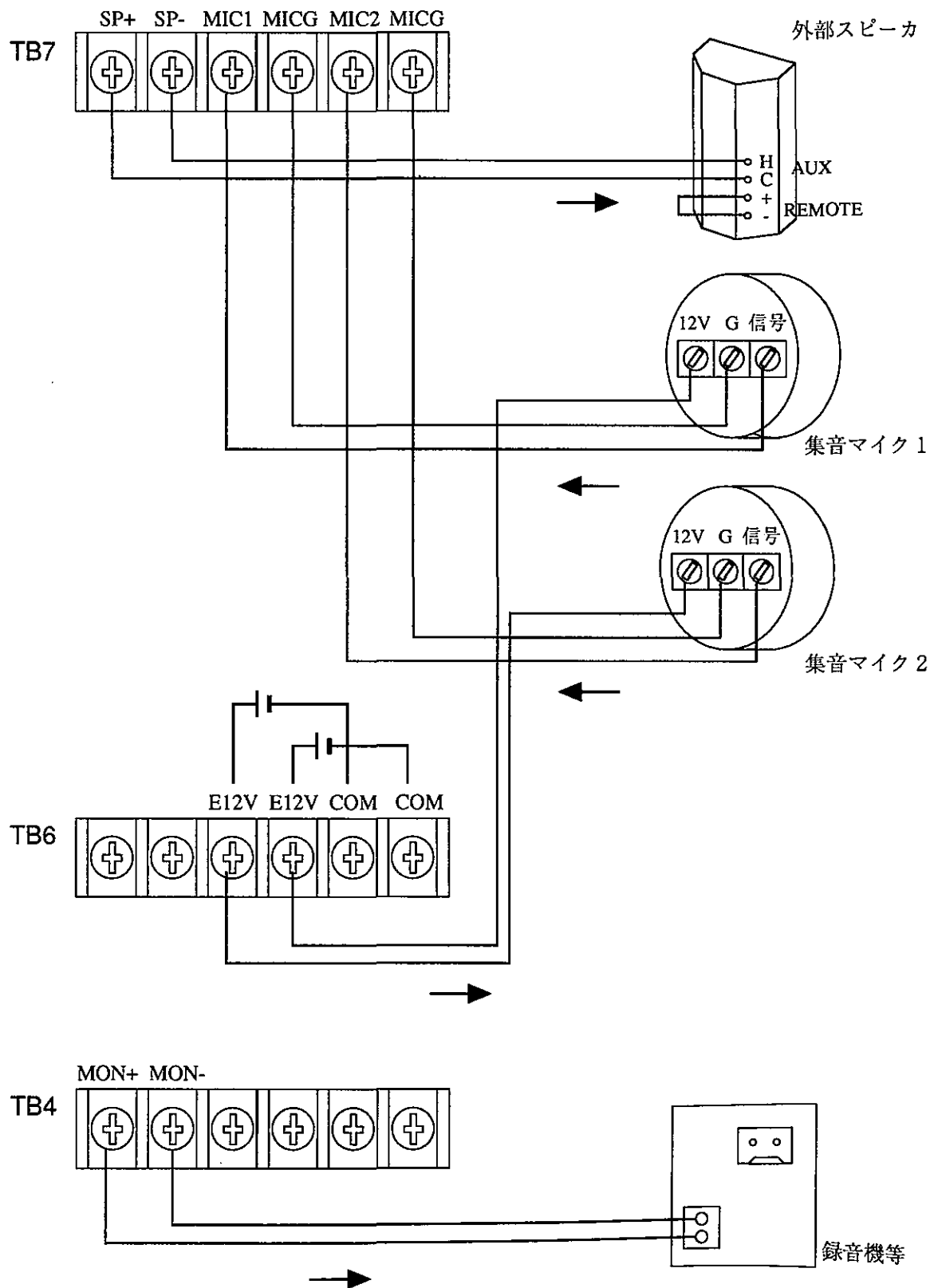
センサは、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある TB1 、TB2 端子台に接続します。

(5) アナログセンサの接続

アナログセンサは、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある TB3 端子台に接続します。

アナログセンサ接続時は、アナログセンサ切替スイッチの設定を行って下さい。

(6) 接点出力の接続

接点出力は、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある TB5 、TB6 端子台に接続します。

(7) 外部スピーカ、集音マイク、外部電源、回線モニターの接続

外部スピーカ、集音マイク、外部電源は、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある TB6 、TB7 端子台に接続します。

回線モニタは、CS･D7 通報装置の MDU ユニットにある TB4 端子台から行います。

※外部スピーカを制御する場合は、REMOTE端子を接点出力に接続します。

(8) エレベータホンの接続

エレベータホンは、CS·D7 通報装置の MDU ユニットにある TB4 、TB8 、TB9 端子台に接続します。

エレベータホンの配線には、添付のコアを取付けます。

エレベータホン接続時は、EVU ユニットの設定を行って下さい。

エレベータホン子機の接続は、エレベータホンの説明書をご覧下さい。

1) TE 型エレベータホン

2) EZ 型エレベータホン

TB9

OP7 OP8 OP9 OP10 OP11 OP12

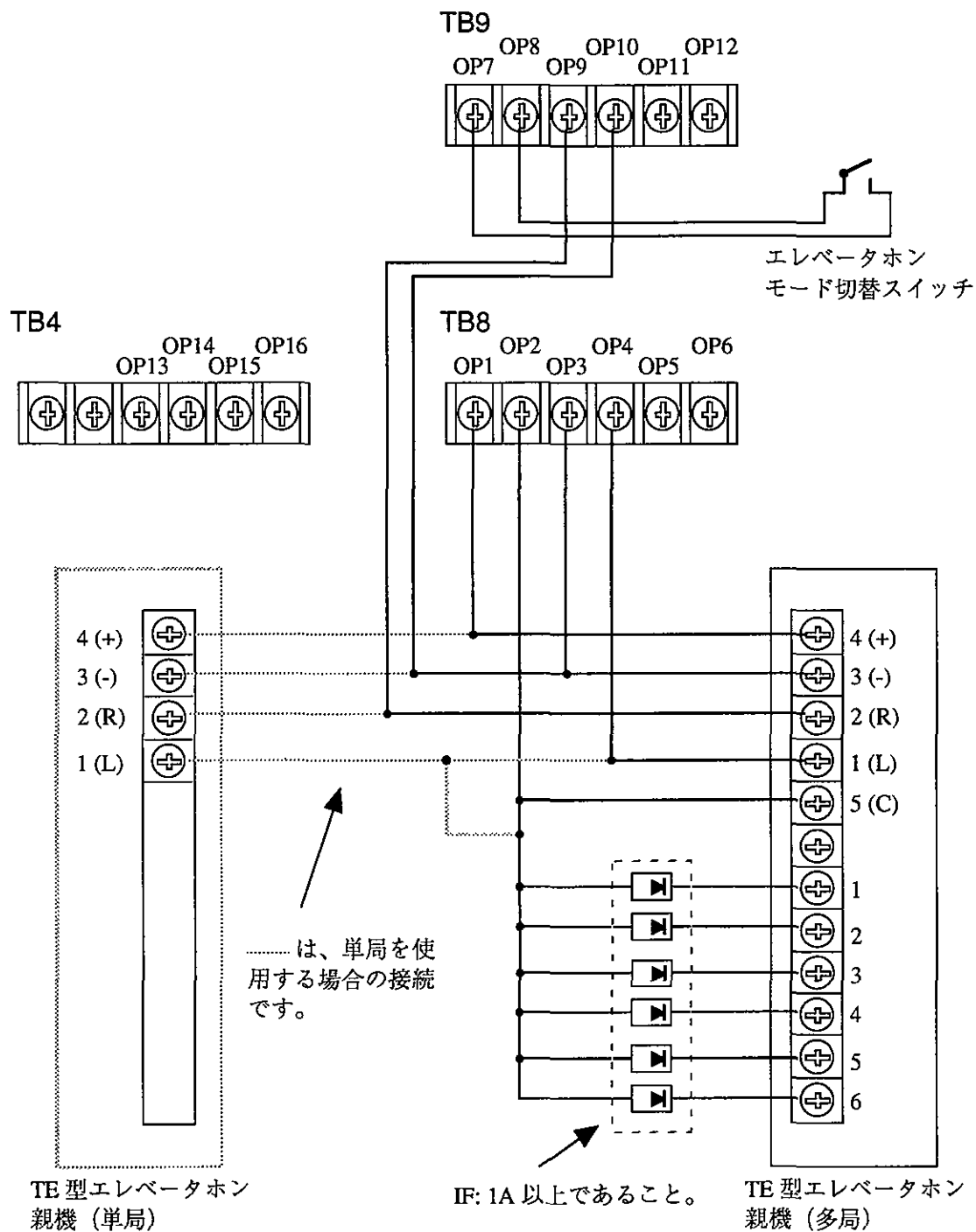
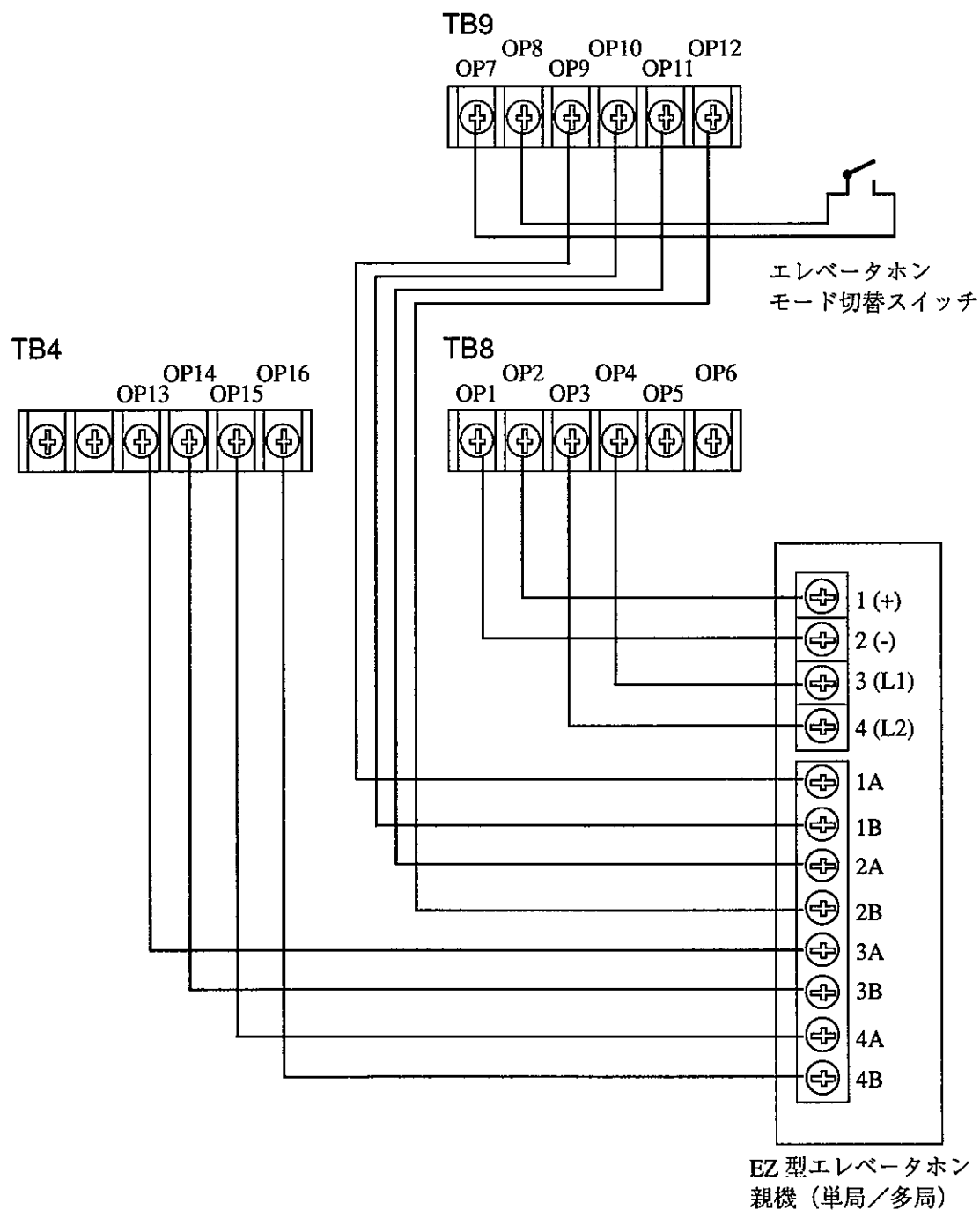
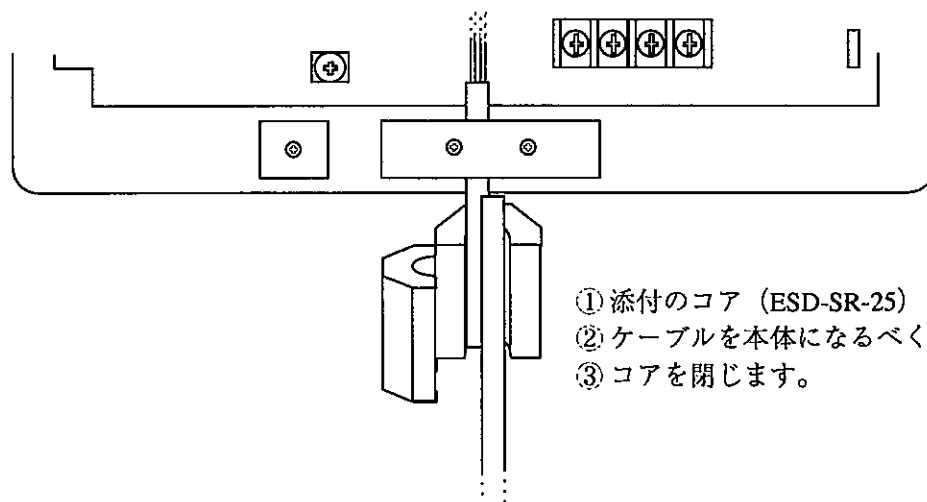
エレベータホン
モード切替スイッチ

TB4

OP13 OP14 OP15 OP16

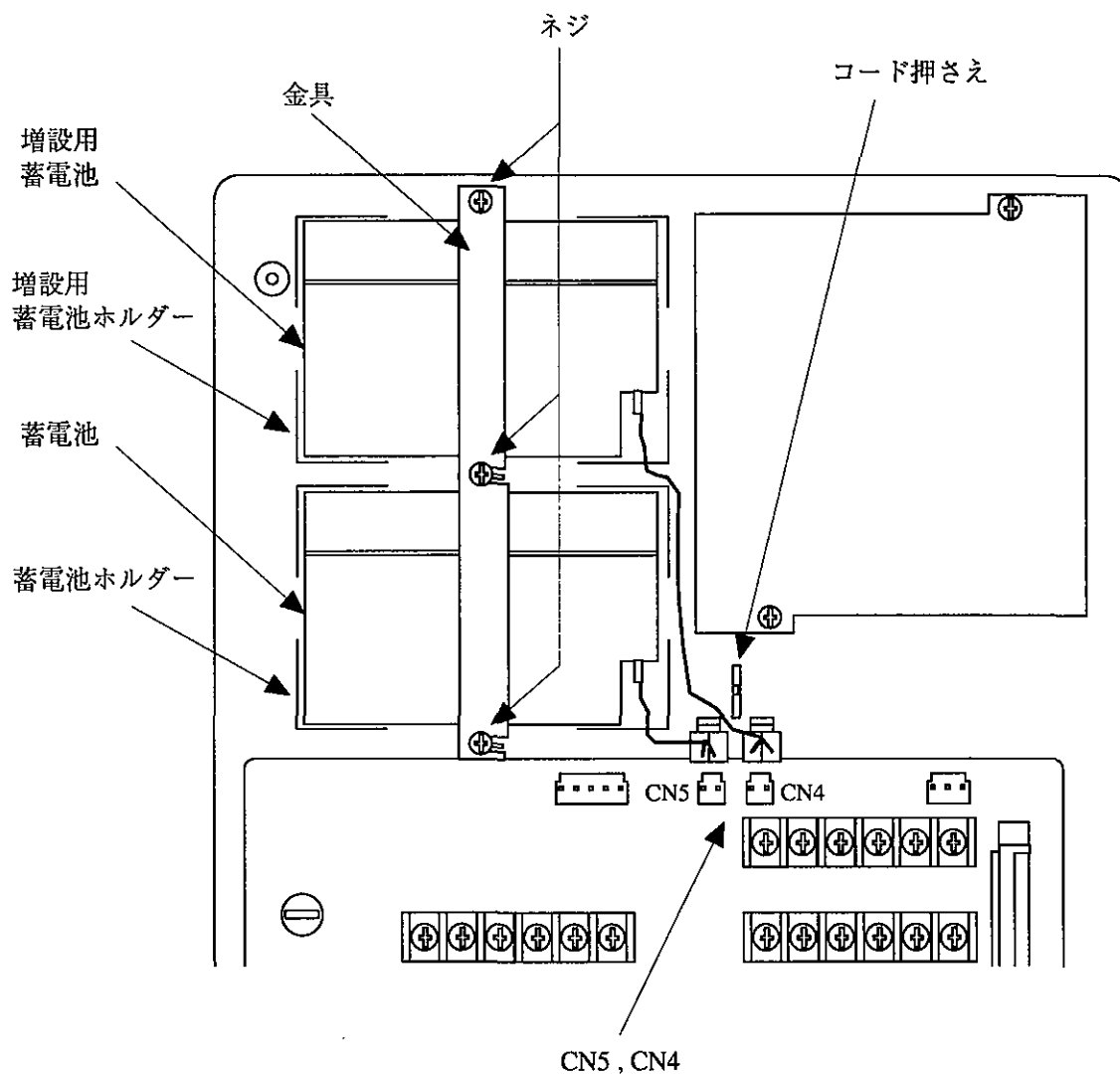
TB8

OP1 OP2 OP3 OP4 OP5 OP6

1 (+)
2 (-)
3 (L1)
4 (L2)
1A
1B
2A
2B
3A
3B
4A
4B

EZ 型エレベータホン
親機（単局／多局）

3) コアの取付

①添付のコア（ESD-SR-25）を開きます。
②ケーブルを本体になるべく近い位置で一回巻きます。
③コアを閉じます。

7.7　電池の取付

(1) 蓄電池の取付

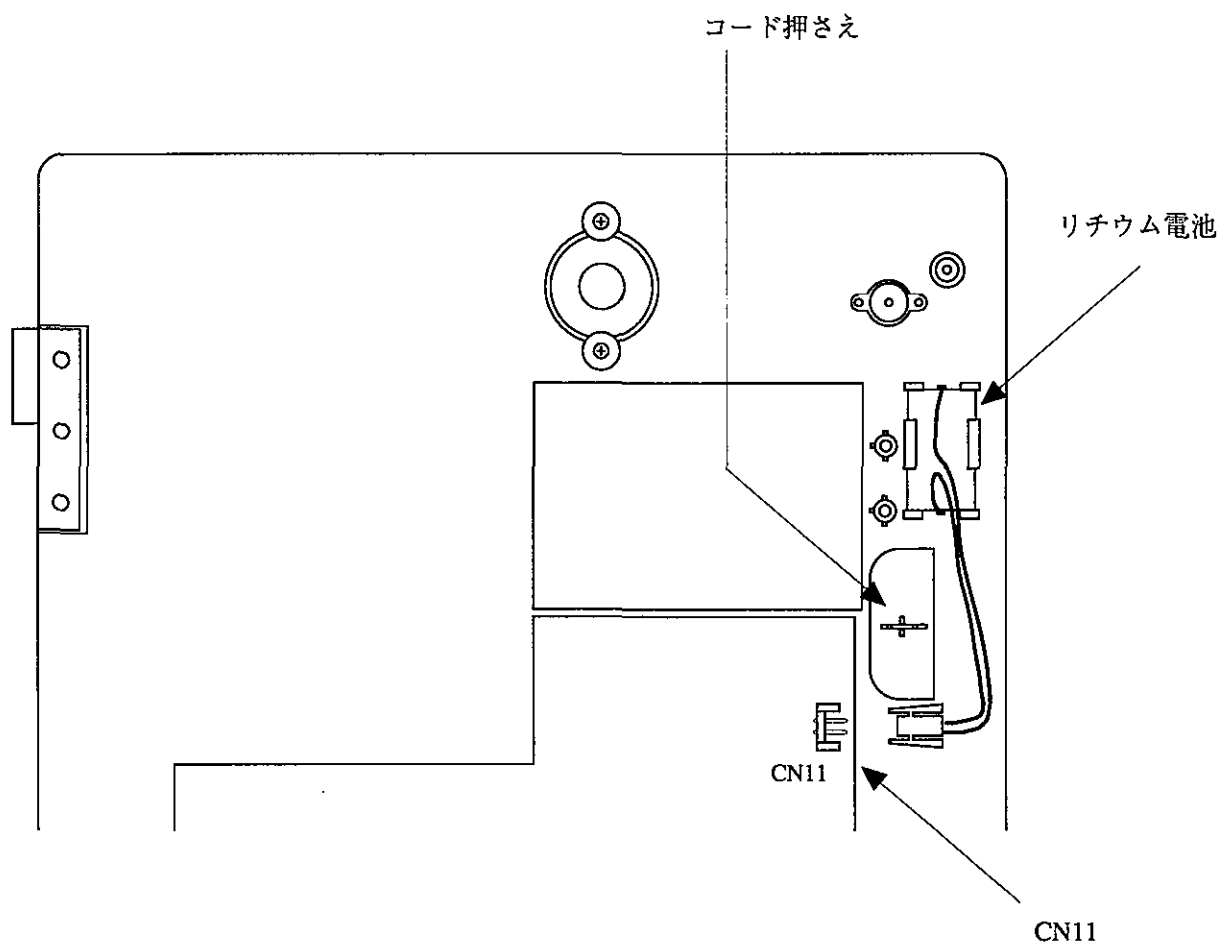
蓄電池は、CS･D7 通報装置本体のベースに取付け MDU ユニットの CN4 , CN 5 に接続します。

① 金具のネジ（3ヶ）をゆるめ、金具を回転させます。
② 添付品の蓄電池を電池ホルダーに収納します。
　必要な場合は、増設蓄電池を増設用蓄電池ホルダーに収容します。
③ 蓄電池（増設蓄電池）のコネクタを確実に CN5（CN4）に差し、金具で固定します。
　コードをコード押さえに固定します。
④ 蓄電池設置年月を「蓄電池交換記録表」に記入します。

(2) リチウム電池の取付

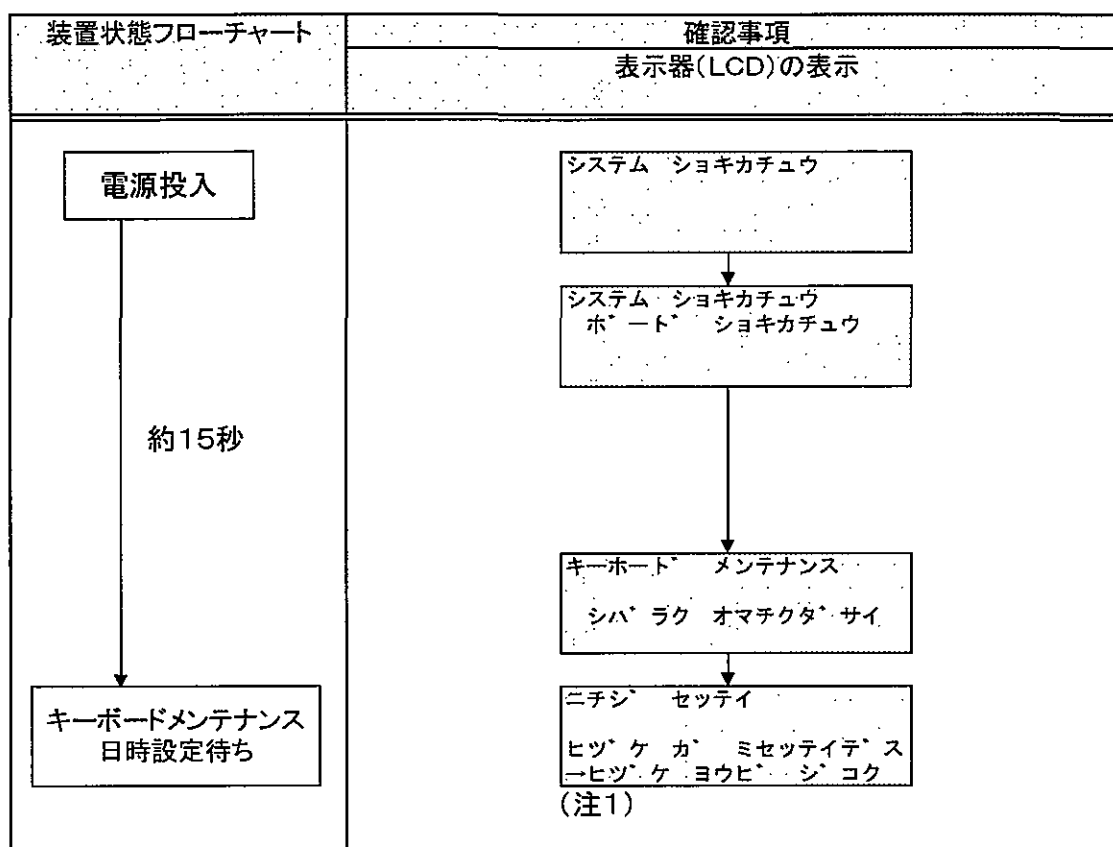
リチウム電池は、CS･D7 通報装置本体の内カバー扉の内側に取付け MCU ユニットの CN11 に接続します。

リチウム電池は通常の使用では交換不要です。電源を入れない状態が二年を越える場合は指定の電池と交換して下さい。

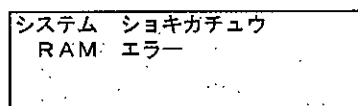
⚠**警告** 指定品以外の電池を使用すると爆発を起こす恐れがあります。

リチウム電池を接続しない場合は、時計が狂ったり録音メッセージが消えることがあります。

① リチウム電池のコネクタを、CSD7-MCU-A1 ユニットの CN11 に接続します。
② コードをコード押さえで固定します。

7.8 電源投入後の確認

設置工事完了後、電源を投入し下記項目の内容を確認してください。

注1. 日時設定およびシステムデータ設定については、「8. キーボードメンテナンス機能」(P27～)をご覧ください。

表示器(LCD)の表示が下図のようになった場合、修理が必要となります。

システム　ショキカチュウ RAM　エラー

8. キーボードメンテナンス機能(保守機能)

注意：保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。

通常の監視機能(センサ入力、積算等)も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

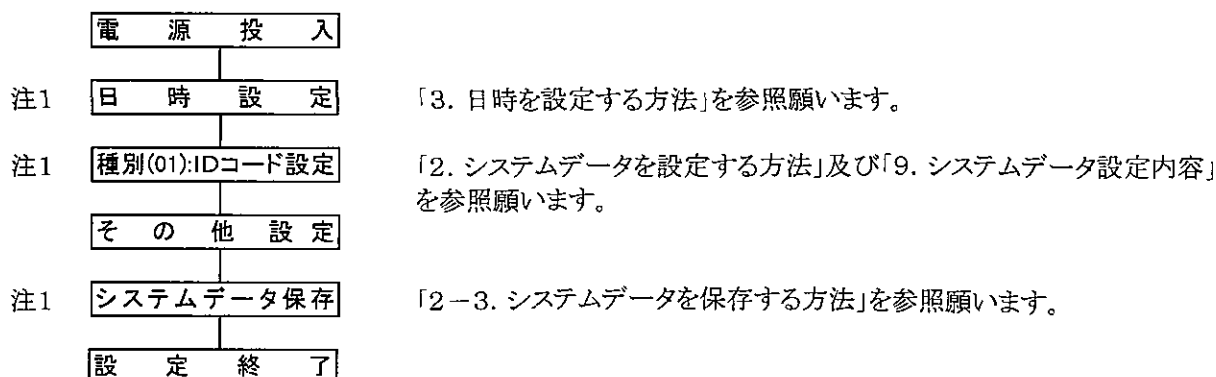
また、保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。。

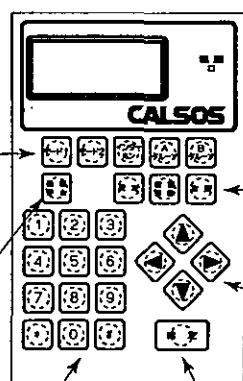
- 出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
- 入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
- 「定時(状態)間隔通報」、「ｱﾅﾛｸﾞ入力定時記録・印刷」を運用している場合は、保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

キーボードメンテナンスで実行できる機能は下表の通りです。
キーボードメンテナンスの基本操作手順は、次ページを参照願います。
各機能を実行するにあたっては、参照ページをよく読み十分ご理解のうえ行って下さい。

No	機能名	機能概要	参照ページ
1	メッセージの録音	本装置の内蔵マイク等よりメッセージを録音します。	29
2	システムデータ設定		30～33
	ノーマル設定	通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定します。	34～35
	ダイレクト設定	必要な種別No等を入力してシステムデータを設定します。	36～37
	システムデータ保存	システムデータを保存します。	38～39
	システムデータ読込	設定途中で変更前のシステムデータに戻します。	40
	システムデータ初期化	システムデータを初期化(出荷時設定状態)します。	41
3	日時設定	日付、曜日、時刻を設定します。	42～43
4	端子状態	センサ、アナログの現在状態を表示します。	44
5	履歴表示	記録されている履歴を表示します。	45
6	プリントアウト	履歴、システムデータを外付プリンタに印刷します。	46
7	オンラインメンテナンス	簡易オンラインメンテナンス待ち状態にします。	47
8	システムバージョン	本装置のメインCPUのバージョンを表示します。	47
9	ユニットバージョン	本装置のサブCPUのバージョン及び状態を表示します。	48
10	履歴クリア	記録されている履歴をクリアします。	48
11	積算値クリア	センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアします。	49
12	システムオールリセット	本装置のシステムデータ及び録音メッセージを全て初期化します。	49

◆新設時のシステムデータ設定について

新設時は、電源投入すると日時設定待ちとなります。必ず下記の手順で行って下さい。

注1. 新設時については、「日時設定」「システムデータ設定の種別(01)：IDコード設定」及び「システムデータ保存」を行わないと「設定解除」キーを押してもキーボードメンテナンス終了画面になりません。

◆キーボードメンテナンスで使用するキーの働き

◆キーボードメンテナンスの基本操作手順

キーボードメンテナンスを実行するにあたっては、必ず以下の操作手順にしたがって行って下さい。

---

1. 本装置が右のような状態であることを確認して下さい。
   尚、「モード1」「インターホン」は、実装されているオプションセットや設定により異なります。
   通報動作等により、本装置が起動中はキーボードメンテナンス状態になりません。

```
 01—01  MON  12:30

 モード゛1    インターホン
```

```
 01—01  MON  12:30
リレキ:XXXX
 モード゛1    インターホン
```

```
■01—01  MON  12:30
カイセン  イシ゛ョウ

```

---

2. 待機状態より「設定」キーを3秒間押すと
   キーボードメンテナンス状態となりメインメニューを表示します。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛  メンテナンス

→メッセーシ゛  ロクオン
 システムテ゛ータ
```

---

3. 各機能を実行できます。
   各機能の実行方法は、各機能のページを参照願います。

メインメニュー
```
キーホ゛ート゛  メンテナンス

→メッセーシ゛  ロクオン
 システムテ゛ータ
```

---

4. メインメニューより「設定解除」キーを押すと
   キーボードメンテナンス終了画面となります。

   ただし、システムデータを設定または変更した場合、「システムデータ保存」を行っていないと警告画面が表示されます。
   警告画面が表示された時の操作方法は、「2-3.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。

終了画面
```

シュウリョウ  シマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```
または

警告画面
```
システムテ゛ータ  ヲ
     ホゾ゛ン  シテイマセン
シュウリョウ  シマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```

---

5. 「確定」キーを押すと待機状態に戻ります。

待機状態
```
 01—01  MON  12:30

 モード゛1    インターホン
```

---

1. メッセージを録音する方法

注意:メッセージを録音する前に

メッセージを録音する前には、必ず以下のシステムデータ設定を確認して下さい。尚、設定変更する場合は、「2－2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法」の手順にしたがって設定して下さい。

「種別(02):メッセージ録音条件／項目(01):サンプリングレート」

ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚｰﾄ	録音時間	音 質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps(初期値)	約 65秒(1分 5秒)	上

本装置の内蔵マイクまたは録音ジャックよりメッセージを録音します。録音フレーズは、フレーズNo. 00～63です。
また、既に録音されているメッセージを再生またはクリアすることもできます。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーホート゛ メンテナンス

→メッセージ゛  ロクオン
 システムデ゛ ータ
```

---

2. 「確定」キー押します。

No. 00録音画面（サンプリングレート）
```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ゛ No:00
*:ロクオン
               ノコリ:  65
```
（録音可能な残り時間(秒)）

---

3. 「＊」キー押すと録音を開始します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。
   ・「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 00録音中画面
```
ロクオンチュウ        [16K]
フレーズ゛ No:00
             *:ロクオンテイシ
               ノコリ:XXX
```

---

4. 再度「＊」キー押すと録音を終了します。

No. 00操作画面（フレーズ毎の録音時間(秒)）
```
ロクオンズ゛ ミ:XXX [16K]
フレーズ゛ No:00
*:ロクオン         #:サイセイ
テイシ:クリア      ノコリ:XXX
```

---

5. 「↓」キーを押します。
   (「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。)
   また、以下の操作もできます。
   ・「＊」で上書き録音します。
   ・「＃」で再生します。
   ・「通報停止」でメッセージを消去します。
   ・「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 01録音画面
```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ゛ No:01
*:ロクオン
               ノコリ:XXX
```

---

6. 操作3～5を繰り返し、各フレーズにメッセージを録音して下さい。

No. 01録音画面
```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ゛ No:XX
*:ロクオン
               ノコリ:XXX
```

---

7. 「取消」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「＊」で録音を開始します。
   ・「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。

フレーズNo入力画面
```
                      [16K]
フレーズ゛ No:■
     [0-63] :フレーズ゛ No
        [99] :オールクリア
```

---

8. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「数字」＋「確定」でフレーズNoを入力します。
   ・「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNo録音状況画面になります。(参考画面1参照)
   ・「99」＋「確定」でフレーズのメモリオールクリア画面になります。(参考画面2参照)

メインメニュー
```
キーホート゛ メンテナンス

→メッセージ゛  ロクオン
 システムデ゛ ータ
```

参考画面1:フレーズNo録音状況画面

```
ロクオンシ゛ ョウキョウ [16K]
 60    61    62    63
→00R   01    02    03R
 04    05R   06    07
```

「R」マークのフレーズは録音されていることを示します。

・「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNoを選択できます。
・「確定」で選択したフレーズNoの録音または操作画面になります。
・「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

参考画面2:メモリオールクリア画面

```
オールクリアシマスカ?

            テイシ:YES
          トリケシ:NO
```

・「通報停止」でフレーズのオールクリアをします。
・「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

2. システムデータを設定する方法

◇ システムデータの設定方式

システムデータは、以下の3通りの方式で設定することができます。
本説明書では、「1. キーボードメンテナンス」方式について述べてあります。
「2. 保守端末オンサイト方式」「3. 保守端末オンライン方式」については、「保守用FDセット」(別売)添付品の「保守用FD取扱説明書」を参照して下さい。

1. キーボードメンテナンス方式
   通報装置本体のキーボードを使用して、システムデータを設定します。
   システムデータの設定方法には、ノーマル設定とダイレクト設定があります。
   ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。
   ダイレクト設定は、種別No. 等を入力してシステムデータを設定する設定方法です。
   また、CS・D7通報装置本体のキーボードメンテナンス機能により、システムデータの設定以外にも様々な機能を行うことができます。

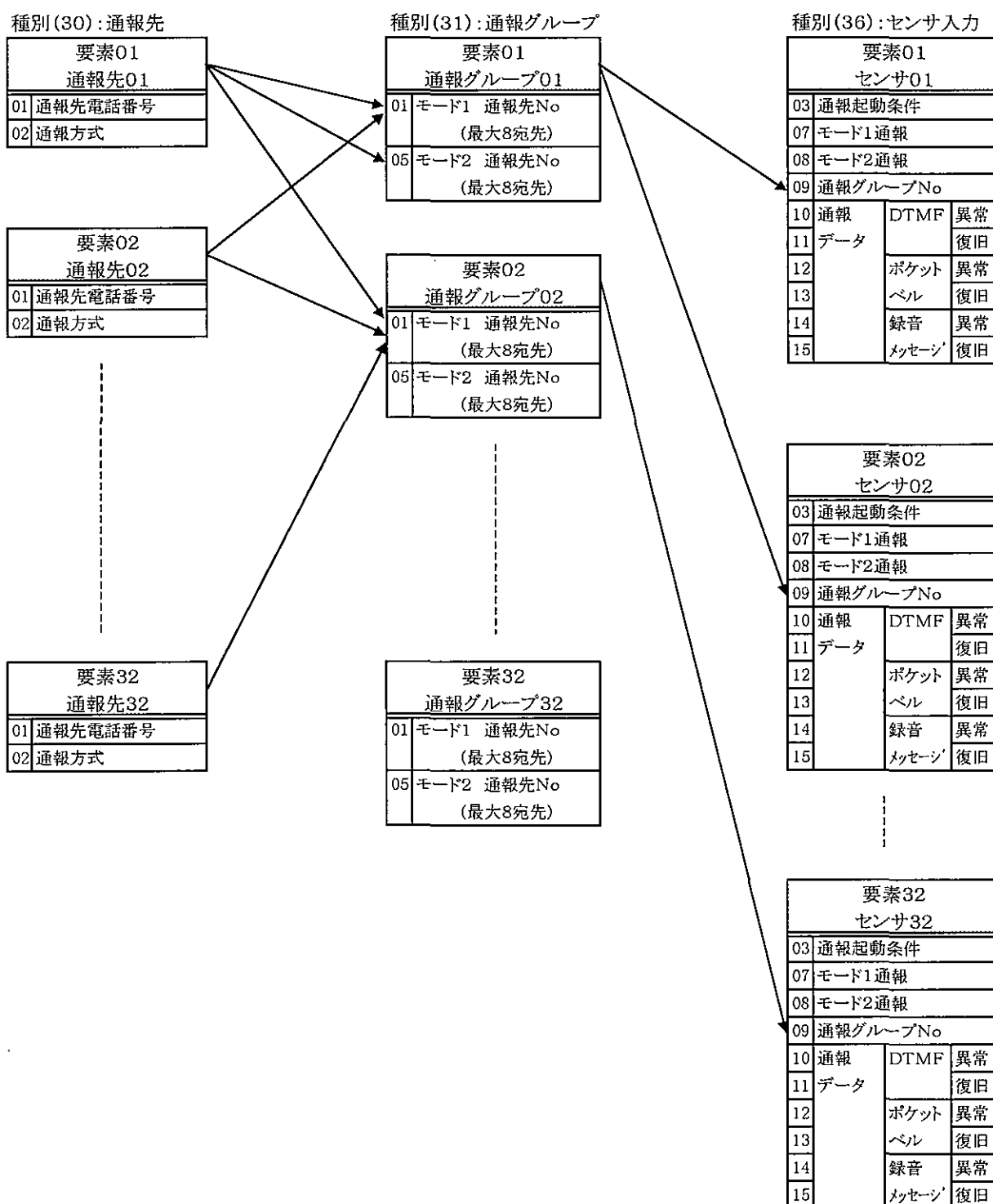
2. 保守端末オンサイト方式
   通報装置本体の「RS－232C」端子と保守端末(「保守用FDセット」が動作可能なパソコン)を専用ケーブル(添付品)で接続し、事前に保守端末にて作成したシステムデータをダウンロードして設定できます。
   また、CS・D7通報装置に設定してあるシステムデータをアップロードして読み込むこともできますので、アップロードしたシステムデータを変更してダウンロードすることもできます。

3. 保守端末オンライン方式
   保守端末と指定のモデムカード(別売)を使用して電話回線に接続し、遠隔地より上記2と同じ事を行うことができます。

◇ システムデータ設定(通報先設定)の考え方

システムデータ設定において、通報先設定の基本的な考え方は、以下の通りです。
尚、各種別の設定項目は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

1. 通報先(最大32宛先)を設定します。
2. 設定済みの通報先の中から、通報グループ(最大32グループ)に最大8宛先(各モード)設定します。
3. 設定済みの通報グループの中から、各通報(センサ、アナログ等)に1グループ設定します。

設定例

◇ システムデータ設定例

①通報機能の設定例

・接続機器	：センサ(メークで異常)を8系統接続
・通報モード	：昼間は通報モード1(通報先No1、2、3に通報) ：夜間は通報モード2(通報先No4、5、6に通報)
・通報方式	：全て録音音声で通報
・通報完了条件	：各通報モード共に通報先3宛先のうち1宛先応答で通報完了
・モード切替ボタン	：センサNo. 41に接続
・外部停止ボタン	：センサNo. 42に接続
・その他	：夜間は、音声制御によるテレコントロール操作

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。
白ヌキ数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

設定種別		要素	項目		設定データ	記事
No.	名称	No.	No.	名称	( )：初期値	
01	IDコード	−	01	ID No	「最大16桁」	必ず設定
10	NCU機能	−	01	ダイヤルモード	(20PPS)	ダイヤルモードの設定
20	自動応答	−	01	自動応答機能	有(無)	テレコントロールを実行する為の設定
			02	自動応答条件	(モード2)	
			06	自動応答メッセージ方式	録音音声	
			07	自動応答メッセージ	「最大1フレーズ」	
21	暗証番号	−	01	暗証番号オンラインメンテナンス	「4桁の番号」	
			02	暗証番号テレコン音声制御	「4桁の番号」	
30	通報先	01〜06	01	電話番号	最大32桁	通報先1〜6各々の設定
			02	通報方式	録音音声	
			03	応答検出方式	(極性反転)	
31	通報グループ	01	01	通報先No. (モード1)	1−2−3	通報先1〜6をグループ化する設定
			02	通報完了条件	(1宛先)	
			04	発呼回数	(3)	
			05	通報先No. (モード2)	4−5−6	
			06	通報完了条件	(1宛先)	
			08	発呼回数	(3)	
32	通報モード切替	−	01	切替方式	(ボタン)	モード切替に関する設定
			02	外部スイッチNo	センサ41	
33	通報動作設定	−	02	外部停止ボタンNo	センサ42	外部停止ボタンの設定
36	センサ入力	01〜08	01	異常モード	(メーク)	センサ1〜8各々の設定
			03	通報起動条件	(異常時)	
			07	モード1通報	有(無)	
			08	モード2通報	有(無)	
			09	通報グループ	(1)	
			14	通報データ (録音メッセージ・異常時)	「最大16フレーズ」	
37	アナログ入力 (センサ入力)	01〜02 (41〜42)	01	端子用途	(センサ)	センサ41〜42各々の設定

②エレベータホン機能の設定例

・接続機器	:TE親機1台、TE子機多局4台
・呼出モード	:昼間はインターホンモード
	:夜間はAグループ(3宛先に通報)

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。

設定種別		要素	項目		設定データ	記事
No.	名 称	No.	No.	名 称	( ):初期値	
60	通報先Aグループ	01~03	01	電話番号	最大32桁	
			02	応答DTMF	「最大1桁」	
62	呼出モード切替	−	01	切替方式	(ボタン)	
66	通話方式	−	01	通話方式	(ハンズフリー)	
67	子機設定	−	01	子機タイプ	(TE)	

注1. オプションユニットであるCSD7－EVU－A1上のTM1, 2を上表で設定した子機タイプに合わせて下さい。
注2. CSD7通報装置の設置場所が離れている場合、エレベータホン切替スイッチを使用することにより、切替可能です。

2－1. ノーマル設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をノーマル設定で行います。
ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。
各種別／項目の設定内容は、「9. システムデータ設定内容」を参照願います。

操作	画面表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン システムテ゛ータ
2. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。 ("→"を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ →ノーマル　セッテイ タ゛イレクト　セッテイ
3. 「確定」キーを押します。	ノーマル設定画面 01：IDコート゛ ←種別No:名称 01：ID　No ←項目No:名称 [0～9] ←入力可能データ ■
4. 「数字」キーでID番号を設定します。 (例)0123456789を設定する場合 また、以下の操作もできます。 ・「通報停止」で初期値になります。 ・「確定」で次項目を表示します。 ・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	ノーマル設定画面 01：IDコート゛ 01：ID　No [0－9] 0123456789■
5. 「確定」キーを押します。 (「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。) ・「通報停止」で初期値になります。 ・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	ノーマル設定画面 01：IDコート゛ 02：ID　メッセーシ゛ [0－63]　(0／1) ：■　　：
6. 操作4～5を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。	ノーマル設定画面 01：IDコート゛ 02：ID　メッセーシ゛ [0－63] ：■　　：
7. 「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。 "→"は「システムデータ保存」に表示します。 (「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。 詳しくは「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ タ゛イレクト　セッテイ →システムテ゛ータ　ホソ゛ン システムテ゛ータ　ヨミコミ
8. 「確定」キーを押します。	システムデータ保存画面 システムテ゛ータ システムテ゛ータ　ヲ ホソ゛ンシマスカ？ カクテイ：YES　トリケシ：NO

9.「確定」キーを押します。

データに問題がある場合、エラー表示となります。

(「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ　ホソ゛ン
　セイコ゛ウセイ　チェックチュウ

　　　トリケシ：ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ　ホソ゛ンチュウ

　シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ　ヲ
　　　　　　ホソ゛ンシマシタ

　　　　　HIT　ANY　KEY
```

10. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
　タ゛イレクト　セッテイ
→システムデ゛ータ　ホソ゛ン
　システムデ゛ータ　ヨミコミ
```

11.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート゛　メンテナンス
　メッセーシ゛　ロクオン
→システムデ゛ータ
　ニチシ゛　セッテイ
```

2－2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をダイレクト設定で行います。
ダイレクト設定は、種別No. 等入力してシステムデータを設定する設定方法です。
各種別／項目の設定内容は、「9. システムデータ設定内容」を参照願います。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーホート゛  メンテナンス

→メッセーシ゛  ロクオン
  システムテ゛ータ
```

---

2. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(”→”を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ

→ノーマル  セッテイ
  タ゛イレクト  セッテイ
```

---

3. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(”→”を「ダイレクト　セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

種別入力画面

```
No：■
```

---

4. 「数字」キーで種別Noを入力します。
(例) 種別36を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で種別一覧画面(参考画面1参照)
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

要素入力画面

```
No：36 (■
センサIN
センサNo？
[01－XX]
```

---

5. 「数字」キーで要素Noを入力します。(要素がある場合のみ)
(例) 要素01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で種別入力画面になります。

項目入力画面

```
No：36 (01) －■
センサIN
```

---

6. 「数字」キーで項目Noを入力します。
(例) 項目01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で項目一覧画面(参考画面1参照)
・「取消」で要素入力画面になります。

ダイレクト設定画面 ← 要素No

```
36：センサIN01
01：イシ゛ョウモート゛
    フ゛レーク
  →メーク
```

---

7. 「↑」「↓」キーで異常モードを設定します。
(例) ブレークに設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面

```
36：センサIN01
01：イシ゛ョウモート゛
    メーク
  →フ゛レーク
```

---

8. 「確定」キーを押します。
(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面

```
36：センサIN01
02：ケンシュツタイマ
[5－30000 (x10ms) ]
：30→■
```

---

9. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。

項目入力画面

```
No：36 (01) －■
センサIN
```

---

10. 「取消」キーを押すと要素入力画面になります。
また、以下の操作もできます。
・「数字」で項目Noを入力できます。

要素入力画面

```
No：36 (■
センサIN
センサNo？
[01－XX]
```

11.「取消」キーを押すと種別入力画面になります。
また、以下の操作もできます。
・「数字」で要素Noを入力できます。

種別入力画面

```
No：■
```

12. 操作4～11を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

種別入力画面

```
No：■
```

13.「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。
"→"は「システムデータ保存」に表示します。
(「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。
詳しくは「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホソ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

14.「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ン
システムデ゛ータ ヲ
       ホソ゛ンシマスカ？
カクテイ：YES  トリケシ：NO
```

15.「確定」キーを押します。
データに問題がある場合、エラー表示となります。
(「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
 セイコ゛ウセイ チェックチュウ

    トリケシ：ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ンチュウ

 シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ ヲ
        ホソ゛ンシマシタ

       HIT ANY KEY
```

16. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホソ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

17.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート゛メンテナンス
 メッセージ゛ ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチシ゛ セッテイ
```

参考画面1：

種別一覧画面

```
→01：IDコート゛
 02：ロクオンシ゛ョウケン
 03：カイセンキノウ
 04：NCUキノウ
```

項目一覧画面(例：「種別(36)：センサ入力」の場合)

```
→01：イシ゛ョウモート゛
 02：ケンシュツタイマ
 03：ツウホウシ゛ョウケン
 04：ツウホウナイヨウ
```

・「→」でページ送りをします。
・「←」でページ戻しをします。
・「↑」「↓」で種別及び項目Noを選択できます。
・「確定」キーで選択した種別及び項目Noの設定画面になります。

2－3. システムデータを保存する方法

設定したシステムデータを保存します。
ノーマル及びダイレクト設定で設定したシステムデータは、本項目を行うことにより、CS･D7通報装置に保存されます。
保存されたシステムデータは、初期化及び変更したシステムデータを再度保存しない限りは、保持されます。

操作	画面
1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると"→"は「システムデータ保存」に表示します。	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ 　タ゛イレクト　セッテイ →システムテ゛ータ　ホソ゛ン 　システムテ゛ータ　ヨミコミ
2. 「確定」キーを押します。	システムデータ保存画面 システムテ゛ータ　ホソ゛ン システムテ゛ータ　ヲ 　　　ホソ゛ンシマスカ? カクテイ:YES　トリケシ:NO
3. 「確定」キーを押します。 システムデータに問題がある場合、エラー表示となります。 (次ページの「システムデータにエラーがある場合の操作方法」を参照願います。) また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ整合性チェック画面 システムテ゛ータ 　セイコ゛ウセイ　チェックチュウ 　トリケシ:ホソ゛ンチュウシ システムデータ保存中画面 システムテ゛ータ　ホソ゛ンチュウ 　シハ゛ラクオマチクタ゛サイ システムデータ保存終了画面 システムテ゛ータ　ヲ 　　　ホソ゛ンシマシタ 　HIT　ANY　KEY
4. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ 　タ゛イレクト　セッテイ →システムテ゛ータ　ホソ゛ン 　システムテ゛ータ　ヨミコミ
5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　メッセーシ゛　ロクオン →システムテ゛ータ 　ニチシ゛　セッテイ

システムデータにエラーがある場合の操作方法

（例） ID Noが未設定の場合

操作	画面
1. 前ページの操作3でシステムデータに問題があると、 整合性チェック後、右のようなエラー画面を表示します。	エラー画面 システムデ゛ータ ニ エラー ガ゛ アリマス カクテイ：エラー サンショウ トリケシ：メニューニモト゛ル
2. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューに戻ります。	エラー参照画面 01：IDコート゛ 01：ID No ミセッテイデ゛ス
3. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で項目入力画面になります。 ・「→」でエラーを選択できます。（複数のエラーがある場合）	ID No設定画面 01：IDコート゛ 01：ID No [0－9] ■
4. 「数字」キー＋「確定」キーでID Noを設定します。 また、以下の操作もできます。 ・「確定」で次項目を表示します。 ・「取消」で項目入力画面になります。	IDメッセージ設定画面 01：IDコート゛ 02：ID メッセーシ゛ [0－63] ■ :
5. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。 また、以下の操作もできます。 ・「確定」で次項目を表示します。	項目入力画面 No：01－■ IDコート゛
6. 「取消」キーを押すと種別入力画面になります。 また、以下の操作もできます。 ・「数字」で項目Noを入力できます。	種別入力画面 No：■
7. 「取消」キーを押すとシステムデータ保存画面になります。	システムデータ保存画面 システムデ゛ータ ホソ゛ン システムデ゛ータ ヲ ホソ゛ンシマスカ？ カクテイ：YES トリケシ：NO
8. 「確定」キーを押します。 再度エラーとなった場合、操作1に戻ります。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ整合性チェック画面 システムデ゛ータ セイコ゛ウセイ チェックチュウ トリケシ：ホソ゛ンチュウシ システムデータ保存中画面 システムデ゛ータ ホソ゛ンチュウ シハ゛ラクオマチクタ゛サイ システムデータ保存終了画面 システムデ゛ータ ヲ ホソ゛ンシマシタ HIT ANY KEY
9. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ タ゛イレクト セッテイ →システムデ゛ータ ホソ゛ン システムデ゛ータ ヨミコミ
10. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛ メンテナンス メッセーシ゛ ロクオン →システムデ゛ータ ニチシ゛ セッテイ

2－4. 変更前のシステムデータを読込む方法

設定途中(「システムデータ保存」を行う前)で、その設定前のシステムデータに戻します。

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。 "→"は「システムデータ保存」に表示します。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ 　タ゛イレクト　セッテイ →システムデ゛ータ　ホゾ゛ン 　システムデ゛ータ　ヨミコミ
2.「↓」キーを押します。 ("→"を「システムデータ　ヨミコミ」に合わせます。)	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ 　システムデ゛ータ　ホゾ゛ン →システムデ゛ータ　ヨミコミ 　システムデ゛ータ　ショキカ
3.「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	システムデータ読込画面 システムデ゛ータ　ヨミコミ システムデ゛ータ　ヲ 　ヨミコミマスカ? カクテイ:YES　トリケシ:NO
4.「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ読込中画面 システムデ゛ータ　ヨミコミチュウ 　シハ゛ラクオマチクタ゛サイ システムデータ読込終了画面 システムデ゛ータ　ヲ 　ヨミコミシマシタ 　HIT ANY KEY
5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ 　システムデ゛ータ　ホゾ゛ン →システムデ゛ータ　ヨミコミ 　システムデ゛ータ　ショキカ
6.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　メッセーシ゛　ロクオン →システムデ゛ータ 　ニチシ゛　セッテイ

2－5. システムデータを初期化する方法

システムデータを初期化(出荷時の設定)します。但し、録音メッセージは消去されません。
録音メッセージの消去については、「1. メッセージを録音する方法」を参照願います。
注意:本装置に記録されているシステムデータが初期化されますので、十分注意して操作して下さい。

---

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。
”→”は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムテ゛ータ ホソ゛ン
 システムテ゛ータ ヨミコミ
```

---

2. 「↓」キーを2回押します。
(”→”を「システムデータ ショキカ」に合わせます。)

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ
 システムテ゛ータ ヨミコミ
→システムテ゛ータ ショキカ
```

---

3. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ初期化画面

```
システムテ゛ータ ショキカ
システムテ゛ータ ヲ
         ショキカシマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```

---

4. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ初期化中画面

```
システムテ゛ータ ショキカチュウ

 シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

システムデータ初期化終了画面

```
システムテ゛ータ ヲ
          ショキカシマシタ

       HIT ANY KEY
```

---

5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ
 システムテ゛ータ ヨミコミ
→システムテ゛ータ ショキカ
```

---

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート゛ メンテナンス
 メッセーシ゛ ロクオン
→システムテ゛ータ
 ニチシ゛ セッテイ
```

3. 日時を設定する方法

設定されている日時を変更します。
尚、新設時の日時設定は次ページの「新設時に日時を設定する方法」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーホート゛ メンテナンス

→メッセーシ゛ ロクオン
  システムテ゛ ータ
```

2. 「↓」キー2回＋「確定」キーを押します。
(”→”を「ニチジ　セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

日時設定画面
```
ニチシ゛   セッテイ


→ヒツ゛ ケ   ヨウヒ゛   シ゛ コク
```

3. 「→」キーで変更したい項目を選択し「確定」キーを押します。
(例)時刻を変更する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」で現在時刻表示画面になります。(参考画面1参照)
・「取消」でメインメニューになります。

時刻設定画面
```
ニチシ゛   セッテイ
  ケ゛ ンサ゛ イ：12：00
      シ゛ コク：■  ：
```

4. 「数字」キーで時刻を設定します。
(例)13:30を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面
```
ニチシ゛   セッテイ
  ケ゛ ンサ゛ イ：12：00
      シ゛ コク：13：30
```

5. 「確定」キーを押します。
また、以下の操作もできます。
・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面
```
ニチシ゛   セッテイ


→ヒツ゛ ケ   ヨウヒ゛   シ゛ コク
```

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。
また、以下の操作もできます。
・「→」「←」でその他変更したい項目を選択できます。

メインメニュー
```
キーホート゛  メンテナンス
  システムテ゛ ータ
→ニチシ゛  セッテイ
  タンシ  シ゛ ヨウタイ
```

参考画面1：現在時刻表示画面

```
ニチシ゛   セッテイ        THU
96－01－01     12：00

→ヒツ゛ ケ  ヨウヒ゛ シ゛ コク
```

現在記憶している日付、曜日
時刻を表示します。

新設時に日時を設定する方法

新設時の日時設定を行います。
新設時に本装置の電源をONしたり「システムオールリセット」を行った場合は、自動的に本設定状態となります。

1. 新設時、本装置の電源をONします。
   または、「システムオールリセット」を行います。

日時設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ

ヒヅ゛ケ カ゛ ミセッテイデ゛ス
→ヒヅ゛ケ ヨウビ゛ ジ゛コク
```

2. 「確定」キーを押します。

日付設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
   ヒヅ゛ケ:■ ー ー
```

3. 「数字」キーで日付を設定します。
   (例)96年1月1日を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日付設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
   ヒヅ゛ケ:96-01-01
```

4. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ

ヨウビ゛ カ゛ ミセッテイデ゛ス
 ヒヅ゛ケ→ヨウビ゛ ジ゛コク
```

5. 「確定」キーを押します。

曜日設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
→SUN TUE THU SAT
   MON WED FRI
```

6. 「→」キーで曜日を設定します。
   (例)木曜日を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

曜日設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
 SUN TUE→THU SAT
   MON WED FRI
```

7. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ

ジ゛コク カ゛ ミセッテイデ゛ス
 ヒヅ゛ケ ヨウビ゛→ジ゛コク
```

8. 「確定」キーを押します。

時刻設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
   ジ゛コク:■ :
```

9. 「数字」キーで時刻を設定します。
   (例)PM1:00を設定する場合
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ
 ゲ゛ンザ゛イ:ミセッテイ
   ジ゛コク:13:00
```

10. 「確定」キーを押します。
    また、以下の操作もできます。
    ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

```
ニチジ゛ セッテイ

    トリケシ:メインメニュー
→ヒヅ゛ケ ヨウビ゛ ジ゛コク
```

11. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボート゛ メンテナンス
 システムデ゛ータ
→ニチジ゛ セッテイ
 タンシ ジ゛ョウタイ
```

4. 各端子の現在状態をLCDに表示する方法

センサ入力、アナログ入力の現在の端子状態を表示します。
尚、出力接点は保守機能実行により待機状態に戻る為、待機状態の確認となります。
積算値のクリアについては、「11. 積算値をクリアする方法」のページを参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー
```
キーホート゛ メンテナンス

→メッセーシ゛ ロクオン
  システムテ゛ータ
```

2. 「↓」キー3回＋「確定」キーを押します。
(”→”を「タンシ ジョウタイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

端子状態メニュー画面
```
タンシ シ゛ョウタイ

→センサ
  アナロク゛
```

3. 「確定」キーを押します。
(例) センサ入力の状態を確認する場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で端子選択できます。

センサ入力状態表示画面
```
センサ
  O1 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ
  O2 [メーク   ] イシ゛ョウ
  O3 [メーク   ] ハ゜ルス
```
入力状
入力状態に対する

4. 「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
また、以下の操作もできます。
・「モード2」で積算値表示画面になります。(参考画面1参照)
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

センサ入力状態表示画面
```
センサ
  O4 [フ゛レーク] シ゛カン
  O5 [メーク   ] セイシ゛ョウ
  O6 [メーク   ] モート゛1
```

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー
```
キーホート゛  メンテナンス
  ニチシ゛  セッテイ
→タンシ  シ゛ョウタイ
  リレキ  ヒョウシ゛
```

参考画面1：積算値表示画面
```
センサ
  O1 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ
  O2 [メーク   ] イシ゛ョウ
  O3 [OO475] ハ゜ルス
```
積算端子のみ積算値を表示します。

・「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
・「モード1」でセンサ入力状態表示画面になります。
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

5. 通報履歴等をLCDに表示する方法

通報、センサ入力、アナログ入力、接点出力、回線断の履歴を表示します。
通報動作、センサ入力、アナログ入力、接点出力は、最大:各100件、回線断は、最大:20件の履歴を蓄積できます。
尚、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきます。

操作	表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2. 「↓」キー4回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「リレキ　ヒョウジ」に合わせ「確定」キーを押します。)	履歴表示メニュー画面 リレキ　ヒョウシ゛ →ツウホウ　[005] 　センサ　[020]
3. 「確定」キーを押します。 (例)通報履歴を確認する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で履歴項目を選択できます。 ・「取消」でメインメニューになります。	履歴表示画面 No:1　[MAX:006] イシ゛ョウ　01　セイシ゛ョウ 96-11-01　13:02
4. 「↑」「↓」「→」「←」で履歴を確認します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で履歴表示メニュー画面になります。	履歴表示画面 No:6　[MAX:006] イシ゛ョウ　08　オウトウナシ 96-11-01　09:05
5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　タンシ　シ゛ョウタイ →リレキ　ヒョウシ゛ 　フ゜リントアウト

6. システムデータ等をプリントアウトする方法

本装置にプリンタ（PC－PR系）を接続することにより、システムデータや履歴を印刷します。

注意：プリンタを接続する場合は、静電気にご注意ください。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2. 「↓」キー5回＋「確定」キー押します。 （"→"を「フ゜リントアウト」に合わせ「確定」キー押します。）	プリントアウトメニュー画面 フ゜リントアウト →システムテ゛ータ　インサツ 　リレキ　インサツ
3. 「確定」キーを押します。 （例）システムデータを印刷する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	システムデータ印刷メニュー画面 システムテ゛ータ　インサツ →セ゛ン　システムテ゛ータ 　システム　キノウ
4. 「確定」キーを押します。 （例）全システムデータを印刷する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で印刷項目を選択できます。 ・「取消」でプリントアウトメニュー画面になります。	印刷中画面 システムテ゛ータ　インサツ セ゛ン　システムテ゛ータ （インサツチュウ） トリケシ：チュウシ
5. 印刷が終わる（プリンタにデータ送出が終わる）とシステムデータ印刷メニュー画面になります。	システムデータ印刷メニュー画面 システムテ゛ータ　インサツ →セ゛ン　システムテ゛ータ 　システム　キノウ
6. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ

7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法

本装置の設定に関係なくオンラインメンテナンスを行う事ができます。
本項目を実行状態とすると、本装置はオンラインメンテナンス待ち状態となり保守端末によるシステムデータのダウンロードやアップロード等を行うことができます。

手順	表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボード　メンテナンス →メッセージ　ロクオン システムデータ
2. 「↓」キー6回＋「確定」キー押します。 ("→"を「オンラインメンテナンス」に合わせ「確定」キー押します。)	オンラインメンテナンス待ち画面 オンラインメンテナンス　マチ
4. 本装置は、オンラインメンテナンス待ち状態となりますのでオンラインメンテナンスを実行できます。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	
5. オンラインメンテナンスを終了すると自動的にメインメニューに戻ります。	メインメニュー システムデータ プリントアウト →オンライン　メンテナンス システム　インフォメーション

8. システムバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているメインCPUのバージョンを表示します。

手順	表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボード　メンテナンス →メッセージ　ロクオン システムデータ
2. 「↓」キー7回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「システム　インフォメーション」に合わせ「確定」キーを押します。)	システム表示画面 システム　：ＣＳＤ７－Ｂ バージョン　：　０３．００ ← バージョン ：（０１．００）
3. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボード　メンテナンス オンライン　メンテナンス →システム　インフォメーション ユニット　インフォメーション

9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているサブCPUの種類、状態及びバージョンを表示します。

操作	表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2. 「↓」キー8回＋「確定」キー押します。 ("→"を「ユニット　インフォメーション」に合わせ「確定」キー押します。)	ユニット表示画面 スロットＮｏ　：１ シュヘ゛ツ　：ＮＣＵ　－１ ← ユニット名称：連番 シ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ ← 実装状態 ハ゛ーシ゛ョン：０３．００ ← バージョン
3. 「→」「←」で各オプションセットを確認します。	ユニット表示画面 スロットＮｏ　：３ シュヘ゛ツ　：ＥＶＵ－１ シ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ ハ゛ーシ゛ョン：０３．００
4. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　システム　インフォメーション →ユニット　インフォメーション 　リレキ　クリア

10. 履歴をクリアする方法

本装置に記録されている各動作履歴をクリアします。

注意：最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきますので、
特別な場合を除き操作しないで下さい。

操作	表示
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2. 「↓」キー9回＋「確定」キー押します。 ("→"を「リレキ　クリア」に合わせ「確定」キー押します。)	履歴クリアメニュー画面 リレキ　クリア →ツウホウ　[００５] 　センサ　[０２０]
3. 「確定」キーを押します。 (例)通報履歴をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で履歴クリア項目を選択できます。 ・「取消」で履歴クリアメニュー画面になります。	履歴クリア画面 リレキ　クリア 　ツウホウ　[００５] カクテイ：クリア
4. 「確定」キーでクリアされ履歴クリアメニュー画面になります。	クリア項目選択画面 リレキ　クリア →ツウホウ　[０００] 　センサ　[０２０]
5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　ユニット　インフォメーション →リレキ　クリア 　セキサンチ　クリア

11. 積算値をクリアする方法

本装置に記録されている各積算値をクリアします。

操作	画面
1.待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2.「↓」キー10回＋「確定」キー押します。 ("→"を「セキサンチ　クリア」に合わせ「確定」キー押します。)	積算値クリアメニュー画面 セキサンチ　クリア →ハ゜ルス　セキサンチ 　シ゛カン　セキサンチ
3.「確定」キーを押します。 (例)パルス積算値をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で積算値クリア項目を選択できます。 ・「取消」でメインメニューになります。	クリアNo選択画面 ハ゜ルス　セキサンチ →01　　　　[12345] 　02　　　　[00123]
4.「↑」「↓」「→」「←」でクリアする端子を選択し「確定」キーでクリアされます。 (例)センサ01をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で積算値クリアメニュー画面になります。	積算値クリア画面 ハ゜ルス　セキサンチ →01　　　　[00000] 　02　　　　[00123]
5.「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　リレキ　クリア →セキサンチ　クリア 　システム　オール　リセット

12. システムをオールリセットする方法

本装置に記録されているシステムデータ、履歴及び録音メッセージを全てリセット(出荷時の状態)します。

注意:本装置の状態は、出荷時状態に戻りますので、特別な場合を除き操作しないで下さい。

操作	画面
1.待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2.「↓」キーを11回＋「確定」キー押します。 ("→"を「システム　オール　リセット」に合わせ「確定」キー押します。)	オールリセット画面 システム　オール　リセット 　　　セッテイ:オールリセット
4.「設定」キーを押すとオールリセットします。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。 オールリセット後は、日時設定画面となります。	オールリセット中画面 オール　リセットチュウ システム初期化中画面 システム　ショキカチュウ 　ホ゛ート゛　ショキカチュウ システム初期化中画面 キーホート゛　メンテナンス 　シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ 日時設定画面 ニチシ゛　セッテイ ヒツ゛ケ　カ゛　ミセッテイテ゛ス →ヒツ゛ケ　ヨウヒ゛　シ゛コク

9. システムデータ設定内容

次ページ以降のシステムデータ設定内容の表記は、以下の通りです。

通報	種別 36	センサ入力	要素 01～08

概　要

センサ入力の設定をします。

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
01	異常モード			メーク/ブレーク/パルス積算/時間積算	メーク	異常モードを設定	注1
02	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定	
03	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	本項目(01)が「メーク」「ブレーク」の場合、通報起動条件を設	注2
04	通報内容			積算値／異常通報	積算値	本項目(01)が「パルス／時間積算」の場合、固定音声／固定データ通報時の通報内容を設定	注3
05	異常積算値			1～65534(回又はx10秒)	65534	本項目(01)が「パルス／時間積算」の場合、異常とする積算値を設定	注4
06	定時通報時積算値クリア			有／無	有	本項目(01)が「パルス／時間積算」の場合、定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
07	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定	注5
08	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定	注5
09	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定	注6
10	通報データ	DTMF	異常	0～9、*、#、A～D、F　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	
11			復旧	0～9、*、#、A～D、F　[MAX:32桁]	未設定		注7
12		ポケットベル	異常	0～9、*、#、A～D、F　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
13			復旧	0～9、*、#、A～D、F　[MAX:32桁]	未設定		
14		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
15			復旧	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定		注8
16	動作記録			有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定	注9
17	動作印刷			有／無	無	動作時、印刷の有無を設定	注10
18	臨場音聴取			有／無	無	臨場音聴取の有無を設定	注11

記　事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレーク	「ブレーク」した場合、異常とします。
パルス積算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間積算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目は「種別(30)／項目(02)：通報方式」が以下の場合、有効となります。

①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10)：通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

通報内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
積算値	積算値(最大5桁：1～65534)を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn：要素No(01～08)

```
36：センサINnn
01：イジョウモード
 →メーク
  ブレーク
  パルスセキサン
  ジカンセキサン
```

```
36：センサINnn
02：ケンシュツタイマ
[5－30000 (x10ms)]
:30→■
```

```
36：センサINnn
03：ツウホウジョウケン
 →イジョウジ
  イジョウ・フッキュウジ
```

```
36：センサINnn
04：ツウホウナイヨウ
 →セキサンチ
  イジョウツウホウ
```

```
36：センサINnn
05：イジョウセキサンチ
[1－65534]
:65534→■
```

```
36：センサINnn
06：セキサンチクリア
 →アリ
  ナシ
```

システム	種別	01	IDコード	要素	ー

概　要

本装置のIDコードを設定します。

注意:ID番号は、本装置の管理番号となり、通報及び保守等において必要なものですので、必ず設定して下さい。
「本項目(01):ID番号」が設定されていないと、システムデータ保存時エラーとなります。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	ID番号	0～9	[MAX:16桁]	未設定	本装置のID番号を設定	注1
02	IDメッセージ	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63	[1ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	ID番号の代わりに送出するメッセージを設定	注2

記　事

注1. ID番号は、必ず設定してください。

注2. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。
IDメッセージ機能は、以下の通りです。
「種別(30)／項目(02):通報方式」が「固定音声」の通報先に通報(固定音声通報)する場合、
ID番号の代わりに設定したメッセージを送出します。
本項目の設定により、固定音声通報時の通報メッセージは、以下のようになります。

「センサ01の積算異常を固定音声で通報」する場合

例1: ID番号のみ設定した場合

設定項目	設定値	記　事
ID番号	0123	
IDメッセージ	未設定	

通報メッセージ: 「こちらは0123です　センサ01がXXXXX(積算値)です」
固定音声

例2: ID番号とIDメッセージを設定した場合

設定項目	設定値	記　事
ID番号	0123	
IDメッセージ	No1	[日通工です」というフレーズNo

通報メッセージ: 「日通工です　センサ01がXXXXX(積算値)です」
録音音声　固定音声

LCD表示

```
01:IDｺｰﾄﾞ
01:ID No
[0-9]
■
```

```
01:IDｺｰﾄﾞ
02:IDﾒｯｾｰｼﾞ
[0-63] (0/1)
:■    :
```

システム	種別	02	メッセージ録音条件	要素	―

概　要

本装置の内蔵マイクまたは録音ジャックより録音するメッセージの録音条件を設定します。
注意：メッセージ録音条件の設定は、メッセージを録音する前に行って下さい。
なお、システムデータ保存を行わないと有効となりません。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	サンプリングレート	8K／12K／16K(bps)	16Kbps	サンプリングレートを設定	注1
02	サイレントリムーブ	有／無	無	サイレントリムーブ機能の有無を設定	注2
03	しきい値	0～7(0:低～7:高)	0	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定	注2

記　事

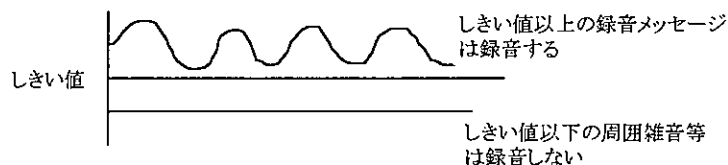
注1. サンプリングレートの設定により録音時間及び音質は以下のようになります。

ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚｰﾄ	録音時間	音　質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps	約 65秒(1分 5秒)	上

メッセージ録音後にサンプリングレートの設定を変更した場合、録音済のフレーズの音質については変更前の音質となり、時間については以下のような比率で換算されます。(16Kbps＝1とした場合)

	8Kbps	12Kbps	16Kbps
比率	約2	約1.4	1

(例) 16Kbpsで5秒間録音した場合、12Kbpsに設定を変更すると約7秒と換算されます。

注2. サイレントリムーブ機能は、以下の通りです。
ある大きさ(しきい値)以下の音を録音しない機能です。下図のような録音となります。
但し、メッセージがしきい値以下になった場合も録音しません(LCD表示の録音可能な残り時間が変化せず再生時は無音を送出する)のでご注意願います。

しきい値は、周囲雑音や録音する声の大きさにより設定して下さい。
しきい値設定は、以下を目安に設定し、実際に録音を行い確認して下さい。

しきい値	録音しない音の大きさ
0	かなり小さい音
1	↓
2	
3	
4	
5	
6	
7	大きい音

LCD表示

```
０２：ロクオンシ゛ョウケン
０１：サンプ゜リンク゛レート
　　８Ｋｂｐｓ
　　１２Ｋｂｐｓ
　→１６Ｋｂｐｓ
```

```
０２：ロクオンシ゛ョウケン
０２：サイレントリムーフ゛
　　アリ
　→ナシ
```

```
０２：ロクオンシ゛ョウケン
０３：シキイチ
［０－７］
：０→■
```

システム	種別	03	回線断検出機能	要素	ー

概　要

本装置が回線断線を検出した時の動作を設定します。
回線断線は以下の条件で検出します。
①待機状態において回線断状態が約30秒継続した時
②回線捕捉時に回線断状態となっている時

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	回線断警報音	有／無	有	検出時、警報音送出の有無を設定	注1
02	出力接点連動	有／無	無	検出時、出力接点連動の有無を設定	
03	接点No	1～XX(注2)	未設定	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点Noを設定	注2
04	動作印刷	有／無	無	検出時、印刷の有無を設定	注3

記　事

注1. 警報音は、本体の内蔵スピーカより送出します。
送出する警報音は、以下の通りです。
「ピー　ピー　ピー・・・・・・・・・・・・」
警報音は以下の条件で停止します。
①回線が復旧した時
②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時

注2. 設定した出力接点Noの待機状態及び出力方式は、「種別(35)：出力接点」で設定して下さい。
出力接点の出力方式が「連続」の場合、連動接点は以下の条件でオフします。
①回線が復旧した時
②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時

注3. 動作印刷機能は、以下の通りです。
回線断検出時及び復旧時、本装置に接続したプリンタに履歴を印刷します。

LCD表示

```
０３：カイセンダ゛ンキノウ
０１：カイセンダ゛ンケイホウ
 →アリ
   ナシ
```

```
０３：カイセンダ゛ンキノウ
０２：セッテンレンド゛ウ
   アリ
 →ナシ
```

```
０３：カイセンダ゛ンキノウ
０３：セッテンＮｏ
［１－４］
ミセッテイ→■
```

```
０３：カイセンダ゛ンキノウ
０４：ト゛ウサインサツ
   アリ
 →ナシ
```

回線	種別	10	NCU機能	要素	―

概　要

本装置の収容回線仕様等を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	ダイヤルモード	10pps／20pps／DTMF	20pps	ダイヤルモードを設定	注1
02	DT検出	有／無	有	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定	
03	DT検出タイマ	1～10(x100ms)	8(0.8秒)	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定	注2
04	極性反転検出タイマ	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	極性反転の検出時間を設定	
05	BT・H&D検出	有／無	有	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定	
06	フラッシュ時間	1～10(x100ms)	6(0.6秒)	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定	
07	回線開放タイマ	5～255(秒)	15(15秒)	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定	注3

記　事

注1．本装置に接続した回線のダイヤルモードを確認して、必ず設定して下さい。
　　尚、DPダイヤルについてはスピード(10pps／20pps)の設定となります。

注2．DT検出タイマは、以下を参考に設定してください。

注3．回線開放タイマは、以下を参考に設定して下さい。

・通報先が同一宛先の場合は、回線開放タイマは無条件で60秒となります。

LCD表示

```
10:NCUキノウ
01:ダイヤルモード
  10pps
 →20pps
  DTMF
```

```
10:NCUキノウ
02:DTケンシュツ
 →アリ
  ナシ
```

```
10:NCUキノウ
03:DTケンシュツタイマ
[1－10 (x100ms)]
:8→■
```

```
10:NCUキノウ
04:RVケンシュツタイマ
[1－10 (x100ms)]
:3→■
```

```
10:NCUキノウ
05:BT・H&Dケンシュツ
  アリ
 →ナシ
```

```
10:NCUキノウ
06:フラッシュジカン
[1－10 (x100ms)]
:6→■
```

```
10:NCUキノウ
07:カイセンカイホウタイマ
[5－255 (s)]
:15→■
```

回線	種別	11	アンサ信号	要素	－

概　要

DTMF通報時において、アンサ信号の有効条件を設定をします。
通報先ダイヤル後、50秒以内に設定した条件内のアンサ信号を受信した場合、通報DTMFデータを送出します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定	注1
02	有効時間(Min)	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	有効時間の最小値を設定	注2
03	有効時間(Max)	10～100(x100ms)	50(5秒)	有効時間の最大値を設定	注2

記　事

注1. 検出周波数は、設定値±10%です。

注2. 有効時間は、以下を参考に設定してください。

LCD表示

```
11:アンサシンゴ゛ウ
01:ケンシュツシュウハスウ
[40－300 (x10Hz)]
:165→■
```

```
11:アンサシンゴ゛ウ
02:ユウコウシ゛カンMin
[1－10 (x100ms)]
:3→■
```

```
11:アンサシンゴ゛ウ
03:ユウコウシ゛カンMax
[10－100 (x100ms)]
:50→■
```

回線	種別	12	エンド信号	要素	‐

概　要

DTMF通報時において、エンド信号の有効条件を設定をします。
設定した条件内のエンド信号を受信した場合、通報が正常終了します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	エンド信号待ちタイマ	1～255(秒)	7(7秒)	通報DTMFﾃﾞｰﾀ送出後、ｴﾝﾄﾞ信号の受信待ち時間を設定	注1
02	検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定	注2
03	有効時間(Min)	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	有効時間の最小値を設定	注1
04	有効時間(Max)	10～100(x100ms)	50(5秒)	有効時間の最大値を設定	注1

記　事

注1. エンド信号待ちタイマ、有効時間は、以下を参考に設定して下さい。

注2. 検出周波数は、設定値±10%です。

LCD表示

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
01：エンド゛マチタイマ
[1－255 (s)]
：7→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
02：ケンシュツシュウハスウ
[40－300 (x10Hz)]
：165→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
03：ユウコウジ゛カンMin
[1－10 (x100ms)]
：3→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
04：ユウコウジ゛カンMax
[10－100 (x100ms)]
：50→■
```

回線	種別	13	DTMFデータ	要素	－

概　要

本装置が送出するDTMFデータ(ダイヤルは除く)の仕様を設定をします。
注意:送出レベルの調整は工事担任者の資格を有するものに限ります。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	DTMF送出タイマ	5～100(x10ms)	10(0.1秒)	送出時間を設定
02	DTMF休止タイマ	5～100(x10ms)	10(0.1秒)	休止時間を設定
03	DTMF送出レベル	0～7(0:大～7:小)	7	送出レベルを設定　注1
04	アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	1～100(x100ms)	5(0.5秒)	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定　注2

記　事

注1. 送出レベルは、以下の通り可変できます。

設定値	送出ゲイン
0	14dB　UP
1	12dB　UP
2	10dB　UP
3	8dB　UP
4	6dB　UP
5	4dB　UP
6	2dB　UP
7	0

注2. アンサ信号後DTMF送出タイマは、以下を参考に設定して下さい。

LCD表示

```
13:DTMFテ゛ータ
01:ソウシュツタイマ
[5-100(x10ms)]
:10→■
```

```
13:DTMFテ゛ータ
02:キュウシタイマ
[5-100(x10ms)]
:10→■
```

```
13:DTMFテ゛ータ
03:ソウシュツレヘ゛ル
[0-7]
:7→■
```

```
13:DTMFテ゛ータ
04:アンサ→MFチエン
[1-100(x100ms)]
:5→■
```

自動応答	種別	20	自動応答	要素	―

概　要

自動応答機能の設定をします。
本装置が待機状態である場合、外部より本装置にダイヤルすると、設定条件に従って自動応答します。
本装置が起動中(通報中、通報保留中等)は、自動応答しません。
本種別及び「種別(21):暗証番号」の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	自動応答機能	有／無	無	自動応答機能の有無を設定
02	自動応答条件	ﾓｰﾄﾞ1/ﾓｰﾄﾞ2/設定時間/無条件	モード2	自動応答する条件を設定　注1
03	自動応答の設定時間	(00:00～23:59)～(00:00～23:59)	20:00～8:00	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定
04	自動応答タイマ	1～255(秒)	5(5秒)	自動応答するまでの時間を設定
05	自動応答DTMF	0～9　[2桁]	未設定	自動応答DTMFを設定　注2
06	自動応答メッセージ方式	固定音声／録音音声	固定音声	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定　注3
07	自動応答メッセージ(録音)	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[1ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定　注4
08	端子状態通知	有／無	無	端子状態通知機能の有無を設定　注5

記　事

注1. 自動応答条件の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
モード1	通報モード1の時、自動応答します。
モード2	通報モード2の時、自動応答します。
設定時間	通報モードに関係なく設定した時間帯の時、自動応答します。
無条件	常時、自動応答します。

注2. 自動応答DTMFの機能は、以下の通りです。
外部より本装置にダイヤルし、自動応答する前に本装置に接続された外付電話装置で応答した場合において、通話中に外部または外付電話機より設定した自動応答DTMFを入力すると、外付電話機が強制切断され装置が自動応答します。
但し、自動応答DTMFを誤入力した場合、再度設定したDTMFを入力しても自動応答できません。

注3. 自動応答メッセージの設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置の固定メッセージ「こちらはXXXX‥です」を送出します。
録音音声	録音メッセージを送出します。

・XXXX‥(MAX:16桁):「種別(01)／項目(01):ID番号」で設定して下さい。
・録音メッセージは、「本項目(07):自動応答メッセージ」で設定して下さい。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注5. 端子状態通知機能は、以下の通りです。
本装置が自動応答した場合、暗証番号なしでセンサの全端子情報を音声で送出します。
また、自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中及び送出後は暗証番号の受信が可能であり、テレコントロール等を起動できます。

・自動応答メッセージは、注3を参照願います。
・センサ全端子情報は、テレコントロール機能の「センサ情報収集全端子情報(＃1199)」と同一のメッセージを送出します。
・自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中の暗証番号(＊XXXX＃)受信は、＊を受信した時点で送出している音声を停止します。
・暗証番号待ちタイマは、「種別(21)／項目(09):暗証番号待ちタイマ」で設定して下さい。

LCD表示

```
20:ジドウオウトウ
01:ジドウオウトウキノウ
  アリ
 →ナシ
```

```
20:ジドウオウトウ
02:オウトウジョウケン
  モード1
 →モード2
  セッテイジカン
  ムジョウケン
```

```
20:ジドウオウトウ
03:オウトウセッテイジカン
:(20:00-08:00)
→(■ :  -  :  )
```

```
20:ジドウオウトウ
04:オウトウタイマ
[1-255(s)]
:5→■
```

```
20:ジドウオウトウ
05:オウトウDTMF
[0-9]
ミセッテイ→■
```

```
20:ジドウオウトウ
06:メッセージホウシキ
  コテイオンセイ
 →ロクオンオンセイ
```

```
20:ジドウオウトウ
07:オウトウメッセージ
[0-63] (0/1)
:■   :
```

```
20:ジドウオウトウ
08:タンシジョウタイツウチ
  アリ
 →ナシ
```

自動応答	種別	21	暗証番号	要素	―

概　要

テレコントロールやメンテナンス(オンライン／オンサイト)を実行するための暗証番号を設定をします。
「種別(20)：自動応答」及び本種別の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

設定項目

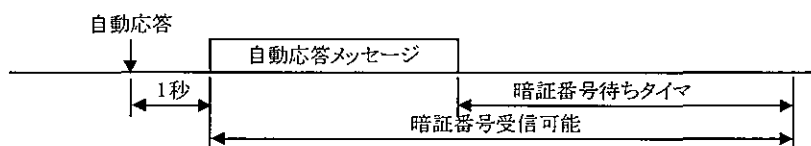
	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	暗証番号オンラインメンテナンス		0～9 [4桁]	未設定	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定	注1
02	暗証番号	音声制御	0～9 [4桁]	未設定	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
03	テレコン	センタ制御	0～9 [4桁]	未設定	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
04		エレベータ制御	0～9 [4桁]	未設定	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
08	暗証番号再入力回数		1～10(回)	3回	暗証番号の再入力可能な回数を設定	注3
09	暗証番号受信待ちタイマ		1～255(秒)	30(30秒)	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定	注4

記　事

注1. メンテナンス(オンライン／オンサイト)を起動する為の暗証番号を設定します。
　また、「種別(23)：オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。

注2. 「種別(20)／項目(01)：自動応答機能」が「有」の場合、設定できます。
　また、「種別(22)：テレコントロール」及び「種別(23)：オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。
　各暗証番号(オンラインメンテナンスおよび各テレコントロール)は、番号が重複しないように設定して下さい。

注3. 再入力回数まで誤入力した場合、回線開放します。

注4. 暗証番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、暗証番号待ちタイマはリセットされます。
・自動応答メッセージ送出中の暗証番号(＊XXXX＃)受信は、＊を受信した時点で送出している音声を停止します。

LCD表示

```
21：アンショウバンゴウ
01：PWオンラインメンテ
[0－9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
02：PWテレコンオンセイ
[0－9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
03：PWテレコンセンタ
[0－9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
04：PWテレコンエレベータ
[0－9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
08：PWサイニュウリョク
[1－10]
：3→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
09：PWマチタイマ
[1－255（s）]
：30→■
```

自動応答	種別	22	テレコントロール	要素	ー。

概 要

テレコントロール（音声制御及びエレベータホン制御）に関する設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	サービス番号待ちタイマ	10～255（秒）	30（30秒）	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定　注1
08	子機番号受信待ちタイマ	10～255（秒）	30（30秒）	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定

記 事

注1．サービス番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、サービス番号待ちタイマはリセットされます。
・「サービス番号をどうぞ」送出中のサービス番号（＃XXXX）受信は、＃を受信した時点で送出している音声を停止します。

LCD表示

２２：テレコントロール
０１：サーヒ゛スＮｏマチタイマ
［１０－２５５（ｓ）］
：３０→■

２２：テレコントロール
０８：コキＮｏマチタイマ
［１０－２５５（ｓ）］
：３０→■

自動応答	種別	23	オンラインメンテナンス	要素	－

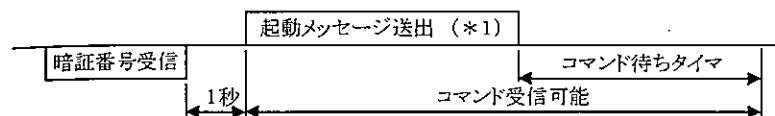
概　要

オンラインメンテナンス及びテレコントロール（センタ制御）のコマンドに関する設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	コマンド待ちタイマ	1～10(分)	1(1分)	1つのコマンドの受信待ち時間を設定　注1

記　事

注1. コマンド待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、コマンド待ちタイマはリセットされます。
・起動メッセージ送出中のコマンド（＃XXXXまたは＊XXXX）受信は、＃または＊を受信した時点で送出している音声を停止します。

＊1. 起動メッセージは、オンラインメンテナンス及びテレコントロール（センタ制御）により異なります。
尚、起動メッセージの送出は、暗証番号受信後のみです。以降は、コマンドに対するデータや実行終了コード[＊＊]、コマンド無効時のエラーコード[＃＃]等を送出します。

状態	起動メッセージ
オンラインメンテナンス	オンラインメンテナンスを開始します
テレコントロール(センタ制御)	コントロールを開始します

LCD表示

```
２３：オンラインメンテナンス
０１：コマント゛マチタイマ
［１－１０（ｍ）］
：１→■
```

通報	種別	30	通報先(1/2)	要素	01～32

概要

通報先の設定をします。
本種別で設定した通報先No(1～32)を、「種別(31):通報グループ」に設定して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	電話番号	0～9､*､#､P､F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1
02	通報方式	固定音声/録音音声 MF+固定音声/MF+録音音声 DTMF/ポケットベル/FAX	固定音声	通報方式を設定 注2
03	応答検出方式	極性反転/タイマ/課金パルス オーディオ信号/DTMF	極性反転	本項目(02)が｢DTMF｣以外の場合、相手応答の検出方式を設定 注3
04	応答タイマ	5～255(秒)	10(10)秒	本項目(03)が｢タイマ｣の場合、応答時間を設定 注4
05	応答DTMF	0～9、*、# [1桁]	#	本項目(03)が｢DTMF｣の場合、応答DTMFを設定
06	応答後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)	1(1秒)	本項目(02)が｢DTMF｣｢ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ｣以外の場合、相手応答後から通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定 注5
07	音声メッセージ送出タイマ	1～60(x10秒)	6(60秒)	通報メッセージの送出時間を設定 注5
08	音声メッセージ繰返ポーズタイマ	0～255(秒)	1(1秒)	通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定 注5
09	応答後ポケベルデータ送出遅延タイマ	0～255(秒)	10(10秒)	本項目(02)が｢ポケットベル｣の場合、相手応答後からポケットベルデータを送出するまでの時間を設定
10	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)	2(2秒)	本項目(02)が｢MF+固定/録音｣の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定
11	通報確認	有/無	無	本項目(02)が｢DTMF｣｢ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ｣以外の場合、設定可。通報時、通報確認機能の有無を設定 注6
12	通報確認DTMF	0～9、*、# [1桁]	1	本項目(11)が｢有｣の場合、設定可。受信するDTMF信号を設定
13	臨場音聴取	有/無	無	本項目(02)が｢ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ｣以外の場合、設定可。通報時、臨場音聴取機能の有無を設定 注7
14	臨場音聴取マイク番号	1～2	1	本項目(13)が｢有｣の場合、聴取するマイクNoを設定 注8
15	臨場音聴取監視タイマ	10～255(秒)	60(60秒)	本項目(13)が｢有｣の場合、聴取する時間を設定 注8
16	テレコン起動	有/無	無	本項目(02)が｢ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ｣以外の場合、設定可。通報時、テレコン起動の有無を設定します。 注9
17	テレコン制御方式	音声/センタ装置	音声	本項目(16)が｢有｣の場合、制御方式を設定

記事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)/項目(06):フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 通報方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置の固定メッセージで通報します。
録音音声	録音メッセージで通報します。
MF+固定音声	DTMFデータを送出後、本装置の固定メッセージで通報します。
MF+録音音声	DTMFデータを送出後、録音メッセージで通報します。
DTMF	DTMFデータ(固定または設定データ)で通報します。
ポケットベル	ポケットベルデータで通報します。
FAX	FAX帳票で通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。
FAX帳票で通報したい場合は、FAXセット(オプション)が必要です。

LCD表示

nn:要素No(01～32)

```
30:ツウホウサキnn
01:TEL No
■
```

```
30:ツウホウサキnn
02:ツウホウホウシキ
 →コテイオンセイ
   ロクオンオンセイ
   MF+コテイオンセイ
   MF+ロクオンオンセイ
   DTMF
   ポ ケベ ル
   FAX
```

通報	種別	30	通報先(2／2)	要素	01～32

記　事

注3. 応答検出方式の設定内容は、以下の通りです。

尚、「本項目(02):通報方式」が「DTMF」の場合、本項目の設定はできません。

応答検出方式はアンサ信号となりますので、以下の設定を確認して下さい。

・「種別(11):アンサ信号」、「種別(12):エンド信号」、「種別(13):DTMFデータ」

設定内容	内容説明
極性反転	回線の極性反転で応答検出します。
タイマ	ダイヤル後の時間で応答検出します。
課金パルス	回線の課金信号で応答検出します。
DTMF	通報先からの応答DTMFを受信して応答検出します。(＊1)
オーディオ信号	通報先からの音声信号を受信して応答検出します。(＊1)

＊1.「本項目(02):通報方式」が「ポケットベル」の場合、設定できません。

注4. 応答タイマは、以下を参考に設定して下さい。

注5. 以下を参考に設定して下さい。

音声メッセージ送出タイマは、メッセージ送出途中で設定値を経過しても回線切断せず、メッセージ終了後に回線切断します。

注6. 通報確認機能は、以下の通りです。

通報先に音声メッセージを送出中、通報先より通報確認としてDTMF信号を受信した場合、通報正常終了とします。受信できない場合は、再通報します。

注7. 臨場音聴取機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せず設定したマイクより臨場音を聴取します。また、臨場音聴取中は、「本項目(16):テレコン起動」の設定に関わらずDTMF信号の[＃]を受信することにより、テレコントロールを起動することができます。

本項目の設定を「有」にするとセンサ／アナログ通報を除く各通報で臨場音聴取が可能となります。

尚、センサ／アナログ入力通報で臨場音聴取する場合、本項目及び「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」の臨場音の設定を「有」にして下さい。

臨場音聴取開始のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	臨場音聴取開始タイミング
固定音声、録音音声 MF＋固定音声 MF＋録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後 ②通報確認DTMF受信後
DTMF	エンド信号受信後
FAX	臨場音の聴取はできません

注8. 設定した集音マイクNoのゲイン初期値は、「種別(34):集音マイク」で行って下さい。

注9. テレコン起動機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せずテレコンを起動します。

尚、「本項目(13):臨場音聴取」が「有」で本項目が「有」の場合、臨場音聴取後テレコントロール起動メッセージが送出され、テレコントロール起動となります。

テレコントロール起動のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	テレコン起動タイミング
固定音声、録音音声 MF＋固定音声 MF＋録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後 ②通報中、DTMF信号の「＃」受信後 ③通報確認DTMF受信後
DTMF	エンド信号受信後
FAX	テレコンはできません

LCD表示

```
30:ツウホウサキnn
03:オウトウホウシキ
 →キョクセイハンテン
  タイマ
  カキンパ゜ルス
  オーディオシンコ゛ウ
  DTMF
```

```
30:ツウホウサキnn
04:オウトウタイマ
[5-255(s)]
:10→■
```

```
30:ツウホウサキnn
05:オウトウDTMF
[0-9,*,#]
#→■
```

```
30:ツウホウサキnn
06:オウトウ→オンセイチエン
[0-255(s)]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
07:オンセイソウシュツタイマ
[1-60(x10s)]
:6→■
```

```
30:ツウホウサキnn
08:クリカエシホ゜ース゛
[0-255(s)]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
09:オウトウ→Pヘ゛ルチエン
[0-255(s)]
:10→■
```

```
30:ツウホウサキnn
10:MF→オンセイチエン
[0-255(s)]
:2→■
```

```
30:ツウホウサキnn
11:ツウホウカクニン
  アリ
 →ナシ
```

```
30:ツウホウサキnn
12:カクニンDTMF
[0-9,*,#]
1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
13:リンシ゛ョウオン
  アリ
 →ナシ
```

```
30:ツウホウサキnn
14:マイクNo
[1-2]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
15:チョウシュタイマ
[10-255(s)]
:60→■
```

```
30:ツウホウサキnn
16:テレコンキト゛ウ
  アリ
 →ナシ
```

```
30:ツウホウサキnn
17:テレコンホウシキ
 →オンセイ
  センターソウチ
```

通報	種別	31	通報グループ(1/2)	要素	01～32

概　要

通報グループの設定をします。
「種別(30):通報先」で設定した通報先No(1～32)の中から設定し、グループ化します。
本種別で設定したグループを各通報「種別(36)、(37)、(40)～(45)、(47)」に設定して下さい。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明
01	モード1	通報先No	1～32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード1の通報先Noを設定 注1
02		通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード1の通報完了条件を設定 注2
03		特定宛先	1～32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3
04		発呼回数	1～255(回)	3回	モード1の発呼(発信)回数を設定
05	モード2	通報先No	1～32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード2の通報先Noを設定 注1
06		通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード2での通報完了条件を設定 注2
07		特定宛先	1～32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(06)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3
08		発呼回数	1～255(回)	3回	モード2の発呼(発信)回数を設定
09	出力接点連動		有/無	無	接点連動の有無を設定 注4
10	接点連動1	接点No	1～4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定 注5
11		オンタイミング	起動/回線補捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6
12		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6
13	接点連動2	接点No	1～4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定 注5
14		オンタイミング	起動/回線補捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6
15		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6
16	接点連動3	接点No	1～4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定 注5
17		オンタイミング	起動/回線補捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6
18		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6
19	接点連動4	接点No	1～4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定 注5
20		オンタイミング	起動/回線補捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6
21		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6
22	接点連動5	接点No	1～4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定 注5
23		オンタイミング	起動/回線補捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6
24		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6

記　事

注1.「種別(30):通報先」で設定した通報先Noを設定します。
また、通報先Noの先頭に[#]を設定すると通報動作を行わず、出力接点連動のみ行う通報グループとなります。

注2. 通報完了条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
1宛先	設定した通報先Noの内、1宛先が応答すると通報完了とします。
全宛先	設定した通報先Noの全てが応答すると通報完了とします。
特定宛先	設定した通報先Noの内、設定した特定宛先Noの全てが応答すると通報完了とします。

注3. 特定宛先は、本項目(01)または(05)で設定した通報先Noの内から選択して下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～32)

```
31:ツウホウク゛ループ゜ nn
01:ツウホウサキNo  1
[1-32,#] (0/8)
:■   -   -   -
```

```
31:ツウホウク゛ループ゜ nn
02:ツウホウカンリョウ  1
 →1アテサキ
  セ゛ンアテサキ
  トクテイアテサキ
```

```
31:ツウホウク゛ループ゜ nn
03:トクテイアテサキ  1
[1-32] (0/5)
:■   -   -   -
```

```
31:ツウホウク゛ループ゜ nn
04:ハッコカイスウ  1
[1-255]
:3→■
```

通報	種別	31	通報グループ(2/2)	要素	01～32

記　事

注4. 出力接点連動は、1通報グループにつき5出力接点ができます。

注5. 設定した出力接点Noの待機状態及び出力方式は「種別(35):出力接点」で設定して下さい。

注6. オン及びオフのタイミングは、以下の通りです。

オンタイミング:待機モードから動作するタイミングです。

設定内容	内容説明
起動	各通報の起動(検出)時にオンします。
回線捕捉	回線捕捉時にオンします。
応答	相手応答時にオンします。
完了	通報完了時にオンします。

オフタイミング:待機モードに戻るタイミングです。

設定内容	内容説明
完了	通報完了時にオフします。(＊1)
回線開放	回線開放時にオフします。(＊1)
停止ボタン	本装置の通報停止ボタンまたは外部停止ボタン押下時にオフします。

＊1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。

外部停止ボタンの設定は、「種別(33)/項目(02):外部停止ボタン」で設定して下さい。

また、オン/オフの設定可能なタイミングは、以下の通りです。

オン/オフの設定(○:有効　×:無効)

オンするタイミング / オフするタイミング	起動	回線捕捉	応答	完了
完了	○	○	○	×
回線開放	×	○	○	×
停止ボタン	○	○	○	○

LCD表示

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
０５：ツウホウサキＮｏ　２
［１－３２，＃］（０／８）
：■　－　－　－
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
０６：ツウホウカンリョウ　２
　１アテサキ
→ゼ゛ンアテサキ
　トクテイアテサキ
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
０７：トクテイアテサキ　２
［１－３２］（０／５）
：■　－　－　－
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
０８：ハッコカイスウ　２
［１－２５５］
：３→■
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
０９：セッテンレンド゛ウ
　アリ
→ナシ
```

連動接点1(項目10～12)の場合

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
１０：レンド゛ウ１セッテンＮｏ
［１－ＸＸ］
ミセッテイ→■
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
１１：レンド゛ウ１　ＯＮ
→ツウホウキド゛ウ
　カイセンホソク
　アイテサキオウトウ
　ツウホウカンリョウ
```

```
３１：ツウホウグ゛ループ゜ｎｎ
１２：レンド゛ウ１　ＯＦＦ
→テイシボ゛タン
　カイセンカイホウ
　ツウホウカンリョウ
```

項目(13)～(24)は、項目(10)～(12)と内容同等

通報	種別	32	通報モード切替	要素	―

概　要

通報モード1と2の切替方式の設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	切替方式	ボタン／タイマ	ボタン	切替方式を設定　注1
02	外部スイッチセンサNo	1～XX(注2)	未設定	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定　注2
03	ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(1→2)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定　注3
04	ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(2→1)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定　注3
05	モード1開始時刻	00:00～23:59	8:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定　注4
06	モード2開始時刻	00:00～23:59	20:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定　注4
07	モード2の曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定　注4
08	モード2の月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定　注4

記　事

注1. 切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下または外部スイッチで切替えます。 モード切替ボタンまたは外部スイッチでの切替えは後押し優先となります。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。

外部スイッチの設定は、「本項目(02):外部スイッチNo」で設定して下さい。
外部スイッチによる切替えは、設定したセンサNoの異常モードにより以下のようになります。
「種別(36)／項目(02):異常モード」または「種別(37)／項目(03):異常モード」

異常モードの設定	モード1	モード2
メーク	メーク	ブレーク
ブレーク	ブレーク	メーク

注2. 設定できるセンサNoは以下の通りです。
センサNo1～ 8、41～44(ｱﾅﾛｸﾞ入力をｾﾝｻ入力として使用時)

注3. モード切替遅延タイマは、以下を参考に設定して下さい。
(例:モード1→2へ切替)

モード切替遅延タイマカウント中のLCDのモード表示は、点滅表示となります。

注4. モード1開始時刻とモード2開始時刻は、同時刻には設定できません。
設定した曜日、月日以外の曜日、月日は、モード1となります。
モード1、2の開始時刻、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
モード1開始時刻	8:00	
モード2開始時刻	20:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日～1月3日	

モード2となる時間、曜日、月日
「毎年12月30日～1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の20:00～7:59」

LCD表示

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
01：キリカエホウシキ
 →ホ゛タン
  タイマ
```

XX:注2参照

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
02：カ゛イフ゛SWセンサNo
[1－XX]
ミセッテイ→■
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
03：チエンタイマ（1→2）
[0－255（s）]
：0→■
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
04：チエンタイマ（2→1）
[0－255（s）]
：0→■
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
05：モート゛1カイシシ゛コク
[00：00－23：59]
08：00→■ ：
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
06：モート゛2カイシシ゛コク
[00：00－23：59]
20：00→■ ：
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
07：モート゛2ヨウヒ゛
[1（Sun）－7（Sat）]
   －        －
```

```
32：ツウホウモート゛キリカエ
08：モート゛2ツキヒ
→01：   －
 02：   －    （ 0／30）
```

通報	種別	33	通報動作設定	要素	－

概　要

システムの通報動作に関する設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通報優先	有／無	有	通報優先の有無を設定	注1
02	外部停止ボタンセンサNo	1～XX(注2)	未設定	外部停止ボタンとするセンサNoを設定	注2
03	通報動作印刷	有／無	無	通報時、印刷の有無を設定	注3
04	一括通報	有／無	無	一括通報の有無を設定	注4
05	センサアナログ通報遅延タイマ	0～255(秒)	0(0秒)	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定	注5

記　事

注1．通報優先機能は、以下の通りです。

外付電話装置使用中やテレコントロール起動中に通報が発生した場合、回線を強制切断して通報動作を行います。

尚、設定が「無」の場合は、回線が開放されるまで通報保留します。

注2．設定できるセンサNoは以下の通りです。

センサNo1～ 8、41～44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

注3．通報動作印刷機能は、以下の通りです。

通報終了時、本装置に接続したプリンタに通報履歴を印刷します。

注4．一括通報機能は、以下の通りです。

異常信号の複数同時入力(通報遅延中の同時入力)及び保留している通報について、通報グループが同一設定(但し、通報グループ内にポケットベル通報がないこと)である通報を、一括して通報します。

通報メッセージ及びデータは以下の通りです。

「種別(30)／項目(02)：通報方式」の設定	通報メッセージ及びデータ
固定音声	「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
録音音声	通報毎の録音メッセージを起動順に送出します。
MF＋固定音声	「◆固定通報DTMFデータ」のページ及び上記の固定音声または録音音声を参照願います。
MF＋録音音声	
DTMF	「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5．センサ・アナログ通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

LCD表示

```
３３：ツウホウド゛ウサセッテイ
０１：ツウホウユウセン
　→アリ
　　ナシ
```

XX:注2参照

```
３３：ツウホウド゛ウサセッテイ
０２：ガ゛イブ゛テイシボ゛タン
［１－ＸＸ］
ミセッテイ→■
```

```
３３：ツウホウド゛ウサセッテイ
０３：ツウホウド゛ウサインサツ
　　アリ
　→ナシ
```

```
３３：ツウホウド゛ウサセッテイ
０４：イッカツツウホウ
　　アリ
　→ナシ
```

```
３３：ツウホウド゛ウサセッテイ
０５：ツウホウチエンタイマ
［０－２５５（ｓ）］
：０→■
```

通報	種別	34	集音マイク	要素	01～02

概　要

本装置に接続した集音マイクの送出レベルを設定します。
通報時及びテレコントロールにより集音マイクを起動し、臨場音を聴取することができます。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	ゲイン初期値	0～3(0:小～3:大)	1	送出ゲインの初期値を設定　注1

記　事

注1. ゲイン初期値は、以下を参考に設定し、実際に集音マイクを起動して確認して下さい。

設定値	送出ゲイン
0	6dB　DOWN
1	0
2	6dB　UP
3	9dB　UP

空調機のそば等に設置しないで下さい。やむをえず設置する場合、ゲインを下げて使用して下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～02)

```
３４：シュウオンマイクｎｎ
０１：ケ゛インショキチ
［０－３］
：１→■
```

通報	種別	35	出力接点	要素	01～04

概　要

出力接点の設定をします。
出力接点は、回線断検出時や通報時に連動及びテレコントロールにより動作します。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	待機モード		メーク／ブレーク	ブレーク	待機時の接点状態を設定	注1
02	出力方式		連続／ワンショット	ワンショット	オン時の出力方式を設定	注2
03	ワンショットタイマ		1～255(x100ms)	50(5秒)	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定	
04	動作記録		有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定	注3
05	動作印刷		有／無	無	動作時、印刷の有無を設定	注4
06	テレコン応答	オン	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	テレコン操作時のメッセージを設定	
07	メッセージ	オフ	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定		注5

記　事

注1. 待機モードの設定により、「オン」「オフ」の動作は、以下のようになります。

設定内容	オン	オフ
メーク	ブレーク	メーク
ブレーク	メーク	ブレーク

注2. 出力方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
連続	オンした場合、「オフの条件」になるまで、オンしています。　(＊1)
ワンショット	オンした場合、本項目(03)の設定時間経過後、オフします。(＊1)

「オフの条件」は、以下の通りです。
①連動において、オフタイミングになった時
②テレコントロール操作において、「オフ」のサービス番号を受信した時
＊1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。
(ただし、テレコントロール操作にてオンした場合は、オフしません。)

注3. 動作記録機能は、以下の通りです。
接点動作(オン／オフ)する毎に、本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注4. 動作印刷機能は、以下の通りです。
接点動作(オン／オフ)する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。
テレコンメッセージ機能は、以下の通りです。
テレコントロール起動中に以下の操作をした場合、送出するメッセージです。
①「出力接点オン」／「出力接点オフ」のサービス番号を受信した時
②各接点状態確認のサービス番号を受信した時

LCD表示

nn:要素No(01～04)

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０１：タイキモート゛
　メーク
→フ゛レーク
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０２：シュツリョクホウシキ
　レンソ゛ク
→ワンショット
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０３：ワンショットタイマ
［１－２５５（ｘ１００ｍｓ）］
：５０→■
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０４：ト゛ウサキロク
→アリ
　ナシ
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０５：ト゛ウサインサツ
　アリ
→ナシ
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０６：オンメッセーシ゛
［０－６３］（０／１６）
：■　－　－　－
```

```
３５：シュツリョクセッテンｎｎ
０７：オフメッセーシ゛
［０－６３］（０／１６）
：■　－　－　－
```

通報	種別	36	センサ入力(1/2)	要素	01～08

概　要

各センサ入力の設定をします。
入力検出条件は、リトリガです。(入力検出する度に通報起動します。ただし、通報起動中の同一センサからの入力は検出しません)

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	異常モード			ﾒｰｸ/ﾌﾞﾚｰｸ/ﾊﾟﾙｽ積算/時間積算	メーク	異常モードを設定　注1
02	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定
03	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	本項目(01)が「ﾒｰｸ」「ﾌﾞﾚｰｸ」の場合、通報起動条件を設定　注2
04	通報内容			積算値／異常通報	積算値	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、固定音声／固定データ通報時の通報内容を設定　注3
05	異常積算値			1～65534(回又はx10秒)	65534	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、異常とする積算値を設定　注4
06	定時通報時積算値クリア			有／無	有	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、定時状態通報時に積算値クリアの有無を設定
07	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定　注5
08	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定　注5
09	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定　注6
10	通報データ	DTMF	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
11			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	注7
12		ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
13			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	
14		録音メッセージ	異常	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
15			復旧	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	注8
16	動作記録			有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定　注9
17	動作印刷			有／無	無	動作時、印刷の有無を設定　注10
18	臨場音聴取			有／無	無	臨場音聴取の有無を設定　注11

記　事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレーク	「ブレーク」した場合、異常とします。
パルス積算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間積算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
積算値	異常時の積算値を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

積算値に設定した場合「種別(30)／項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

③「FAX」の時

また、上記で送出する積算値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声／DTMF	積算値(最大5桁:1～65534)を通報します。
FAX	「種別(72)／項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn:要素No(01～08)

```
36:センサINnn
01:イジョウモード
 →メーク
   ブレーク
   パルスセキサン
   ジカンセキサン
```

```
36:センサINnn
02:ケンシュツタイマ
[5-30000(x10ms)]
:30→■
```

```
36:センサINnn
03:ツウホウジョウケン
 →イジョウジ
   イジョウ・フッキュウジ
```

```
36:センサINnn
04:ツウホウナイヨウ
 →セキサンチ
   イジョウツウホウ
```

```
36:センサINnn
05:イジョウセキサンチ
[1-65534]
:65534→■
```

```
36:センサINnn
06:セキサンチクリア
 →アリ
   ナシ
```

通報	種別	36	センサ入力(2/2)	要素	01～08

記　事

注4. 積算値は、65535でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。
①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(05)：定時通報時積算値クリア」
②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」のサービス番号でクリアする。
③キーボードメンテナンスの「積算値クリア」の操作でクリアする。

注5. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注6. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注7. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注8. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注9. 動作記録機能は、以下の通りです。
センサ動作(メーク／ブレーク)する毎に、本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注10. 動作印刷機能は、以下の通りです。
センサ動作(メーク／ブレーク)する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。

注11. 本項目及び「種別(30)／項目(13)：臨場音聴取」が「有」の場合、通報時の臨場音聴取が可能となります。

LCD表示

```
36:センサINnn
07:モート゛1ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
36:センサINnn
08:モート゛2ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
36:センサINnn
09:ツウホウク゛ループ゜
[0-32]
:1→■
```

```
36:センサINnn
10:DTMFイシ゛ョウ
■
```

```
36:センサINnn
11:DTMFフッキュウ
■
```

```
36:センサINnn
12:Pヘ゛ルイシ゛ョウ
■
```

```
36:センサINnn
13:Pヘ゛ルフッキュウ
■
```

```
36:センサINnn
14:ロクオンイシ゛ョウ
[0-63] (0/16)
:■  -  -  -
```

```
36:センサINnn
15:ロクオンフッキュウ
[0-63] (0/16)
:■  -  -  -
```

```
36:センサINnn
16:ト゛ウサキロク
  アリ
 →ナシ
```

```
36:センサINnn
17:ト゛ウサインサツ
 →アリ
  ナシ
```

```
36:センサINnn
18:リンシ゛ョウオン
  アリ
 →ナシ
```

通報	種別	37	アナログ入力(1／3)	要素	01～04

概　要

アナログ入力(センサ入力として使用可)の設定をします。
注意:アナログ入力とセンサ入力の切替えは、ソフト設定(本種別の設定)とハード設定(アナログ/センサ切替スイッチの設定)が必要です。
　ハード設定については、「7.5 ユニットの設定・取付　7.5.1 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明
　　(2)CSD7－MCU－A1【外カバー扉側】」(P12)を参照願います。

設定項目

No	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
01	端子用途			センサ／アナログ	センサ	端子用途を設定	

「本項目(01):端子用途」が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力／項目(01)～(18)」と同一となります。
「アナログ」の場合、項目(02)以降の設定は、以下のようになります。

No	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
02	異常モード			しきい値／積算値	しきい値	異常モードを設定	注1
03	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定	
04	通報内容			アナログ値／異常通報	異常通報	本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定	注2
05	しきい値1(HH)			1～99(%)	未設定	しきい値1を設定	注3
06	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
07	通報データ	ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
08			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
09		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
10			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
11	しきい値2(H)			1～99(%)	未設定	しきい値2を設定	注3
12	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
13	通報データ	ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
14			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
15		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
16			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
17	しきい値3(L)			1～100(%)	未設定	しきい値3を設定	注3
18	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
19	通報データ	ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
20			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
21		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
22			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
23	しきい値4(LL)			1～100(%)	未設定	しきい値4を設定	注3
24	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
25	通報データ	ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
26			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
27		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
28			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
29	しきい値5(断線)			1～100(%)	20%	しきい値5を設定	注3
30	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
31	通報データ	ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
32			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
33		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
34			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
35	通報内容			積算値／異常通報	積算値	本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定	注6
36	異常積算値			1～16777214	16777214	異常とする積算値を設定	注7
37	積算時間間隔			1～255(分)	10(10分)	積算する時間間隔を設定	
38	定時通報時積算値クリア			有／無	有	定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
39	通報データ(積算値)	DTMF		0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注8
40		ポケットベル		0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
41		録音メッセージ		フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注5
42	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定	注9
43	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定	注9
44	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定	注10
45	定時記録			有／無	無	定時間隔で履歴記録の有無を設定	注11
46	定時印刷			有／無	無	定時間隔で印刷の有無を設定	注12
47	臨場音聴取			有／無	無	臨場音聴取の有無を設定	注13

通報	種別	37	アナログ入力(2／3)	要素	01～04

記事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値	アナログ値が設定したしきい値(5値)を超えた場合、異常とします。
積算値	アナログ値を積算し、設定した異常積算値で異常とします。

各しきい値の異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値1(HH)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値2(H)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値3(L)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値4(LL)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値5(断線)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。

注2. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
アナログ値	異常時のアナログ値を通報します。
異常通報	しきい値になったこと(異常)を通報します。

アナログ値に設定した場合「種別(30)／項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」の時(固定DTMF通報)

③「FAX」の時

また、上記で送出するアナログ値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	アナログ値%(最大3桁:1～100)を通報します。
固定DTMF	アナログ値(最大3桁:0～255)を通報します。
FAX	「種別(72)／項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. しきい値は、アナログ入力電圧5Vに対する%を設定します。

例:「しきい値1を4Vに設定する」場合、80%と設定します。

注4. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注6. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
積算値	異常時の積算値を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

積算値に設定した場合「種別(30)／項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」の時(固定DTMF通報)

③「FAX」の時

また、上記で送出する積算値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声／DTMF	積算値(最大8桁:1～16777214)を通報します。
FAX	「種別(72)／項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn:要素No(01～04)

```
37:アナログ゛ INnn
01:タンシヨウト
  センサ
 →アナログ゛
```

```
37:アナログ゛ INnn
02:イジ゛ョウモート゛
 →シキイチ
  セキサンチ
```

```
37:アナログ゛ INnn
03:ケンシュツタイマ
[5-30000 (x10ms)]
:30→■
```

```
37:アナログ゛ INnn
04:ツウホウナイヨウ
  アナログ゛チ
 →イジ゛ョウツウホウ
```

しきい値1(項目05～10)の場合

```
37:アナログ゛ INnn
05:シキイチ1 (HH)
[1-99 (%)]
ミセッテイ→■
```

```
37:アナログ゛ INnn
06:ツウホウジ゛ョウケン1
 →イジ゛ョウジ゛
  イジ゛ョウ・フッキュウジ゛
```

```
37:アナログ゛ INnn
07:Pヘ゛ルイジ゛ョウ1
■
```

```
37:アナログ゛ INnn
08:Pヘ゛ルフッキュウ1
■
```

```
37:アナログ゛ INnn
09:ロクオンイジ゛ョウ1
[0-63] (0/16)
:■ - - -
```

```
37:アナログ゛ INnn
10:ロクオンフッキュウ1
[0-63] (0/16)
:■ - - -
```

項目(11)～(34)は、項目(05)～(10)と内容同等

```
37:アナログ゛ INnn
35:ツウホウナイヨウ
 →セキサンチ
  イジ゛ョウツウホウ
```

```
37:アナログ゛ INnn
36:イジ゛ョウセキサンチ
[1-16777214]
:16777214■
```

```
37:アナログ゛ INnn
37:セキサンカンカク
[1-255 (m)]
:10→
```

通報	種別	37	アナログ入力(3／3)	要素	01～04

記　事

注7. 積算値は、16777215でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。
①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(38)：定時通報時積算値クリア」
②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」の操作でクリアする。
③キーボードメンテナンスでクリアする。
また、本項目を設定する場合、「←」で■を移動して設定してください。

注8. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注9. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注10. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注11. 定時記録機能は、以下の通りです。
「種別(38)：アナログ入力定時記録・印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注12. 定時印刷機能は、以下の通りです。
「種別(38)：アナログ入力定時記録・印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に接続したプリンタに印刷します。

注13. 本項目及び「種別(30)／項目(13)：臨場音聴取」が「有」の場合、通報時の臨場音聴取が可能となります。

LCD表示

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
３８：セキサンチクリア
 →アリ
   ナシ
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
３９：ＤＴＭＦセキサン
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４０：Ｐヘ゛ルセキサン
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４１：ロクオンセキサン
［０－６３］（０／１６）
：■　－　　－　　－
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４２：モート゛１ツウホウ
   アリ
 →ナシ
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４３：モート゛２ツウホウ
   アリ
 →ナシ
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４４：ツウホウク゛ルーフ゜
［１－３２］
：１→■
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４５：テイシ゛キロク
   アリ
 →ナシ
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４６：テイシ゛インサツ
   アリ
 →ナシ
```

```
３７：アナログ゛ＩＮｎｎ
４７：リンシ゛ョウオン
   アリ
 →ナシ
```

通報	種別	38	ｱﾅﾛｸﾞ入力定時記録・印刷時間	要素	01－02

概　要

アナログ入力の定時記録・印刷時間の設定をします。
「種別(37):アナログ入力／項目(45):定時記録及び項目(46):定時印刷」の設定を「有」にした場合、本種別で設定した時間間隔で記録及び印刷します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	記録先	メモリ＋プリンタ／FAX	ﾒﾓﾘ＋ﾌﾟﾘﾝﾀ	記録先を設定	注1
02	時間間隔	1～14400(分)	60(60分)	時間間隔を設定	注2、3
03	開始時刻	00:00～23:59	00:00	開始時刻を設定	注3

記　事

注1. 記録先は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ﾒﾓﾘ＋ﾌﾟﾘﾝﾀ	「種別(37):ｱﾅﾛｸﾞ入力/項目(45)及び項目(46)」の設定を「有」にした場合、本項目(02)で設定した時間間隔でｱﾅﾛｸﾞ入力の値を記録及び印刷します。
FAX	FAX通報機能で月報や日報で使用するデータを1時間間隔でｾﾝｻ、ｱﾅﾛｸﾞ入力の値を記録します。

注2. 本項目(01)の設定が「FAX」の場合は、60分固定としてください。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時記録及び印刷を行いません。
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

LCD表示

```
38：テイジ キロク・インサツ
01：キロクサキ
 →メモリ＋プ リンタ
  FAX
```

```
38：テイジ キロク・インサツ
02：ジ カンカンカク
[1－14400 (m)]
：60→■
```

```
38：テイジ キロク・インサツ
03：カイシジ コク
[00：00－23：59]
00：00→■ ：
```

通報	種別	40	AND通報(1/2)	要素	01～05

概　要

AND通報の設定をします。最大5グループ設定できます。
センサ入力・アナログ入力の複数入力(MAX:5入力)を、検出して通報します。異常／復旧検出方法は、以下の通りです。
・異常検出:設定した全ての端子が異常となった時
・復旧検出:設定した端子のうち1端子でも復旧した時

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	端子No			01～XX(ｾﾝｻ)　(注1) #01～#XX(ｱﾅﾛｸﾞ) #01～#XX+しきい値No.1～5 [MAX:5端子]	未設定	ANDするセンサ・アナログNoを設定　注1
02	通報起動条件			異常時／異常・復旧時	異常時	通報起動条件を設定　注2
03	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定　注3
04	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定　注3
05	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定　注4
06	通報データ	DTMF	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
07			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	注5
08		ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
09			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	
10		録音メッセージ	異常	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
11			復旧	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	注6

記　事

注1. 設定は、以下を参考に設定して下さい。
設定可能な端子は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
センサNo	各異常モードの異常／復旧
アナログNo	アナログ端子の異常モードが「積算値」の場合の異常／復旧
アナログNo+しきい値	アナログ端子の異常モードが「しきい値」の場合、設定したしきい値の異常／復旧

センサ／アナログ積算端子の復旧については、積算値をクリアした時点とします。
積算値のクリアについては、「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」を参照願います。
設定可能なセンサ・アナログNoは、以下の通りです。
なお、アナログNo設定時は、Noの前に#を入力して下さい。
センサNo01～08、41～44(ｱﾅﾛｸﾞ入力をｾﾝｻ入力として使用時)
アナログNo#01～#04

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注5. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～05)

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
01:ﾀﾝｼNo
 →1:
  2:            (0/5)
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
02:ﾂｳﾎｳｼﾞｮｳｹﾝ
 →ｲｼﾞｮｳｼﾞ
  ｲｼﾞｮｳ・ﾌｯｷｭｳｼﾞ
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
03:ﾓｰﾄﾞ1ﾂｳﾎｳ
  ｱﾘ
 →ﾅｼ
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
04:ﾓｰﾄﾞ2ﾂｳﾎｳ
  ｱﾘ
 →ﾅｼ
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
05:ﾂｳﾎｳｸﾞﾙｰﾌﾟ
[1-32]
:1→■
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
06:DTMFｲｼﾞｮｳ
■
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
07:DTMFﾌｯｷｭｳ
■
```

```
40:ANDﾂｳﾎｳnn
08:Pﾍﾞﾙｲｼﾞｮｳ
■
```

通報	種別	41	定時通報(1/2)	要素	一

概　要

定時通報の設定をします。
本種別の設定により、本装置の点検を定期的に行うことができます。(但し、接続されているセンサ等の点検はできません)

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明
01	通報動作		有/無	無	通報動作の有無を設定
02	通報方式		定時刻/定時間隔/定日	定時刻	通報方式を設定　注1
03	通報時刻1		00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定　注2
04	通報時刻2		00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定　注2
05	通報時刻3		00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定　注2
06	定時間間隔		10~14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定　注3
07	通報開始時刻		00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定　注3
08	定日設定		1~31(日)、41:日~47:土(曜日)	1	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定
09	定日時刻		00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定
10	通報グループNo		1~32	1	通報グループNoを設定　注4
11	通報データ	DTMF	0~9、*、#、A~D、P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定　注5
12		ポケットベル	0~9、*、#、A~D、P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
13		録音メッセージ	フレーズNo.0~63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定　注6

記　事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。
定日	設定した日または曜日の設定時刻に通報します。

注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。
<u>キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。</u>

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)/項目(01):モード1　通報先No」
「種別(31)/項目(05):モード2　通報先No」

注5. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
41:テイシ゛ツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
 →アリ
  ナシ
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
01:ツウホウホウシキ
 →テイシ゛コク
  テイシ゛カンカク
  テイシ゛ツ
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
03:ツウホウシ゛コク1
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■ :
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
04:ツウホウシ゛コク2
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■ :
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
05:ツウホウシ゛コク3
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■ :
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
06:テイシ゛カンカンカク
[10-14400 (m)]
:1440→■
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
07:ツウホウカイシシ゛コク
[00:00-23:59]
10:00→■ :
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
08:テイシ゛ツセッテイ
[1-31, 41-47]
:1→■
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
09:テイシ゛ツシ゛コク
[00:00-23:59]
10:00→■ :
```

```
41:テイシ゛ツウホウ
10:ツウホウク゛ループ゜
[1-32]
:1→■
```

通報	種別	41	定時通報(2／2)	要素	ー

記　事

LCD表示

```
41：テイシ゛ツウホウ
11：DTMF
■
```

```
41：テイシ゛ツウホウ
12：Pヘ゛ル
■
```

```
41：テイシ゛ツウホウ
13：ロクオン
[0－63] (0／16)
:■　～　　－　　－
```

通報	種別	42	定時状態通報(1／2)	要素	01－03

概　要

定時状態通報の設定をします。
本種別の設定により、本装置に接続されているセンサ等の入力状態を定期的にモニタできます。
但し、本種別は「種別(30)／項目(02)：通報方式」が以下の場合、有効となります。
①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)
②「DTMF」「MF＋固定音声」でかつ各通報要因の通報DTMFデータが「未設定」の時(固定DTMF通報)
通報メッセージ及びデータは、以下の通りです。
①通報メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
②通報データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作	有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	通報方式	定時刻／定時間隔／定日	定時刻	通報方式を設定	注1
03	通報時刻1	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	注2
04	通報時刻2	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	注2
05	通報時刻3	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	注2
06	定時間間隔	10～14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	注3
07	通報開始時刻	00:00～23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	注3
08	定日時刻	1～31(日)、41：日～47：土(曜日)	1	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
09	定日時刻	00:00～23:59	10:00	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
10	帳票形式	1～4	1	FAXへ通報する帳票形式を設定	注5
11	通報グループNo	1～32	1	通報グループNoを設定	注4

記　事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。
定日	設定した日または曜日の設定時刻に通報します。

注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

注4. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01)：モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(05)：モード2　通報先No」

注5. 帳票は、以下の通りです。(FAX通報機能　標準設定の場合)

設定内容	内容説明
1	月報
2	日報
3, 4	使用しません

LCD表示

```
42：ジョウタイツウホウ
01：ツウホウドウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
42：ジョウタイツウホウ
02：ツウホウホウシキ
 →テイジコク
  テイジカンカク
  テイジツ
```

```
42：ジョウタイツウホウ
03：ツウホウジコク1
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウ
04：ツウホウジコク2
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウ
05：ツウホウジコク3
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウ
06：テイジカンカンカク
[10－14400 (m)]
：1440→■
```

```
42：ジョウタイツウホウ
07：ツウホウカイシジコク
[00：00－23：59]
10：00→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウ
08：テイジツセッテイ
[1－31, 41－47]
：1→■
```

通報	種別	42	定時状態通報(2／2)	要素	01－03

記　事

LCD表示

```
42：ジョウタイツウホウnn
09：テイジツジコク
[00：00－23：59]
10：00→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウnn
10：チョウヒョウケイシキ
[1－4]
：1→■ ：
```

```
42：ジョウタイツウホウnn
11：ツウホウグループ
[1－32]
：1→■
```

通報	種別	43	停電・復電通報	要素	ー

概　要

停電・復電通報の設定をします。

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	通報動作			有／無	無	通報動作の有無を設定
02	検出タイマ			1～1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定
03	通報起動条件			停電時／停電復電時	停電時	通報起動条件を設定　注1
04	通報遅延タイマ			0～36000(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定　注2
05	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定　注3
06	通報	DTMF	停電	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
07	データ		復電	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	注4
08		ポケット	停電	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
09		ベル	復電	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	
10		録音	停電	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
11		メッセージ	復電	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	注5

記　事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
停電時	停電時のみ通報します。
停電復電時	停電時及び復旧時に通報します。

注2. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

注3.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(05):モード2　通報先No」

注4. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
02:ケンシュツタイマ
[1－1000(s)]
:10→■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
03:ツウホウシ゛ョウケン
 →テイテ゛ンシ゛
  テイテ゛ン・フク゛テンシ゛
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
04:ツウホウチエンタイマ
[0－3600(s)]
:0→■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
05:ツウホウク゛ループ゜
[1－32]
:1→■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
06:DTMFテイテ゛ン
■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
07:DTMFフク゛テン
■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
08:Pヘ゛ルテイテ゛ン
■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
09:Pヘ゛ルフク゛テン
■
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
10:ロクオンテイテ゛ン
[0－63] (0／16)
:■  ー  ー  ー
```

```
43:テイ・フクテ゛ンツウホウ
11:ロクオンフク゛テン
[0－63] (0／16)
:■  ー  ー  ー
```

通報	種別	44	ローバッテリー通報	要素	－

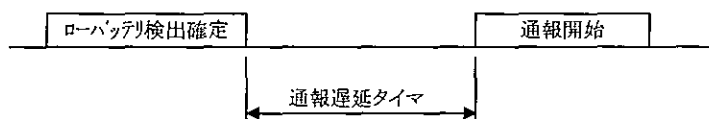
概　要

ローバッテリー通報の設定をします。
停電等により蓄電池動作状態となった場合、蓄電池容量の低下を検出して通報します。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	検出タイマ		1～1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定	
03	通報遅延タイマ		0～255(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定	注1
04	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定	注2
05	通報	DTMF	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注3
06	データ	ポケットベル	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
07		録音メッセージ	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注4

記　事

注1. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

注2.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
　モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
　一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
　「種別(31)／項目(01):モード1　通報先No」
　「種別(31)／項目(05):モード2　通報先No」

注3. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。
　尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
　固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
02:ケンシュツタイマ
[1−1000(s)]
:10→■
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
03:ツウホウチエンタイマ
[0−255(s)]
:0→■
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
04:ツウホウク゛ルーフ゜
[1−32]
:1→■
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
05:DTMF
■
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
06:Pヘ゛ル
■
```

```
44:ローハ゛ッテリーツウホウ
07:ロクオン
[0−63](0/16)
:■  −  −  −
```

通報	種別	45	蓄電池交換通報	要素	ー

概　要

蓄電池交換通報の設定をします。
蓄電池には寿命があるため、停電動作を保証するには定期的な交換が必要です。
本種別を設定することにより、設定した時期に蓄電池交換通報を行います。
通報時期は、2年後に設定して下さい。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定
02	通報時期		00年01月01日 00:00～ 99年12月31日 23:59	未設定	通報時期を設定
03	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定　注1
04	通報	DTMF	0～9､*､#､A～D､P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定　注2
05	データ	ポケットベル	0～9､*､#､A～D､P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
06		録音メッセージ	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定　注3

記　事

注1.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(05):モード2　通報先No」

注2. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
02:ツウホウシ゛キ
:ミセッテイ
→■ ー ー (  :  )
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
03:ツウホウク゛ルーフ゜
[1-32]
:1→■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
04:DTMF
■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
05:Pヘ゛ル
■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
06:ロクオン
[0-63] (0/16)
:■  ー  ー  ー
```

通報	種別	47	モード切替通報	要素	ー

概　要

モード切替通報の設定をします。
通報モードが切り替わる毎に通報します。
通報モードの切替方法等については、「種別(32):通報モード切替」で設定して下さい。

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	通報動作			有／無	無	通報動作の有無を設定
03	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定　注1
03	通報データ	DTMF	ﾓｰﾄﾞ1	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
04			ﾓｰﾄﾞ2	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	注2
05		ポケットベル	ﾓｰﾄﾞ1	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
06			ﾓｰﾄﾞ2	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	
07		録音ﾒｯｾｰｼﾞ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	録音音声通報時の通報ﾒｯｾｰｼﾞを設定
08			ﾓｰﾄﾞ2	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	注3

記　事

注1.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(05):モード2　通報先No」

注2. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
47:モート゛キリカエツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
02:ツウホウク゛ルーフ゜
[1-32]
:1→■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
03:DTMF (モート゛1)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
04:DTMF (モート゛2)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
05:Pヘ゛ル (モート゛1)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
06:Pヘ゛ル (モート゛2)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
07:ロクオン (モート゛1)
[0-63] (0/16)
:■  -   -   -
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
08:ロクオン (モート゛2)
[0-63] (0/16)
:■  -   -   -
```

エレベータ	種別	60	通報先Aグループ	要素	01～03

概　要

エレベータホン機能の通報先Aグループの設定をします。
注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数（最大3宛先）の通報先を設定して下さい。
通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別（65）：通報方式」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	電話番号	0～9､*､#､P､F	[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定	注1
02	応答DTMF	0～9､＊､#	[1桁]	5	応答検出するDTMFを設定	注2

記　事

注1．P（ポーズ）時間は、1つにつき約3秒です。
F（フラッシュ）時間は、「種別（10）／項目（06）：フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「＃」、Fの場合は「＊」を押してください。

注2．応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。
応答DTMFを受信すると、端末情報（DTMFデータ）を送出後通話状態となります。

端末情報フォーマットは以下の通りです。

ID番号（MAX16桁）	区切りコード	子機番号（2桁）
	＊	01～04

ID番号（MAX：16桁）は「種別（01）：IDコード／項目（01）：ID番号」で設定

エレベータホン通話時に、本装置がDTMF信号を受信することにより動作できる機能は、以下の通りです。

機能名称	機能内容
プレストーク送話	DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。
プレストーク受話	DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。
通話延長	終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[＃]受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。
終話	DTMF[6]受信により、3秒後に「ピー」音を送出し、回線を開放します。
一斉受話	DTMF[7]受信により、センターからの音声が全かご内に送出されます。
再送要求	DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。
ハンズフリー通話	DTMF[9]受信により、3秒後に「ピー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。
ハンズフリー受話レベル調整	DTMF[92n]（n:0～7）受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー受話感度調整	DTMF[93n]（n:0～7）受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー送話感度調整	DTMF[94n]（n:0～7）受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
テレコン切替	DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。

LCD表示

nn：要素No（01～03）

```
60：E・ツウホウサキAnn
01：TEL No
■
```

```
60：E・ツウホウサキAnn
02：オウトウDTMF
[0－9，＊，#]
5→■
```

ｴﾚﾍﾞｰﾀ	種別	61	通報先Bグループ	要素	01～03

概　要

エレベータホン機能の通報先Bグループの設定をします。
注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数（最大3宛先）の通報先を設定して下さい。
通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別(65)：通報方式」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	電話番号	0～9､*､#､P､F　[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定	注1
02	応答DTMF	0～9、*、#　[1桁]	5	応答検出するDTMFを設定	注2

記　事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06)：フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。
応答DTMFを受信すると、端末情報（DTMFデータ）を送出後通話状態となります。

端末情報フォーマットは以下の通りです。

ID番号(MAX16桁)	区切りコード	子機番号(2桁)
	*	01～04

ID番号(MAX：16桁)は「種別(01)：IDコード／項目(01)：ID番号」で設定

エレベータホン通話時に、本装置がDTMF信号を受信することにより動作できる機能は、以下の通りです。

機能名称	機能内容
プレストーク送話	DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。
プレストーク受話	DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。
通話延長	終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[#]受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。
終話	DTMF[6]受信により、3秒後に「ピー」音を送出し、回線を開放します。
一斉受話	DTMF[7]受信により、センターからの音声が全かご内に送出されます。
再送要求	DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。
ハンズフリー通話	DTMF[9]受信により、3秒後に「ピー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。
ハンズフリー受話レベル調整	DTMF[92n](n:0～7)受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー受話感度調整	DTMF[93n](n:0～7)受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー送話感度調整	DTMF[94n](n:0～7)受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
テレコン切替	DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。

LCD表示

nn：要素No(01～03)

```
61：E・ツウホウサキBnn
01：TEL No
■
```

```
61：E・ツウホウサキBnn
02：オウトウDTMF
[0－9, *, #]
5→■
```

エレベータ	種別	62	呼出モード切替	要素	ー

概　要

エレベータホンの呼出モード(インターホン／Aグループ／Bグループ)の切替方式を設定します。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 切替方式	ボタン／タイマ	ボタン	切替方式を設定　注1

記　事

注1. 切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下及びエレベータホン切替スイッチで切替えます。(＊1) モード切替ボタンとエレベータホン切替スイッチでは、後押しが有効となります。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。

＊1. エレベータホン切替スイッチによる切替えは、インターホンとAグループとなります。
エレベータホン切替スイッチを接続する端子は、「7.6　配線工事　(8)エレベータホンの接続」(P22、23)を参照願います。

エレベータホン切替スイッチによる切替えは、エレベータホン切替スイッチ端子の状態により以下のようになります。

エレベータホン切替スイッチ端子	呼出モード
メーク	インターホン
ブレーク	Aグループ

タイマは、「種別(63):Aグループタイマ」及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定して下さい。
なお、上記種別で設定した時間、曜日、月日以外の場合は、インターホンモードとなります。

LCD表示

```
62:E・モード キリカエ
01:キリカエホウシキ
 →ボタン
  タイマ
```

エレベータ	種別	63	Aグループタイマ	要素	ー

概　要

通報先Aグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(62):呼出モード切替／項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00～23:59)～ (00:00～23:59)	未設定	Aグループの時間を設定 注1
02	曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	Aグループの曜日を設定 注1
03	月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	Aグループの月日を設定 注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	12:00～13:00	
曜日(毎週)	月曜日	
月日(毎年)	4月30日～5月5日	

Aグループとなる時間、曜日、月日

「毎年4月30日～5月5日と毎週月曜日とそれ以外に日の12:00～13:00」

LCD表示

```
63:E・Aグ ループ タイマ
01:ジ カン
ミセッテイ
 →(■ :  ー  :  )
```

```
63:E・Aグ ループ タイマ
02:ヨウビ
[1 (Sun) ー7 (Sat)]
      ー          ー
```

```
63:E・Aグ ループ タイマ
03:ツキヒ
→01:    ー
 02:    ー    ( 0/30)
```

エレベータ	種別	64	Bグループタイマ	要素	-

概　要

通報先Bグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(62):呼出モード切替／項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00～23:59)～ (00:00～23:59)	未設定	Bグループの時間を設定 注1
02	曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	Bグループの曜日を設定 注1
03	月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	Bグループの月日を設定 注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(63):Aグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	18:00～08:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日～1月3日	

Bグループとなる時間、曜日、月日

「毎年12月30日～1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の18:00～08:00」

LCD表示

```
64:E・Bグ ループ タイマ
01:ジ カン
ミセッテイ
 →(■_:__－__:__)
```

```
64:E・Bグ ループ タイマ
02:ヨウビ
[1(Sun)－7(Sat)]
     －________－
```

```
64:E・Bグ ループ タイマ
03:ツキヒ
→01:   －
 02:   －    ( 0／30)
```

エレベータ	種別	65	通報方式	要素	―

概　要

エレベータホン機能の通報方式を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通報ガイダンス	有／無	有	通報ガイダンスの有無を設定	注1
02	DTMF受信待ちタイマ	1～255(秒)	10(10秒)	応答後、応答DTMFの受信待ち時間を設定	注2

記　事

注1. かご内インターホンの送出ガイダンスは、以下の通りです。

子機操作	送出ガイダンス	記　事
呼出ボタン押下 第1宛先通報時	ただ今連絡しておりますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出
第2宛先 不応答時	ただ今回線が込み合っていますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出
全宛先不応答時	ただ今回線が込み合っています。後程おかけ直し下さい	1フレーズ送出

注2. 設定した時間を経過した場合、回線開放します。

LCD表示

```
65：E・ツウホウホウシキ
01：ツウホウガイダンス
 →アリ
   ナシ
```

```
65：E・ツウホウホウシキ
02：DTMFマチタイマ
[1－255（s）]
：10→■
```

エレベータ	種別	66	通話方式	要素	―

概　要

エレベータホン機能の通話方式を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通話形式	プレストーク／ハンズフリー	ハンズフリー	通話形式を設定	注1
02	受話レベル	0〜7(0:小〜7:大)	0	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、受話レベルを設定	注2
03	受話感度	0〜7	3	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、受話感度を設定	注3
04	送話感度	0〜7	3	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、送話感度を設定	注3
05	長時間通話監視タイマ	1〜255(分)	6(6分)	通話監視時間を設定	注4

記　事

注1. 通話形式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
プレストーク	DTMF[2]を受信すると、かご内の音声をセンターに送出します。 DTMF[3]を受信すると、センターからの音声がかご内に送出されます。 (プレストークに設定した場合、本状態から通話を開始します。)
ハンズフリー	DTMF[9]を受信すると、センターとかご内で相互通話ができます。

注2. 受話レベルは、以下を参考に設定し、実際に通話して確認して下さい。

設定値	ゲイン
0	0
1	2dB　UP
2	4dB　UP
3	6dB　UP
4	8dB　UP
5	10dB　UP
6	12dB　UP
7	14dB　UP

注3. 受話感度、送話感度は、実際に通話して音声の頭切れ等が発生した場合、調整してください。

①かご内からの送話音が頭切れする場合
送話感度を上げるか、受話感度を下げることにより改善されます。

②かご内への受話音が頭切れする場合
受話レベルのゲインをUP側に調整することにより改善されます。
頭切れが改善されない場合は、送話感度を下げるか、受話感度を上げることにより改善されます。

受話／送話感度

設定値	感度
0	DOWN
1	↑
2	
3	0
4	
5	
6	↓
7	UP

注4. 設定した時間を経過すると終了予告音「ピーピー…」を送出し30秒後に通話を切断します。
尚、終了予告音送出中に以下の操作をすると長時間通話監視タイマをリスタート(通話延長)します。
①通報先よりDTMF信号「4」または「＃」を受信した時

LCD表示

```
66：E・ツウワホウシキ
01：ツウワケイシキ
  プ゛レストーク
 →ハンズ゛フリー
```

```
66：E・ツウワホウシキ
02：シ゛ュワレヘ゛ル
[0－7]
：0→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
03：シ゛ュワカント゛
[0－7]
：3→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
04：ソウワカント゛
[0－7]
：3→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
05：ツウワカンシタイマ
[1－255 (m)]
：6→■
```

エレベータ	種別	67	子機設定	要素	—

概　要

エレベータインターホン子機の設定をします。

注意：子機の設定は、ソフト設定（本種別の設定）とハード設定（EVUユニットの設定）が必要です。
ハード設定については、「7.5　ユニットの設定・取付　7.5.1各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明
(3) CSD7－EVU－A1」(P13)を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	子機タイプ	TE型／EZ型	TE型	子機タイプを設定	注1
02	呼出ﾎﾞﾀﾝ押下検出ﾀｲﾏ	5～6000(x10ms)	5秒	呼出ボタンの押下検出時間を設定	

記　事

注1. 接続したエレベータインターホン子機タイプを設定してください。

LCD表示

```
67：E・コキセッテイ
01：コキタイプ
 →TE
  EZ
```

```
67：E・コキセッテイ
02：オウカケンシュツタイマ
[5－6000 (x10ms)]
:500→■
```

FAX	種別	70	FAX基本	要素	ー

概　要

FAX通報時の各帳票フォーマットや設置場所名、通報先名の設定をします。

注意：項目(02)～(16)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
　　設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。
　　誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

設定項目

設定項目		設定内容	初期値	項目説明
01	設置場所名	半角文字、全角文字	注1	帳票に表示する設置場所名を設定します。　注2
02	通報先	項目毎に[MAX:半角24文字(漢字12文字)]		帳票に表示する通報先名を設定します。　注2
03	使用しません	―	―	
04	使用しません	―	―	
05	帳票01	―	月報帳票	
06	帳票02	―	日報帳票	
07	帳票03	―	異常復旧通報帳票	
08	帳票04	―	未設定	
09	帳票オブジェクト1	―	標準ﾍｯﾀﾞ	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。
10	帳票オブジェクト2	―	通報表示部	
11	帳票オブジェクト3	―	動作履歴部	
12	帳票オブジェクト4	―	未設定	
13	帳票オブジェクト5	―	未設定	
14	帳票オブジェクト6	―	未設定	
15	帳票オブジェクト7	―	未設定	
16	帳票オブジェクト8	―	未設定	

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

LCD表示

```
７０：ＦＡＸキホン
０１：セッチハ゛ショ
■
```

```
７０：ＦＡＸキホン
０２：ツウホウサキ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

・項目(03)以降はキーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。

FAX	種別	71	FAXセンサ	要素	01-08、41-44

概　要

各センサ入力(「種別(36):センサ入力」)の名称等を設定をします。
(「種別(37):アナログ入力」をセンサとして使用している場合も本種別の要素(41)～(44)で設定します)

注意:項目(01)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
　設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。
　誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	センサ種別	無/異常復旧/パルス積算/時間積算	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。
02	センサ名称	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		帳票に表示するセンサ名称を設定します。　注2
03	正常時名称			帳票に表示する正常時名称を設定します。　注2
04	異常時名称			帳票に表示する異常時名称を設定します。　注2
05	単位名称	半角文字、全角文字 [MAX:半角16文字(漢字8文字)]		キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。
06	計算式	記号、四則演算、数字		

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～08、41～44)

```
71:FAXセンサnn
01:シュベツ
 →ナシ
   イジョウフッキュウ
   パルス
   ジカン
```

```
71:FAXセンサnn
02:センサメイ
■
```

```
71:FAXセンサnn
03:セイジョウジ
■
```

```
71:FAXセンサnn
04:イジョウジ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

・項目(05)以降はキーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。

FAX	種別	72	FAXアナログ(1/2)	要素	01~04

概　要

各アナログ入力(「種別(37):アナログ入力」)の名称等を設定をします。
(「種別(37):アナログ入力」をセンサとして使用している場合は、「種別(71):FAXセンサの要素41~44」で設定します。)

注意:項目(01)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。
誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	アナログセンサ種別	無/しきい値/積算値	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	
02	アナログセンサ名称	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		帳票に表示するアナログセンサ名称を設定します。	注2
03	正常時名称			帳票に表示する各状態名称を設定します。	注2
04	HH/異常時名称				
05	H時名称				
06	L時名称				
07	LL時名称				
08	断線時名称				
09	HH復旧時名称				
10	H復旧時名称				
11	L復旧時名称				
12	LL復旧時名称				
13	断線復旧時名称				
14	単位名称	半角文字、全角文字 [MAX:半角16文字(漢字8文字)]		アナログ値または積算値に対する単位を設定します。	注2
15	計算式	記号、四則演算、数字		アナログ値または積算値に対する演算式を設定します。	注3

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

注3. 計算式は以下の記号を使用して設定して下さい。

記号	内容説明
$	本要素の値を示します。 (本要素のアナログ値や積算値を示します)
+ - / *	四則演算記号

例: $ * 100(本要素のアナログ値または積算値を100倍する場合)

LCD表示

nn:要素No(01~04)

```
72:FAXアナログ゛ nn
01:シュヘ゛ツ
 →ナシ
   シキイチ
   セキサン
```

```
72:FAXアナログ゛ nn
02:センサメイ
■
```

```
72:FAXアナログ゛ nn
03:セイシ゛ョウシ゛
■
```

```
72:FAXアナログ゛ nn
04:HH/イシ゛ョウシ゛
■
```

```
72:FAXアナログ゛ nn
05:Hシ゛
■
```

FAX	種別	72	FAXアナログ(2/2)	要素	01－04

記　事

LCD表示

nn:要素No(01～04)

```
72：FAXアナログ゛nn
06：Lジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
07：LLジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
08：ダンセンジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
09：HHフッキュウジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
10：Hフッキュウジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
11：Lフッキュウジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
12：LLフッキュウジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
13：ダンセンフッキュウジ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
14：タンイ
■
```

```
72：FAXアナログ゛nn
15：ケイサンシキ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

FAX	種別	73	FAX AND	要素	01→05

概　要

各AND通報(「種別(40):AND通報」)の名称等を設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	FAX AND種別	無／有	注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	注2
02	センサ名称	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		帳票に表示するAND名称を設定します。	注3
03	正常時名称			帳票に表示する正常時名称を設定します。	注3
04	異常時名称			帳票に表示する異常時名称を設定します。	注3

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2　動作履歴の記録対象とする場合に設定します。

注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～05)

```
73:FAX・ANDnn
01:シュベツ
 →ナシ
  アリ
```

```
73:FAX・ANDnn
02:センサメイ
■
```

```
73:FAX・ANDnn
03:セイジョウジ
■
```

```
73:FAX・ANDnn
04:イジョウジ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

FAX	種別	74	FAXシステム	要素	01－06

概　要

その他通報(定時通報、停電復電通報等)の名称等を設定をします。

注意:その他通報は、以下の通り本種別の各要素に割当てています。

要素	種別及び通報名
01	種別(47):モード切替通報
02	種別(43):停電・復電通報
03	種別(44):ローバッテリー通報
04	種別(45):蓄電池交換通報
05	使用しません
06	種別(41):定時通報

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	FAXシステム種別	無／有	注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	注2
02	センサ名	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		帳票に表示する名称を設定します。	注3
03	正常時			帳票に表示する正常時名称を設定します。	注3
04	異常時			帳票に表示する異常時名称を設定します。	注3

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2　動作履歴の記録対象とする場合に設定します。

注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～06)

```
74:FAXシステムnn
01:シュベ゛ツ
 →ナシ
  アリ
```

```
74:FAXシステムnn
02:センサメイ
■
```

```
74:FAXシステムnn
03:セイシ゛ョウシ゛
■
```

```
74:FAXシステムnn
04:イシ゛ョウシ゛
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

FAX	種別	75	FAX出力接点	要素	01～04

概　要

各出力接点(「種別(35):出力接点」)の名称等の設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	FAX出力接点種別	無／有	注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	注2
02	接点名称	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		帳票に表示する出力接点名称を設定します。	注3

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2　動作履歴の記録対象とする場合に設定します。

注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～04)

```
75：Fシュツリョクセッテンnn
01：シュベ゛ツ
 →ナシ
  アリ
```

```
75：Fシュツリョクセッテンnn
02：メイショウ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

FAX	種別	76	FAX計算	要素	01－08

概　要

帳票等で使用する計算の設定をします。
各センサが蓄積している積算値等を使用し計算式を設定できます。
その結果は帳票に表示したり、統計データとして使用することができます。

注意：要素(04)～(08)は、キーボードメンテナンスでは使用しません。
　また項目(04は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
　設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。
　誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	FAX計算名	半角文字、全角文字 項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]	注1	計算名称を設定します。　注2
02	単位	半角文字、全角文字　注1 [MAX:半角8文字(漢字4文字)]		計算式に対する単位を設定します。　注2
03	計算式	記号、四則演算、数字		計算式を設定します。　注3
04	計算種別	直値／差分		キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。
　初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

注3. 計算式は以下の記号を使用して設定して下さい。

記号	内容説明
Axx	xxは種別71の要素Noを示します。 (指定した要素Noの積算値を示します) ※ 種別71で設定した計算値ではありません。
Bxx	xxは種別72の要素Noを示します。 (指定した要素Noのアナログ値や積算値を示します) ※ 種別72で設定した計算値ではありません。
Fxx	xxは本種別の要素Noを示します。 (指定した要素Noの計算値を示します)
＋－／＊	四則演算記号

例：A01＊100(センサ01の積算値を100倍にする場合)

LCD表示

nn：要素No(01～32)

```
７６：ＦＡＸケイサンｎｎ
０１：ケイサンメイ
■
```

```
７６：ＦＡＸケイサンｎｎ
０２：タンイ
■
```

```
７６：ＦＡＸケイサンｎｎ
０３：ケイサンシキ
■
```

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

・項目(04)は、キーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。

FAX	種別	77	FAX統計	要素	01－32

概　要

帳票等で使用する統計データの設定をします。
あるセンサが蓄積している積算値の1時間毎の1日分データ、1日毎の1ヶ月分データ等の統計データを設定します。

注意：本種別は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
また項目(04は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。
設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。
誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	適用センサ	01-XX～06-XX	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。
02	統計形式	01-06		
03	付加情報	01-05		

記　事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。

LCD表示

・本種別は、キーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。

10. FAX通報機能

10. 1 標準設定

FAX通報機能を動作させるためには、設定項目「システムデータ種別(01)～(47)」及びFAX通報機能用の設定項目「システムデータ種別(70)～(77)」を設定する必要があります。
種別(70)～(77)の主な設定内容は、各帳票のフォーマット、各帳票のデータ集計方法(統計方法等)各帳票に表示する各名称(設置場所名、通報先名等)などですが、標準設定として「小規模ポンプ場」の運用を想定した帳票フォーマット、データ集計方法が設定されています。
本体のテンキーを使用して設定する方法(キーボートメンテナンス)では、「種別(01)～(47)」の設定と「種別(70)～(77)」で各名称等を設定することでFAX通報機能を動作させることができます。
標準の各帳票フォーマット(月報、日報、異常復旧通報)は、「10. 2 帳票フォーマット」をご覧下さい。
キーボードメンテナンスで設定するデータは、「10. 3　設定項目」をご覧下さい。
キーボードメンテナンスで設定可能な文字は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

注意:

- ■ キーボードメンテナンスでは、各帳票のフォーマットや各種データの統計等は設定できません。
  また、各名称設定は、半角文字(カタカナ・英数字・記号等)のみとなります。
  保守端末(「保守用FD」をインストールしたパソコン)を使用すると、各名称を全角文字(漢字・ひらがな等:JIS第1水準)で設定することもでき、また帳票のフォーマットも数種類、用意しています。
  ※:全角文字はJIS第1水準文字です。ただし、ギリシャ文字、ロシア文字、けい線素片は設定できません。

- ■ FAX通報機能を設定した後に必ずテスト通報試験を行って下さい。
  尚、テスト通報試験の方法は、保守用FDの取扱説明書を参照して下さい。

- ■ 一括通報について、FAX通報でも一括通報は可能ですが、7つ以上の通報要因が一括通報される場合、6つまでの通報要因を一括通報し、残りの通報要因は通報されません。

種別(70)～(77)は、以下のような接続および運用を想定したシステムデータが設定されています。

◆ 接続機器

①センサ入力1, 2, 3にポンプ1の起動信号(起動中常時出力する無電圧接点)を接続します。
(センサ入力1で運転時間、センサ入力2で運転回数、センサ入力3で動作状態を蓄積します。)
②センサ入力5, 6, 7にポンプ2の起動信号(起動中常時出力する無電圧接点)を接続します。
(センサ入力5で運転時間、センサ入力6で運転回数、センサ入力7で動作状態を蓄積します。)
③センサ入力4, 8, 41～43に各々センサを接続します。
(センサ入力4, 8, 41～43の異常や復旧により通報します。)
※. センサ入力41～43は、アナログ入力1～3をセンサ入力として使用している場合のセンサ番号です。
④アナログ入力4にアナログセンサ(電圧または電流出力)を接続します。
(電圧または電流値を監視します。)
※接続できるアナログセンサの規格は、「6. 接続(周辺)機器の規格」をご覧下さい。

◆ 運用

①2台のポンプの運転時間・作動回数および各種動作履歴を月報帳票(1ヶ月1回)でFAX通報します。
②2台のポンプの運転時間・作動回数を日報帳票(1日1回)でFAX通報します。
③センサ入力4, 8, 41～43の異常や復旧により通報し、通報内容およびセンサ入力4, 8, 41～43、アナログ入力4の状態および2台のポンプの動作状態(トレンド)を異常復旧通報帳票で通報します。
④2台のポンプの総運転時間、総運転回数(通報する積算値を設定)により通報します。

注意:④の通報について

④の通報は、積算値をオーバーフローさせないための通報です。積算値がオーバーフローすると月報や日報のデータ集計が正常にできなくなります。
④の通報を受信した場合は、積算値をクリアする必要があります。積算値をクリアする方法については、「8. キーボードメンテナンス」や「11. 参考資料のテレコントロール機能」をご覧下さい。
(よくお読みの上、実行して下さい。)
また、積算値をクリアすることにより、集計データに多少の誤差が生じる場合があります。

10. 2 帳票フォーマット

各帳票フォーマットは、以下の通りです。以下を参考に名称等を設定して下さい。

(1)月報帳票 「種別(70):FAX基本／項目(05):帳票01」に設定済み

前月のデータ集計結果と動作履歴(最大:100件)が表示されます。
動作履歴は、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきます。

コルソス

1998年10月 1日(木)

カンシサキ

承認	確認	確認	担当

9月　報告書

【定時記録】

日付	1号ポンプ 運転時間 (分)	運転回数 (回)	流量 (m3)	2号ポンプ 運転時間 (分)	運転回数 (回)	流量 (m3)	合計流量 (m3)
9- 1	46	4	55	46	4	55	110
9- 2	89	8	107	66	7	79	186
9 -3	50	5	60	57	6	68	128
9- 4	75	7	90	71	7	85	175
9- 5	42	3	50	48	4	58	108
9- 6	69	7	83	69	6	83	166
9- 7	59	6	71	68	7	82	152
9- 8	63	8	76	75	7	90	166
9- 9	51	6	61	64	6	77	138
9-10	76	9	91	79	8	95	186
9-11	42	3	50	49	4	59	109
9-12	51	5	61	52	4	62	124
9-13	38	3	46	53	4	64	109
9-14	86	8	103	62	7	74	178
9-15	89	10	107	78	9	94	200
9-16	51	5	61	53	6	64	125
9-17	39	4	47	49	5	59	106
9-18	81	9	97	83	8	100	197
9-19	48	5	58	63	6	76	133
9-20	68	8	82	80	7	96	178
9-21	42	5	50	47	4	56	107
9-22	36	4	43	57	5	68	112
9-23	59	7	71	62	6	74	145
9-24	46	5	55	63	6	76	131
9-25	59	6	71	58	5	70	140
9-26	41	4	49	42	4	50	100
9-27	38	4	46	51	5	61	107
9-28	57	7	68	61	6	73	142
9-29	54	6	65	66	6	79	144
9-30	42	5	50	48	5	58	108
合計	1687	176	2024	1820	174	2184	4208
累計 (時間)	78			80			

【動作履歴】

発生日	発生時間	センサ名称	状態
9- 2	10:00	ｾﾝｻ4	異常
9- 2	10:05	ｾﾝｻ4	正常
9- 5	18:30	ｾﾝｻ8	異常
9- 5	18:50	ｾﾝｻ8	正常
9-13	08:00	ｱﾅﾛｸﾞ4	LL異常
9-13	09:00	ｱﾅﾛｸﾞ4	LL復旧

注1. 運転時間が59秒以内の場合は、表示上は「0」と表示されますが、合計値には加算されています。
　　日毎の表示値を加算した値と合計値の表示値とは一致しない場合があります。
注2. 累計は、通報日の通報時刻時点での総運転時間です。
注3. 動作履歴は、通報日の通報時刻時点での全動作履歴(最大100件)を表示します。

(2) 日報帳票 「種別(70):FAX基本／項目(06):帳票02」に設定済み

前日データ集計結果が表示されます。

コルソス

1998年10月 1日(木)

カンシサキ

承認	確認	確認	担当

9月30日　報告書

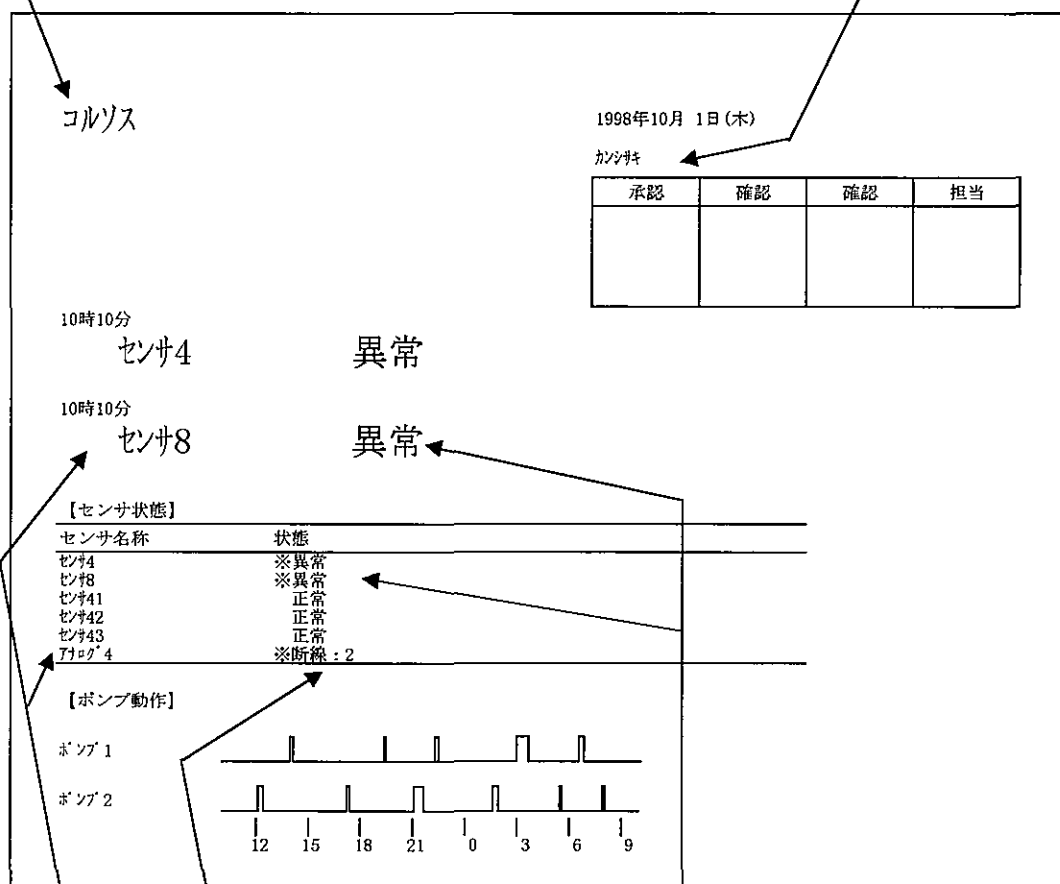
【定時記録】

時刻	1号ポンプ 運転時間 (分)	1号ポンプ 運転回数 (回)	2号ポンプ 運転時間 (分)	2号ポンプ 運転回数 (回)	合計流量 (m3)
0時00分	9	1	0	0	9
1時00分	0	0	12	1	1
2時00分	0	0	0	0	0
3時00分	0	0	0	0	0
4時00分	8	1	10	1	9
5時00分	0	0	0	0	0
6時00分	0	0	0	0	0
7時00分	0	0	0	0	0
8時00分	0	0	0	0	0
9時00分	10	1	0	0	10
10時00分	0	0	0	0	0
11時00分	0	0	10	1	1
12時00分	0	0	0	0	0
13時00分	0	0	0	0	0
14時00分	12	1	0	0	12
15時00分	0	0	0	0	0
16時00分	0	0	9	1	1
17時00分	0	0	0	0	0
18時00分	9	1	0	0	9
19時00分	0	0	13	1	1
20時00分	0	0	0	0	0
21時00分	0	0	0	0	0
22時00分	0	0	0	0	0
23時00分	7	1	0	0	7
合計	55	6	54	5	60
累計（時間）	51		71		

注1. 運転時間が59秒以内の場合は、表示上は「0」と表示されますが、合計値には加算されています。
　　時間毎の表示値を加算した値と合計値の表示値とは一致しない場合があります。

注2. 累計は、通報日の通報時刻時点での総運転時間です。

(3) 異常復旧通報帳票 「種別(70):FAX基本／項目(07):帳票03」に設定済み

通報内容、その他入力状態およびポンプの動作状態が表示されます。

注1. 通報内容は、一括通報時、複数(最大6)の要因を表示します。(上記は、2つの要因の一括通報の例です)
注2. センサ状態に表示するセンサは、帳票フォーマットで設定するため、キーボードメンテナンスでは変更できません。
注3. センサ状態に表示されている状態は、通報開始時の状態ですので、通報内容と異なる場合があります。
センサ状態に表示されている状態で、「※」印は異常であることを示します。(「※」印は変更できません)
注4. ポンプ動作は、24時間で最大70回の変化履歴を表示します。最大値を超える変化が発生した場合は、古い変化履歴から上書きしていきます。
24時間以内で最大値を超える変化が発生した場合は、ポンプ動作が24時間分表示されない場合があります。

10. 3 設定項目

キーボードメンテナンスでシステムデータ設定する場合は、帳票フォーマット等は変更できないため、「小規模ポンプ場用標準設定」に合わせた設定をする必要があります。
設定する項目は、下表「システムデータ設定例」の通りです。
注意事項欄および「9項　システムデータ設定内容」をよくお読みの上、設定して下さい。
下表にない設定項目については、初期値で問題ありませんが、運用に応じて設定変更して下さい。

注意:

- ■ 下表のように行わないと、FAX通報機能が正常に動作しない場合があります。
- ■ 待機状態より「設定」キーを3秒以上押すと、キーボードメンテナンス状態になりますが、FAXユニットを実装している場合、キーボードメンテナンス状態になるまでに約50秒程度かかる場合があります。
- ■ 新規設置時の電源投入後やシステムオールリセット後、本装置はキーボードメンテナンス状態（日付設定）になりますが、FAXユニットを実装している場合、待機状態に戻るためには、最低限下表（1／3）の(※)印のある設定項目を設定し「システムデータ保存」を行なう必要があります。

システムデータ設定例（1／3）

設定種別		要素	設定項目		設定データ	
No.	種別名称	No.	No.	項目名称	( ):初期値	設定時の注意事項
01	IDコード	−	01(※)	ID番号	(未設定)	必ず設定して下さい。
30	通報先	01	01	電話番号	(未設定)	必ず設定して下さい。 要素Noは、運用に応じて変更して下さい。
			02	通報方式	FAX	必ずこの通りに設定して下さい。
			03	応答検出方式	(極性反転)	運用に応じて、設定変更して下さい。
31	通報グループ	01	01	通報先No.（モード1）	(未設定)	必ず設定して下さい。 要素Noは、運用に応じて変更して下さい。 その場合、各通報要因の通報グループNoを設定変更して下さい。
36	センサ入力	01,05	01(※)	異常モード	時間積算	必ずこの通りに設定して下さい。 項目(05)：異常積算値は、運用に応じて変更して下さい。
			05	異常積算値	60000	
			06	定時通報時積算値クリア	無	
			07	モード1通報	有	
		02, 06	01(※)	異常モード	パルス積算	
			05	異常積算値	60000	
			06	定時通報時積算値クリア	無	
			07	モード1通報	有	
		03, 07	01	異常モード	(メーク)	
			07	モード1通報	有	
		04, 08	01	異常モード	(メーク)	運用に応じて、設定変更して下さい。
		41〜43	07	モード1通報	有	
37	アナログ入力	04	01(※)	端子用途	アナログ	必ずこの通りに設定して下さい。
			05	しきい値1	(未設定)	運用に応じて、設定して下さい。
			11	しきい値2	(未設定)	
			17	しきい値3	(未設定)	
			23	しきい値4	(未設定)	
			29	しきい値5	(20%)	
38	アナログ入力 定時記録・印刷	01	01(※)	記録先	FAX	必ずこの通りに設定して下さい。
			02	時間間隔	(60分)	
			03	開始時刻	(00:00)	運用に応じて、設定変更して下さい。
42	定時状態通報	01	01	通報動作	有	日報が必要な場合は、必ずこの通りに設定して下さい。 項目(03)：通報時刻は、運用に応じて設定して下さい。
			02	通報方式	定時刻	
			03	通報時刻1	(未設定)	
			10	帳票形式	2	
		02	01	通報動作	有	月報が必要な場合は、必ずこの通りに設定して下さい。 項目(08)：定日設定、(09)：定日時刻は、運用に応じて設定して下さい。
			02	通報方式	定日	
			08	定日設定	(1)	
			09	定日時刻	(10:00)	
			10	帳票形式	1	

システムデータ設定例(2／3)

設定種別 No.	種別名称	要素 No.	設定項目 No.	項目名称	設定データ ( ):初期値	設定時の注意事項
70	FAX基本	−	01	設置場所名称	(コルソス)	運用に応じて、設定変更して下さい。
			02	通報先名称	(カンシサキ)	
			03～16	各帳票フォーマットが設定済みですので、絶対に設定変更しないで下さい。		
71	FAXセンサ	01～08 41～43	01	センサ種別	要素01,05は(時間積算) 要素02,06は(パルス積算) 要素03,04,07,08, 41～43は(異常復旧)	設定変更しないで下さい。
			02	センサ名称	要素01,02,03は(ポンプ1) 要素05,06,07は(ポンプ2) 要素04は(センサ4) 要素08は(センサ8) 要素41は(センサ41) 要素42は(センサ42) 要素43は(センサ43)	運用に応じて、設定変更して下さい。
			03	正常時名称	全要素 (正常)	
			04	異常時名称	全要素 (異常)	
			05	単位名称	要素01,05は((分)) 要素02,06は((回)) 要素04,08, 41～43は(未設定)	設定変更しないで下さい。
			06	計算式	要素01,05は($/6):秒→分の変換式 要素02～04,06～08, 41～43は(未設定)	
72	FAXアナログ	04	01	アナログセンサ種別	(しきい値)	必ずこの通りに設定して下さい。
			02	アナログセンサ名称	(アナログ4)	運用に応じて、設定変更して下さい。
			03	正常時名称	(正常)	
			04	HH／異常時名称	(HH異常)	
			05	H時名称	(H異常)	
			06	L時名称	(L異常)	
			07	LL時名称	(LL異常)	
			08	断線時名称	(断線)	
			09	HH復旧時名称	(HH復旧)	
			10	H復旧時名称	(H復旧)	
			11	L復旧時名称	(L復旧)	
			12	LL復旧時名称	(LL復旧)	
			13	断線復旧時名称	(断線復旧)	
			14	単位名称	(未設定)	
			15	計算式	(未設定)	
73	FAX･AND	01～05	01	AND種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。
			02	センサ名称	要素01は(AND1) 要素02は(AND2) 要素03は(AND3) 要素04は(AND4) 要素05は(AND5)	
			03	正常時名称	全要素 (正常)	
			04	異常時名称	全要素 (異常)	

システムデータ設定例(3／3)

設定種別		要素	設定項目		設定データ	
No.	種別名称	No.	No.	項目名称	( ):初期値	設定時の注意事項
74	FAXシステム	01～06	01	システム種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。
			02	センサ名称	要素01は(ﾓｰﾄﾞ切替) 要素02は(電源) 要素03は(ﾛｰﾊﾞｯﾃﾘ) 要素04は(ﾊﾞｯﾃﾘ) 要素05は使用しません 要素06は(定時通報)	
			03	正常時名称	要素01は(ﾓｰﾄﾞ1) 要素02は(復電) 要素03は(正常) 要素04は(不要) 要素05,06は使用しません	
			04	異常時名称	要素01は(ﾓｰﾄﾞ2) 要素02は(停電) 要素03は(電圧低下) 要素04は(交換必要) 要素05,06は使用しません	
75	FAX出力接点	01～04	01	システム種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。
			02	センサ名称	要素01は(ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃﾝ1) 要素02は(ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃﾝ2) 要素03は(ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃﾝ3) 要素04は(ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃﾝ4)	
76	FAX計算	01～03	01	計算名称	要素01は(ﾎﾟﾝﾌﾟ1 ﾘｭｳﾘｮｳ) 要素02は(ﾎﾟﾝﾌﾟ2 ﾘｭｳﾘｮｳ) 要素03は(ｺﾞｳｹｲ ﾘｭｳﾘｮｳ)	要素01～03は、運用に応じて設定変更して下さい。 要素04～32は、使用しません。
			02	単位名称	全要素 ((m3))	
			03	計算式	要素01は(A01*1): センサ01の積算値*1の式 要素02は(A05*1): センサ05の積算値*1の式 要素03は(F01+F02): 要素01+要素02の式	
			04	計算種別	全要素 (差分)	設定変更しないで下さい。
77	FAX統計	01～32	01～32	各帳票フォーマットに使用する各統計データが設定済みですので、 絶対に設定変更しないで下さい。		

10. 4 設定文字

(1) 設定できる文字および本体キーとの対応

キーボードメンテナンスで設定できる文字および本体キーとの対応は、下表の通りです。

注意：■キーボードメンテナンスで設定できる文字は半角文字のみです。

■全角文字（漢字・ひらがな等）については、保守端末で設定可能です。

※ 全角文字はJIS第1水準文字です。ただし、ギリシャ文字、ロシア文字、けい線素片は設定できません。

本体キー	本体キーを押す回数																									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ																
2	カ	キ	ク	ケ	コ																					
3	サ	シ	ス	セ	ソ																					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ																				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ																					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ																					
7	マ	ミ	ム	メ	モ																					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ																				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ																					
*	ワ	ヲ	ン	゜	゛	ー	スペース																			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0																
#	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
→	文字を確定し、カーソルを右に移動する																									
←	文字を確定し、カーソルを左に移動する																									
↑	前の文字を1文字削除する（バックスペース）																									
↓	+	−	*	/	$	¥	%	,	″	;	:	(	)													

(2) キーボードメンテナンスでの文字設定手順

例：「センサ1」と設定する場合

1. 「3」を4回押し、「→」を押します。

2. 「*」を3回押し、「→」を押します。

3. 「3」を1回押し、「→」を押します。

4. 「0」を1回押し、「→」を押します。

5. 入力文字に問題なければ「確定」キーを押します。
（次項目が表示されます。）

11. 参考資料

◆ノーマル設定一覧表

ノーマル設定は、以下のシステムデータを順番に表示します。要素のあるものは、要素の数だけ項目を繰り返します。

機能		種別	要素		設定項目			項目説明	ページ
システム	01	IDコード	−	01	ID番号			本装置のID番号を設定	51
				02	IDメッセージ			ID番号の代わりに送出するメッセージを設定	
回線	10	NCU機能	−	01	ダイヤルモード			ダイヤルモード(10／20pps、DTMF)を設定	54
通報	30	通報先	01～16	01	電話番号			通報先の電話番号を設定	62
				02	通報方式			通報方式を設定	
	31	通報グループ	01～05	01	モード1　通報先No			モード1の通報先No(最大8宛先)を設定	64
				05	モード2　通報先No			モード2の通報先No(最大8宛先)を設定	
	36	センサ入力	01～08	03	通報起動条件			通報起動条件を設定	70
				07	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
				08	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
				09	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				10	通報データ	DTMF	異常	DTMF通報時の通報データを設定	
				11			復旧		
				12		ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				13			復旧		
				14		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				15			復旧		
	37	アナログ入力(センサ入力)(注1)	(41～44)(注1)	04	通報起動条件			通報起動条件を設定	72
				08	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
				09	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
				10	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				11	通報データ	DTMF	異常	DTMF通報時の通報データを設定	
				12			復旧		
				13		ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				14			復旧		
				15		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				16			復旧		

注1.「種別(37):アナログ入力／項目(01):端子用途」の設定が「センサ」の場合のみ表示します。(初期値:「センサ」)
尚、「アナログ」の場合は、ダイレクト設定で設定して下さい。

◆ダイレクト設定一覧表(1／7) 白ヌキ数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
システム	01 IDコード	−	01 ID番号	本装置のID番号を設定	51
			02 IDメッセージ	ID番号の変わりに送出するメッセージを設定	
	02 メッセージ録音条件	−	01 サンプリングレート	サンプリングレートを設定	52
			02 サイレントリムーブ	サイレントリムーブ機能の有無を設定	
			03 しきい値	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定	
	03 回線断機能	−	01 回線断警報音	検出時、警報音送出の有無を設定	53
			02 出力接点連動	検出時、出力接点連動の有無を設定	
			03 接点No	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点No.を設定	
			04 動作印刷	検出時、印刷の有無を設定	
回 線	10 NCU機能	−	01 ダイヤルモード	ダイヤルモード(10／20pps、DTMF)を設定	54
			02 DT検出	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定	
			03 DT検出タイマ	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定	
			04 極性反転検出タイマ	極性反転の検出時間を設定	
			05 BT・H&D検出	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定	
			06 フラッシュ時間	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定	
			07 回線開放タイマ	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定	
	11 アンサ信号	−	01 検出周波数	検出周波数を設定	55
			02 有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
			03 有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	12 エンド信号	−	01 エンド信号待ちタイマ	通報DTMFデータ送出後、エンド信号の受信待ち時間を設定	56
			02 検出周波数	検出周波数を設定	
			03 有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
			04 有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	13 DTMF信号	−	01 DTMF送出タイマ	送出時間を設定	57
			02 DTMF休止タイマ	休止時間を設定	
			03 DTMF送出レベル	送出レベルを設定	
			04 アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定	
自動応答	20 自動応答	−	01 自動応答機能	自動応答機能の有無を設定	58
			02 自動応答条件	自動応答する条件を設定	
			03 自動応答の設定時間	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定	
			04 自動応答タイマ	自動応答するまでの時間を設定	
			05 自動応答DTMF	自動応答DTMFを設定	
			06 自動応答メッセージ方式	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定	
			07 自動応答メッセージ(録音)	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定	
			08 端子状態通知	端子状態通知機能の有無を設定	
	21 暗証番号	−	01 暗証番号オンラインメンテナンス	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定	59
			02 暗証番号テレコン 音声制御	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
			03 暗証番号テレコン センタ制御	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
			04 暗証番号テレコン エレベータ制御	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定	
			08 暗証番号再入力回数	暗証番号の再入力可能な回数を設定	
			09 暗証番号受信待ちタイマ	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定	
	22 テレコントロール	−	01 サービス番号待ちタイマ	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定	60
			08 子機番号受信待ちタイマ	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定	
	23 オンラインメンテナンス		01 コマンド待ちタイマ	1つのコマンドの受信待ち時間を設定	61

◆ダイレクト設定一覧表(2／7)

機能	種別		要素	設定項目			項目説明	ページ
通　報	30	通報先	01～32	01	電話番号		通報先の電話番号を設定	62
				02	通報方式		通報方式を設定	
				03	応答検出方式		本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定	
				04	応答タイマ		本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定	
				05	応答DTMF		本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定	
				06	応答後音声メッセージ 送出遅延タイマ		本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定	
				07	音声メッセージ送出タイマ		通報メッセージの送出時間を設定	
				08	音声メッセージ 繰返ポーズタイマ		通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定	
				09	応答後ポケベルデータ 送出遅延タイマ		本項目(02)が「DTMF」「ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定	
				10	DTMF後音声メッセージ 送出遅延タイマ		本項目(02)が「MF＋固定／録音」の場合、DTMFデータ 送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
				11	通報確認		本項目(02)が「DTMF」「ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ」以外の場合、設定可。 通報時、通報確認機能の有無を設定	
				12	通報確認DTMF		本項目(11)が「有」の場合、設定可。 受信するDTMF信号を設定	
				13	臨場音聴取		本項目(02)が「ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ」以外の場合、設定可。 通報時、臨場音聴取機能の有無を設定	
				14	臨場音聴取マイク番号		本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定	
				15	臨場音聴取監視タイマ		本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定	
				16	テレコン起動		本項目(02)が「ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ」以外の場合、設定可。 通報時、テレコン起動の有無を設定します。	
				17	テレコン制御方式		本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定	
	31	通報グループ	01～32	01		通報先No	モード1の通報先No(最大8宛先)を設定	64
				02	モード1	通報完了条件	モード1での通報終了条件を設定	
				03		特定宛先	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
				04		発呼回数	発呼する回数を設定	
				05		通報先No	モード2の通報先No(最大8宛先)を設定	
				06	モード2	通報完了条件	モード2での通報終了条件を設定	
				07		特定宛先	本項目(05)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
				08		発呼回数	発呼する回数を設定	
				09	出力接点連動		接点連動の有無を設定	
				10	接点連動	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定	
				11	1	オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
				12		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
				13	接点連動	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定	
				14	2	オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
				15		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
				16	接点連動	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定	
				17	3	オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
				18		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
				19	接点連動	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定	
				20	4	オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
				21		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
				22	接点連動	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定	
				23	5	オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
				24		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	

◆ダイレクト設定一覧表(3／7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
通　報	32 通報モード切替	－	01 切替方式	切替方式を設定	66
			02 外部スイッチ・センサNo	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定	
			03 ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(1→2)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定	
			04 ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(2→1)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定	
			05 モード1開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定	
			06 モード2開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定	
			07 モード2の曜日(毎週)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定	
			08 モード2の月日(毎年)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定	
	33 通報動作設定	－	01 通報優先	通報優先の有無を設定	67
			02 外部停止ﾎﾞﾀﾝｾﾝｻNo	外部停止ボタンとするセンサNoを設定	
			03 通報動作印刷	通報時、印刷の有無を設定	
			04 一括通報	一括通報の有無を設定	
			05 ｾﾝｻｱﾅﾛｸﾞ通報遅延ﾀｲﾏ	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定	
	34 集音マイク	01～02	01 ゲイン初期値	ゲインの初期値を設定	68
	35 出力接点	01～04	01 待機モード	待機時の接点状態を設定	69
			02 出力方式	オン時の出力方式を設定	
			03 ワンショットタイマ	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定	
			04 動作記録	動作時、履歴記録の有無を設定	
			05 動作印刷	動作時、印刷の有無を設定	
			06 テレコン応答メッセージ　オン	テレコン操作時のメッセージを設定	
			07 テレコン応答メッセージ　オフ		
	36 センサ入力	01～08	01 異常モード	異常モードを設定	70
			02 検出タイマ	検出時間を設定	
			03 通報起動条件	本項目(01)が「メーク」「ブレーク」の場合、通報起動条件を設定	
			04 通報内容	本項目(01)が「パルス／時間積算」の場合、固定音声／固定データ通報時の通報内容を設定	
			05 異常積算値	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、異常とする積算値を設定	
			06 定時通報時積算値クリア	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、 定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
			07 モード1通報	モード1における通報の有無を設定	
			08 モード2通報	モード2における通報の有無を設定	
			09 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			10 通報データ　DTMF　異常	DTMF通報時の通報データを設定	
			11 通報データ　DTMF　復旧		
			12 通報データ　ポケットベル　異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			13 通報データ　ポケットベル　復旧		
			14 通報データ　録音メッセージ　異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			15 通報データ　録音メッセージ　復旧		
			16 動作記録	動作時、履歴記録の有無を設定	
			17 動作印刷	動作時、印刷の有無を設定	
			18 臨場音聴取	臨場音聴取の有無を設定	

◆ダイレクト設定一覧表(4/7)

機能		種別	要素		設定項目				項目説明	ページ
通報	37	アナログ入力	01～04	01	端子用途				端子用途(アナログ/センサ)を設定	72
		(センサ入力)	(41～44)	02	異常モード				異常モードを設定	
		注1		03	検出タイマ				検出時間を設定	
				04	通報内容				本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定	
				05	しきい値1(HH)				しきい値1を設定	
				06		通報起動条件			通報起動条件を設定	
				07		通報	ポケット	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				08		データ	ベル	復旧		
				09			録音	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				10			メッセージ	復旧		
				11	しきい値2(H)				しきい値2を設定	
				12		通報起動条件			通報起動条件を設定	
				13		通報	ポケット	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				14		データ	ベル	復旧		
				15			録音	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				16			メッセージ	復旧		
				17	しきい値3(L)				しきい値3を設定	
				18		通報起動条件			通報起動条件を設定	
				19		通報	ポケット	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				20		データ	ベル	復旧		
				21			録音	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				22			メッセージ	復旧		
				23	しきい値4(LL)				しきい値4を設定	
				24		通報起動条件			通報起動条件を設定	
				25		通報	ポケット	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				26		データ	ベル	復旧		
				27			録音	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				28			メッセージ	復旧		
				29	しきい値5(断線)				しきい値5を設定	
				30		通報起動条件			通報起動条件を設定	
				31		通報	ポケット	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				32		データ	ベル	復旧		
				33			録音	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				34			メッセージ	復旧		
				35	通報内容				本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定	
				36	異常積算値				異常とする積算値を設定	
				37	積算時間間隔				積算する時間間隔を設定	
				38	定時通報時積算値クリア				定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
				39	通報	DTMF			DTMF通報時の通報データを設定	
				40	データ	ポケットベル			ポケットベル通報時の通報データを設定	
				41	(積算値)	録音メッセージ			録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				42	モード1通報				モード1における通報の有無を設定	
				43	モード2通報				モード2における通報の有無を設定	
				44	通報グループNo				通報グループNoを設定	
				45	定時記録				定時間隔で履歴記録の有無を設定	
				46	定時印刷				定時間隔で印刷の有無を設定	
				47	臨場音聴取				臨場音聴取の有無を設定	
	38	アナログ	−	01	時間間隔				時間間隔を設定	75
		定時印刷・記録		02	開始時刻				開始時刻を設定	
	40	AND通報	01～05	01	端子No.				ANDするセンサ・アナログNo. を設定	76
				02	通報起動条件				通報起動条件を設定	
				03	モード1通報				モード1における通報の有無を設定	
				04	モード2通報				モード2における通報の有無を設定	
				05	通報グループNo				通報グループNoを設定	
				06	通報	DTMF	異常		DTMF通報時の通報データを設定	
				07	データ		復旧			
				08		ポケット	異常		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				09		ベル	復旧			
				10		録音	異常		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				11		メッセージ	復旧			

注1.「本項目(01):端子用途」の設定が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力/項目(01)～(18)」と同一となります。

◆ダイレクト設定一覧表（5／7）

機能	種別		要素	設定項目				項目説明	ページ
通　報	41	定時通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	78
				02	通報方式			通報方式を設定	
				03	通報時刻1			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
				04	通報時刻2			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
				05	通報時刻3			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
				06	定時間間隔			本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
				07	通報開始時刻			本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
				08	定日設定			本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
				09	定日時刻			本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定	
				10	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				11	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				12	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				13		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	42	定時状態通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	80
				02	通報方式			通報方式を設定	
				03	通報時刻1			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
				04	通報時刻2			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
				05	通報時刻3			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
				06	定時間間隔			本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
				07	通報開始時刻			本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
				08	定日設定			本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
				09	定日時刻			本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定	
				10	通報グループNo			通報グループNoを設定	
	43	停電・復電通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	82
				02	検出タイマ			検出時間を設定	
				03	通報起動条件			通報起動条件を設定	
				04	通報遅延タイマ			通報遅延時間を設定	
				05	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				06	通報	DTMF	停電	DTMF通報時の通報データを設定	
				07	データ		復電		
				08		ポケット	停電	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				09		ベル	復電		
				10		録音	停電	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				11		メッセージ	復電		
	44	ローバッテリー通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	83
				02	検出タイマ			検出時間を設定	
				03	通報遅延タイマ			通報遅延時間を設定	
				04	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				05	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				06	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				07		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	45	蓄電池交換通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	84
				02	通報時期			通報時期を設定	
				03	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				04	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				05	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				06		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	47	モード切替通報	−	01	通報動作			通報動作の有無を設定	85
				03	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				03	通報	DTMF	モード1	DTMF通報時の通報データを設定	
				04	データ		モード2		
				05		ポケット	モード1	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				06		ベル	モード2		
				07		録音	モード1	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				08		メッセージ	モード2		

◆ダイレクト設定一覧表(6/7)

機能	種別		要素	設定項目		項目説明	ページ
エレベータホン	60	通報先Aグループ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	86
				02	応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	61	通報先Bグループ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	87
				02	応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	62	呼出モード切替	－	01	切替方式	切替方式を設定	88
	63	Aグループタイマ	－	01	時間	Aグループの時間を設定	89
				02	曜日(毎週)	Aグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Aグループの月日を設定	
	64	Bグループタイマ	－	01	時間	Bグループの時間を設定	90
				02	曜日(毎週)	Bグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Bグループの月日を設定	
	65	通報方式	－	01	通報ガイダンス	通報ガイダンスの有無を設定	91
				02	DTMF受信待ちタイマ	応答後、応答DTMFを受信するまでの時間を設定	
	66	通話方式	－	01	通話形式	通話形式を設定	92
				02	受話レベル	受話レベルを設定	
				03	受話感度	受話感度を設定	
				04	送話感度	送話感度を設定	
				05	長時間通話監視タイマ	通話監視時間を設定	
	67	子機設定	－	01	子機タイプ	子機タイプを設定	93
				02	呼出ボタン押下検出タイマ	呼出ボタンの押下検出時間を設定	

◆ダイレクト設定一覧表(7/7)

機能	種別		要素	設定項目		項目説明	ﾍﾟｰｼﾞ
FAX	70	FAX基本	−	01	設置場所名	帳票に表示する設置場所名を設定します。	94
				02	通報先	帳票に表示する通報先名を設定します。	
				03	使用しません	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	
				04	使用しません		
				05	帳票01		
				06	帳票02		
				07	帳票03		
				08	帳票04		
				09	帳票オブジェクト1		
				10	帳票オブジェクト2		
				11	帳票オブジェクト3		
				12	帳票オブジェクト4		
				13	帳票オブジェクト5		
				14	帳票オブジェクト6		
				15	帳票オブジェクト7		
				16	帳票オブジェクト8		
	71	FAXｾﾝｻ	01〜08 41〜44	01	センサ種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	95
				02	センサ名称	帳票に表示するセンサ名称を設定します。	
				03	正常時名称	帳票に表示する正常時名称を設定します。	
				04	異常時名称	帳票に表示する異常時名称を設定します。	
				05	単位名称	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	
				06	計算式		
	72	FAXｱﾅﾛｸﾞ	01〜04	01	アナログセンサ種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	96
				02	アナログセンサ名称	帳票に表示するアナログセンサ名称を設定します。	
				03	正常時名称	帳票に表示する各状態名称を設定します。	
				04	HH/異常時名称		
				05	H時名称		
				06	L時名称		
				07	LL時名称		
				08	断線時名称		
				09	HH復旧時名称		
				10	H復旧時名称		
				11	L復旧時名称		
				12	LL復旧時名称		
				13	断線復旧時名称		
				14	単位名称	アナログ値または積算値に対する単位を設定します。	
				15	計算式	アナログ値または積算値に対する演算式を設定します。	
	73	FAX・AND	01〜05	01	FAX AND種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	98
				02	センサ名称	帳票に表示するAND名称を設定します。	
				03	正常時名称	帳票に表示する正常時名称を設定します。	
				04	異常時名称	帳票に表示する異常時名称を設定します。	
	74	FAXｼｽﾃﾑ	01〜06	01	FAXシステム種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	99
				02	センサ名	帳票に表示する名称を設定します。	
				03	正常時	帳票に表示する正常時名称を設定します。	
				04	異常時	帳票に表示する異常時名称を設定します。	
	75	FAX出力接点	01〜04	01	FAX出力接点種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	100
				02	接点名称	帳票に表示する出力接点名称を設定します。	
	76	FAX計算	01〜32	01	FAX計算名	計算名称を設定します。	101
				02	単位	計算式に対する単位を設定します。	
				03	計算式	計算式を設定します。	
				04	計算種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	
	77	FAX統計	01〜32	01	適用センサ	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	102
				02	統計形式		
				03	付加情報		

◆固定通報メッセージ

「種別(30):通報先／項目(02):通報方式」の設定が「固定音声」「MF＋固定音声」の場合は、以下のような固定メッセージを送出します。

1. 固定メッセージフォーマット

固定メッセージフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

No	IDコードの設定(注1)	通報形態(注2)	固定メッセージフォーマット
1	ID番号のみ設定した場合	個別通報時	「こちらはXXXXです ＋ 標準メッセージ」(注3)
2		一括通報時	「こちらはXXXXです ＋ 通報要因単位のメッセージ」(注3)(注6)
3	IDメッセージも設定した場合	個別通報時	「IDメッセージ(録音) ＋ 標準メッセージ」(注4)
4		一括通報時	「IDメッセージ(録音) ＋ 通報要因単位のメッセージ」(注4)(注6)

注1. IDコードの設定は、「種別(01):IDコード」で設定

注2. 一括通報の設定は、「種別(33):通報動作設定／項目(04):一括通報」で設定

注3. XXXX:ID番号(MAX:16桁)。「種別(01):IDコード／項目(01):ID番号」で設定

注4. IDメッセージ(録音):録音フレーズ(MAX:1フレーズ)「種別(01):IDコード／項目(02):IDメッセージ」で設定

2. 標準メッセージ

標準メッセージは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード(注5)	通報内容(注5)	標準メッセージ
センサ入力 01～08 41～44	メーク/ブレーク	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定)
	パルス積算 時間積算	異常通報	異常時:「センサnnが異常です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
		積算値通報	異常時:「センサnnが(積算値)です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
アナログ入力 01～04	しきい値	異常通報	異常時:「アナログnnの(しきい値)が異常です」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnが異常です」 復旧時:「アナログnnの(しきい値)は異常ありません」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnは異常ありません」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1～4)
		アナログ値通報	異常時:「アナログnnが(アナログ値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値)%:MAX3桁)
	積算値	異常通報	異常時:「アナログnnが異常です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
		積算値通報	異常時:「アナログnnが(積算値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
定時通報	—	—	「定時通報です」
定時状態通報	—	—	次ページを参照願います。
AND通報	—	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定 71～75)
停電・復電通報	—	—	停電時:「停電です」 復電時:「復電しました」
ローバッテリー通報	—	—	異常時:「緊急通報の2です」
蓄電池交換時期通報	—	—	異常時:「緊急通報の3です」
モード切替通報	—	—	モード2→1:「1を開始します」 モード1→2:「2を開始します」

注5. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注6. 通報要因単位のメッセージの例を、以下に記します。

「センサ01 センサ05 センサ06が異常です アナログ01の2が異常です アナログ02が5000です」

(「センサ01 センサ05 センサ06が異常です」: センサのメッセージ／「アナログ01の2が異常です アナログ02が5000です」: アナログのメッセージ)

通報要因			標準メッセージ
定時状態通報			正常時:「定時通報 ＋ (センサ状態) ＋ (センサ積算値情報) ＋ (アナログ状態) ＋ (アナログ値またはアナログ積算値情報)」
			異常時:「定時通報 故障です」 (通報時にサブCPUに異常がある場合)
	センサ状態	異常センサ端子 無 異常センサ端子 有	「センサ異常ありません」 「センサnn･･･センサnnが異常です」 (nn:センサNo. 2桁固定)
	センサ積算値情報 異常モード:パルス／時間積算 通報内容:積算値 の場合のみ送出		「センサnnが(積算値)･･･センサnnが(積算値)です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
	アナログ状態	異常アナログ端子 無 異常アナログ端子 有	「アナログ異常ありません」 「アナログnnの(しきい値)･･･アナログnnの(しきい値)が異常です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1～4) 但し、積算値に設定されている端子については、しきい値は無
	アナログ値またはアナログ積算値情報 通報内容:アナログ値／積算値 の場合のみ送出		「アナログnnが(アナログ値)･･･アナログnnが(積算値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値):MAX3桁% (積算値):MAX8桁)

◆固定通報ＤＴＭＦデータ

「種別(30):通報先／項目(02):通報方式」の設定が「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」で、各通報要因の通報データが「未設定」の場合、以下のような固定DTMFデータを送出します。

1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

個別通報時

開始コード	ID番号(MAX16桁)(注1)	標準データ			終了コード
		種別コード		通報データ	
A		B			A

一括通報時(一括通報時は、固定データと設定したデータが混在する場合があります。)

開始コード	ID番号(MAX16桁)(注1)	標準データ		標準データ	終了コード
A					A

	標準データ		
	種別コード	通報データ	
標準データ	Bxx	固定データ	
設定データ	B00	設定データ桁数(2桁固定)	設定データ

注1. ID番号(MAX:16桁)は「種別(01):IDコード／項目(01):ID番号」で設定

2. 標準データ

標準データは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード(注2)	通報内容(注2)	標準データ 種別	標準データ 通報データ
センサ入力 001～008 041～044	ﾒｰｸ/ﾌﾞﾚｰｸ	—	11	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁) (注4、5)
	パルス積算	異常通報	12	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	13	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)
	時間積算	異常通報	14	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	15	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)
アナログ入力 001～004	しきい値	異常通報	31	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁) (注4、5)
		ｱﾅﾛｸﾞ値通報	32	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋アナログ値(3桁)
	積算値	異常通報	33	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	34	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋アナログ値(8桁)
定時通報	—	—	71	年月日時分(10桁) (注5)
定時状態通報	—	—	72	次ページを参照願います。 (注5)
AND通報 001～005	—	—	41	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁) (注4、5)
停電通報	—	—	81	年月日時分(10桁)＋001 (注5)
復電通報	—	—		年月日時分(10桁)＋002 (注5)
ローバッテリー通報	—	—		年月日時分(10桁)＋003 (注5)
蓄電池交換時期通報	—	—		年月日時分(10桁)＋005 (注5)
ﾓｰﾄﾞ切替通報(2→1)	—	—		年月日時分(10桁)＋006 (注5)
ﾓｰﾄﾞ切替通報(1→2)				年月日時分(10桁)＋007 (注5)
設定データ(注3)	—	—	00	設定データ桁数(2桁)＋設定データ

注2. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注3. 設定データは、一括通報時のみ送出される場合があります。

注4. 状態(2桁)データは、以下の通りです。

・センサ／AND状態
00:復旧(正常)
01:異常
09:実装異常(定時状態通報のみ)

・アナログ状態
00:復旧(正常)
01:異常(積算値の場合)
X0:復旧(正常)(X:しきい値1～5)
X1:異常(X:しきい値1～5)
09:実装異常(定時状態通報のみ)

注5. 年月日時分(10桁)データは、以下の通りです。

XX	XX	XX	XX	XX
年(下2桁)	月	日	時	分

－例－

・1999年4月1日9時0分の場合　:99 04 01 09 00
・2000年10月10日21時30分の場合　:00 10 10 21 30

定時状態通報

定時状態通報は、以下のデータフォーマットで送出します。

但し、アナログ端子及びANDグループデータは、設定されていない場合、送出しません。

A	ID番号(MAX16桁)	B 72	年月日時分データ	端子データ件数(2桁)	センサ端子データ	----	センサ端子データ

種別コード	通報データ
B1X	(年月日時分以外のデータ)

	アナログ端子データ	----	アナログ端子データ	ANDグループデータ	----	ANDグループデータ	A

種別コード	通報データ
B3X	(年月日時分以外のデータ)

種別コード	通報データ
B41	(年月日時分以外のデータ)

◆機能概要表

通報関係機能

◆通報機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	センサ入力通報	端子毎に以下の3種類から選択できます	種別（36）（30）（31）	
	異常・復旧通報	センサ入力状態の異常・復旧により通報する		
	パルス積算通報	センサ入力のメークした回数を積算し、積算値（1～65534回）により通報する		
	時間積算通報	センサ入力のメークしている時間(10秒単位)を積算し、積算値(10秒～約182時間)により通報する		
2	アナログ入力通報	端子毎に以下の2種類から選択できます。	種別（37）（30）（31）	
	異常・復旧通報	アナログ入力状態の異常・復旧（しきい値：5値）により通報する		
	アナログ積算通報	アナログ値を指定時間間隔（1～255分）で積算し、積算値（1～16777214）により通報する		
3	AND条件通報	複数のセンサ・アナログ入力状態のグループ異常／復旧により通報する	種別（40）（30）（31）	
4	定時通報	指定時刻（最大3時刻）、指定時間間隔（10分～10日）または、指定日により通報する	種別（41）（30）（31）	
5	定時状態通報	センサ／アナログ入力状態を指定時刻（最大3時刻）、指定時間間隔（10分～10日）または、指定日により通報する	種別（42）（30）（31）	
6	停電・復電通報	停電発生・復旧の検知（1秒～約16分）により通報する	種別（43）（30）（31）	
7	ローバッテリー通報	本体蓄電池による動作中、蓄電池の電圧低下により通報する	種別（44）（30）（31）	
8	蓄電池交換時期通報	蓄電池の交換を設定した交換時期（年月日時分）により通報する	種別（45）（30）（31）	
9	モード切替通報	通報モード1、2の切り替わりにより通報する	種別（47）（30）（31）	
10	一括通報	上記1～10の通報が同時に起動または保留した時、設定されている「通報グループ」が同じであれば一括で通報する	種別（33）	

◆通報方式選択機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	固定音声方式	固定メッセージ（登録済）で通報する	種別（30）	
2	録音音声方式	録音メッセージ（各入力毎に64フレーズ中16フレーズの組み合わせ）で通報する	種別（30）	
3	DTMF信号方式	DTMF信号（固定または設定）で通報する	種別（30）（11）（12）	
4	DTMF+固定音声方式	DTMF信号送出後、固定メッセージで通報する	種別（30）	
5	DTMF+録音音声方式	DTMF信号送出後、録音メッセージで通報する	種別（30）	
6	ポケットベル方式	ポケットベルにDTMF信号で通報する	種別（30）	
7	FAX	FAX帳票で通報する	注1	FAXU

◆マンマシン機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報モード切替	モード切替ボタン、内蔵タイマまたは外付スイッチ(タイマ)により、通報モード1、2を切り替える	種別（32）	
2	通報停止	通報停止ボタンまたは外部停止ボタンにより通報をキャンセルする	種別（33）	

◆通報連動機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	出力接点制御	通報動作に連動して出力接点を制御する	種別（31）（35）	
2	臨場音聴取	通報終了後、集音マイクにより臨場音を聴取する	種別（30）（36）（37）	
3	テレコントロール起動	通報終了後、テレコントロールを起動する	種別（30）	

◆履歴記録機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作記録	通報履歴を記録する（最大100件）		
2	センサ動作記録	センサの入力の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（36）	
3	アナログ定時記録	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で記録する（最大100件）	種別（37）（38）	
4	出力接点動作記録	出力接点の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（35）	
5	FAX統計	統計（日報／月報）データ、各入力の動作履歴を記録する	注1	FAXU

注1 種別（30）、（38）、（41）、（42）、（70）～（77）

◆動作／定時印刷機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作印刷	通報終了時に、通報履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（33）	
2	センサ動作印刷	センサ入力の動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（36）	
3	アナログ定時印刷	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で外付けプリンタに印刷する	種別（37）（38）	
4	出力接点動作印刷	出力接点動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（35）	

エレベータホン関係機能

◆基本機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	呼出モード切替	モード切替ボタンまたは内蔵タイマにより、呼出モード（親子通話モードまたはAグループまたはBグループ）を切り替える また、外付スイッチ(タイマ)により、呼出モード(インターホンまたはAグループ)を切り替える	種別（62）	EVU
2	エレベータ親子通話	エレベータ子機と親機でエレベータ親子通話をする		

◆通話機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	エレベータホン通報	エレベータ子機の呼出ボタンを押すことにより、エレベータホン通話先（AグループまたはBグループ）へ通報する	種別（60）（61）	EVU
2	エレベータホン通話	エレベータホン通報先と子機で通話する		
3	長時間通話監視	エレベータホン通話中に長時間通話監視タイムアウトすると、通報先に対し終話予告音［ピーピー…］を送出し、長時間通話切断タイムアウト後に回線を開放する機能。	種別（66）	
4	通話延長	終話予告音から30秒以内にDTMF［4］または［#］を受信することにより、終話予告音を停止し長時間監視タイマをリスタートする		

システム機能

◆回線断検出機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	回線断記録	回線断及び復旧を履歴として記録する（最大20件）		
2	回線断警報	回線断を検出することにより、警報音を鳴動する	種別（03）	
3	回線断連動接点	回線断を検出に連動して出力接点を制御する		
4	回線断動作印刷	回線断及び復旧時、動作履歴を外付けプリンタに印刷する		

◆LCD表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	カレンダー表示	現在の月日、曜日、時刻を表示する		
2	モード表示	通報モード（1または2）及び呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を表示する		
3	サービス状態表示	実行中のサービス、及びサービス状態を表示する		
	通報状態表示	通報の要因、状態、結果、保留等を表示する		
	自動応答表示	着信に対して自動応答したことを表示する		
	テレコン状態表示	テレコン起動中であること、及びテレコン用サービス番号またはコマンド番号を表示する		
	オンラインメンテナンス状態表示	オンラインメンテナンス中であること、及びオンラインメンテナンス用コマンド番号を表示する		
	回線断表示	回線断を検出したことを表示する		
	システム一時停止表示	システム一時停止中であることを表示する		
	EEPROM異常表示	システムデータの保存に異常があったことを表示する		
	エレベータホン通報表示	エレベータホン通話中であることを表示する		EVU

◆ランプ表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	電源ランプ表示	AC電源動作中は電源ランプを点灯表示し、本体蓄電池による動作中は点滅表示する		

◆自動応答機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答	着信に対して自動応答し、「こちらは、×…×です」+DTMFデータ［C］（×…×：ID番号）または、録音メッセージを送出する	種別（01）（20）	
2	暗証番号受信	暗証番号［*○○○○#］の受信により、テレコン（音声制御）、テレコン（センター装置制御）、テレコン（エレベータホン制御）またはオンラインメンテナンスを起動する	種別（21）	
3	自動状態通知	着信に対して自動応答し、センサ入力全端子の状態を送出する	種別（20）	

テレコントロール機能

◆テレコン音声制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（音声制御） 起動ガイダンス	テレコン（音声制御）の起動により、「サービス番号をどうぞ」を送出する	種別（21）	
2	サービス番号受信	以下のサービス番号の受信により、各サービスを実行する	種別（22）	
3	センサ情報収集 個別情報	[#11nn]（nn：センサNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（復旧）」 ・nnの41～44がアナログの場合：「アナログnnです」	種別（36）	
	センサ情報収集 全端子情報	[#1199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「センサnn・・・センサnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋センサnn・・が異常です」		
	センサ情報収集 積算値情報	[#12nn]（nn：センサNo.）の受信により以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「(積算値)」＋「異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「(積算値)」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・nnの41～44がアナログの場合：「アナログnnです」　(積算値：最大5桁)		
4	アナログ情報収集 個別情報	[#21nn]（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「(しきい値No）が異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／録音（しきい値2または3の復旧）」 ・nn01～04がセンサの場合　：「センサnnです」　（しきい値No：1～4）	種別（37）	
	アナログ情報収集 全端子情報	[#2199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「アナログnnの（しきい値No）・・・＋アナログnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋アナログnn・・が異常です」		
	アナログ情報収集 アナログ値(積算値)情報	[#22nn]（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「(積算値)」＋「異常です／（しきい値No）が異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「(積算値)」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・nnの01～04がセンサの場合　：「センサnnです」　(積算値：最大8桁)		
5	出力接点情報収集 個別情報	[#31nn]（nn：出力接点No.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」	種別（35）	
	出力接点情報収集 全端子情報	[#3199] の受信により、以下の音声を送出する ・オン端子がない場合：「オンありません」 ・オン端子がある場合：「出力接点nn…出力接点nnがオンです」または 「録音（オン）＋録音（オン）・・・＋出力接点nn・・がオンです」		
6	出力接点制御 ON／OFF	[#41nn]（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンし、以下の音声を送出する [#61nn]（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」		
7	集音マイク制御 ON／OFF ゲイン調整	[#420n]（n：マイクNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、マイクnをオンする [#6299] の受信により、マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクオン中、[0](最小) ～ [3](最大) の受信により、マイクのゲインを制御する	種別（34）	
8	スピーカー制御 ON／OFF	[#430n]（n：スピーカーNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、スピーカnをオンする [#6399] の受信により、スピーカをオフし、「オフしました」を送出する		
9	時計設定 月日／時刻／曜日	[#81MMDD]（MM：月, DD：日）の受信により、月日を設定する [#82hhmm]（hh：時, mm：分）の受信により、時分を設定する [#83W]（W：曜日, 日(1)～土(7)）の受信により、曜日を設定する		
10	積算値クリア センサ／アナログ	[#01nn]（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする [#02nn]（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		
11	現在状態確認	[#5101] 異常復旧通報帳票に設定されている現在状態を送信します。	注1	FAXU
12	定時状態要素1（前回）	[#5111] 定時状態通報の要素01の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前日の日報となります。)		
13	定時状態要素1（前々回）	[#5112] 定時状態通報の要素01の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前々日の日報となります。)		
14	定時状態要素2（前回）	[#5121] 定時状態通報の要素02の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前月の月報となります。)		
15	定時状態要素2（前々回）	[#5122] 定時状態通報の要素02の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前々月の月報となります。)		
16	定時状態要素3（前回）	[#5131] 定時状態通報の要素03の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、使用しません。)		
17	定時状態要素3（前々回）	[#5132] 定時状態通報の要素03の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、使用しません。)		
18	制御方式切替 音声／センタ	[#9101] の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える [#9102] の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
19	テレコン終了	[#9999] の受信により、回線を開放する機能。		

注1　種別（30）、（38）、（41）、（42）、（70）～（77）

◆テレコンセンタ制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（センタ装置制御）起動ガイダンス	テレコン（センタ装置制御）の起動により、「コントロールを開始します」＋DTMFデータ〔C〕を送出する	種別（21）	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを実行する	種別（22）	
3	センサ全端子情報収集	［#1199］の受信により、全てのセンサ入力の情報を送出する	種別（36）	
4	アナログ全端子情報収集	［#2199］の受信により、全てのアナログ入力端子の情報を送出する	種別（37）	
5	出力接点全端子情報収集	［#3199］の受信により、全ての出力接点の情報を送出する	種別（35）	
6	出力接点制御 ON／OFF	［#41nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンする ［#61nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフする		
7	積算値クリア センサ／アナログ	［#01nn］（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする ［#02nn］（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		
8	制御方式切替 音声／センタ	［#9101］の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える ［#9102］の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
9	テレコン終了	［#9999］の受信により、回線を開放する		

◆テレコンエレベータホン制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答による エレベータホン通話	エレベータ暗証番号受話後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	種別（21）	EVU
2	サービス番号受信	エレベータホン通話中の以下のサービス番号の受信により、各種サービスを実行する	種別（22）	
3	プレストーク送話	［2］受信以降は、かご内の音声をセンターに送出する		
4	プレストーク受話	［3］受信以降は、センターからの音声がかご内に送出される		
5	通話延長	終話予告音中から30秒以内に［4］または［#］受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートする		
6	終話	［6］受信により、3秒後に「ピー」を送出し、回線を開放する		
7	一斉受話	［7］受信により、センターからの音声が全かご内に送出される		
8	再送要求	［8］受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出する		
9	ハンズフリー通話	［9］受信により、3秒後に「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える		
10	ハンズフリー 受話レベル調整	［92n］（n：0～7）受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
11	ハンズフリー 受話感度調整	［93n］（n：0～7）受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
12	ハンズフリー 送話感度調整	［94n］（n：0～7）受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別（66）	
13	テレコン切替	［1］受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える		

保守機能

⚠注意：保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。

通常の監視機能（センサ入力、積算等）も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

また保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。

・出力端子（出力接点等）が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態（設定）に戻ります。
・入力端子（センサやアナログ）が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
・「定時（状態）間隔通報」、「アナログ入力定時記録·印刷」を運用している場合は保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

◆オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス起動ガイダンス	オンラインメンテナンスの起動により、「オンラインメンテナンスを開始します」＋DTMFデータ［C］を送出する	種別（21）	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを起動する	種別（23）	
3	システムデータ設定 アップ／ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ／ダウンロードする		保守用FD
4	音声メッセージの制御 録音／再生／消去	［＊11××］（××：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの録音を行う ［＊12××］（××：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの再生を行う ［＊13××］（××：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの消去を行う		
5	コマンド待ちタイマリスタート	［＊0000］の受信により、タイマをリスタートする		
6	オンラインメンテナンス終了	［＊9999］の受信により、回線を開放する		

◆簡易オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス着信待機	キーボードメンテナンスでオンラインメンテナンス待ちにすることで、オンラインメンテナンスを行う		

◆オンサイトメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	コマンド受信	RS-232Cインタフェースより、コマンドを受信し、各サービスを起動する		保守用FD
2	システムデータ設定 アップ／ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ／ダウンロードする		

◆キーボードメンテナンス機能

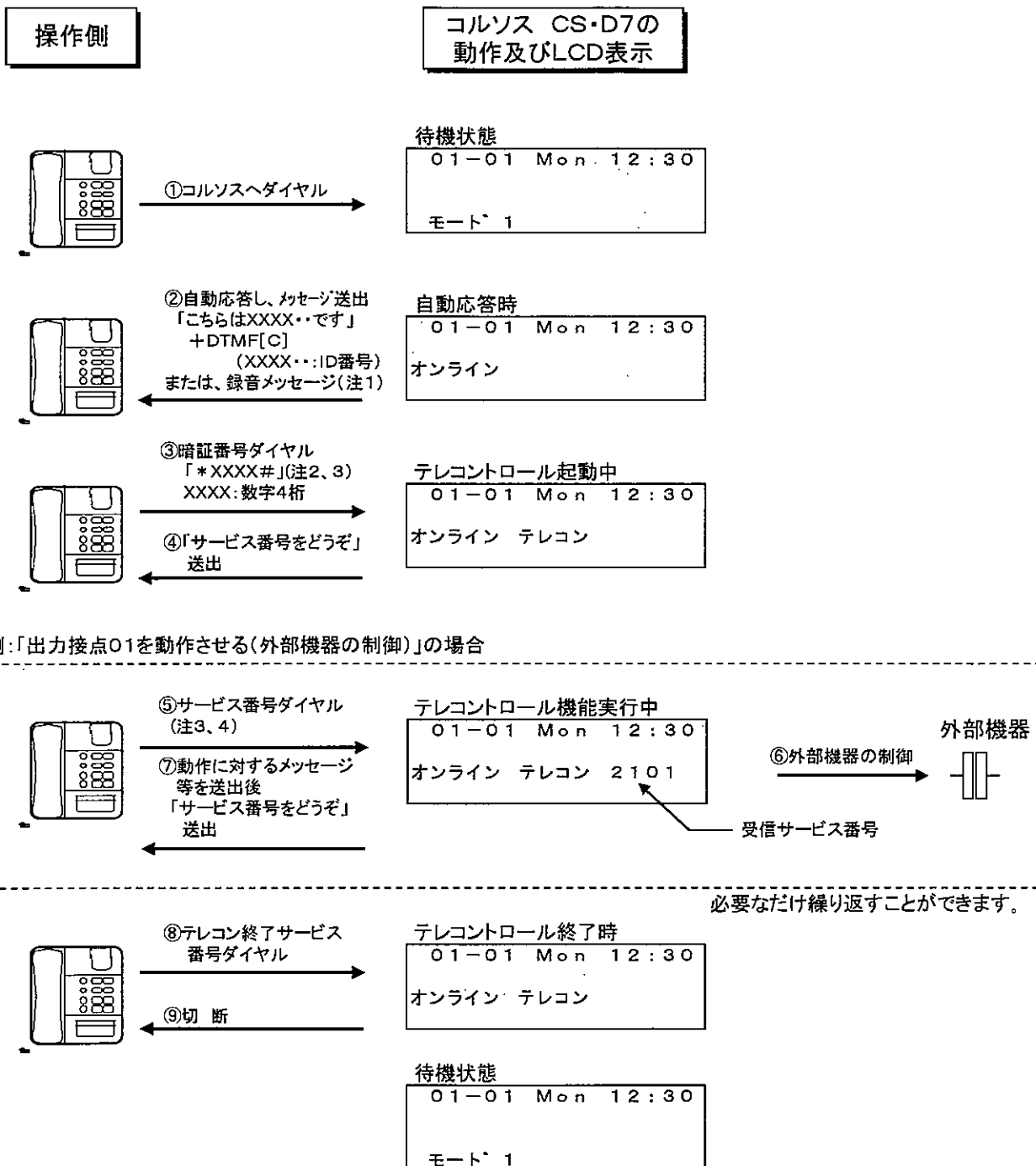
No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	メッセージ録音	キーボードの操作により、音声メッセージの録音や再生、消去をする		
2	システムデータ設定	キーボードの操作により、システムデータを設定、保存、読込、初期化する		
3	日時設定	キーボードの操作により、日付、曜日、時刻を設定、変更する		
4	端子状態表示	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子の現在状態をLCDの表示する		
5	履歴表示	キーボードの操作により、記録されている履歴をLCDに表示する		
6	プリントアウト	キーボードの操作により、履歴、システムデータを外付プリンタに印刷する		
7	オンラインメンテナンス	キーボードの操作により、オンラインメンテナンス待ち状態にする		
8	システムバージョン	キーボードの操作により、実装しているメインCPUのバージョンをLCDに表示する		
9	ユニットバージョン	キーボードの操作により、実装しているサブCPUのバージョン及び状態をLCDに表示する		
10	履歴クリア	キーボードの操作により、記録されている履歴をクリアする		
11	積算値クリア	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアする		
12	システムオールリセット	キーボードの操作により、システムデータ及び録音メッセージを全て初期化する		

◆システム一時停止機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	システム一時停止	設定解除ボタンの３秒連続押下のより、システムを一時的に停止する		

◆テレコントロール機能

テレコントロール機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のサービス番号(コマンド)送出によって、遠隔操作を行う機能です。
本装置には、以下3つのテレコントロール機能があります。
どのテレコントロール機能を起動するかは、自動応答後の暗証番号(「種別(21):暗証番号」で設定)によって決まります。
①音声制御・・・・・・・・・・音声によるテレコントロール
②センタ制御・・・DTMFデータによるテレコントロール
③エレベータ本制御・・・エレベータホン専用のテレコントロール
各テレコントロールの操作方法は、以下の通りです。

①音声制御

例:「出力接点01を動作させる(外部機器の制御)」の場合

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号／項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール／項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。

音声制御サービス番号

No	機 能 名 称	機 能 内 容	サービス番号
1	センサ情報収集 個別情報	指定したセンサ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（復旧）」 ・ｎｎの４１～４４がアナログの場合：「アナログｎｎです」 ・ｎｎが外部スイッチや外部停止ボタンの場合：「異常ありません／録音（復旧）」	[＃１１ｎｎ] （ｎｎ：センサＮｏ）
	センサ情報収集 全端子情報	全センサ入力の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「センサｎｎ・・・センサｎｎが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋センサｎｎ・・が異常です」	[＃１１９９]
	センサ情報収集 積算値情報	指定したセンサ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・ｎｎの４１～４４がアナログの場合：「アナログｎｎです」　（積算値：最大５桁）	
2	アナログ情報収集 個別情報	指定したアナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「（しきい値Ｎｏ）が異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（しきい値２または３の復旧）」 ・ｎｎの４１～４４がセンサの場合：「センサｎｎです」　（しきい値Ｎｏ：１～４）	[＃２１ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏ）
	アナログ情報収集 全端子情報	全アナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「アナログｎｎの（しきい値Ｎｏ）・・・アナログｎｎが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋アナログｎｎ・・が異常です」	[＃２１９９]
	アナログ情報収集 ｱﾅﾛｸﾞ値（積算値）情報	指定したアナログ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「ｱﾅﾛｸﾞ（積算）値」＋「異常です／ｍが異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「ｱﾅﾛｸﾞ（積算）値」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・ｎｎの４１～４４がセンサの場合：「センサｎｎです」　（ｱﾅﾛｸﾞ値：最大３桁　積算値：最大８桁）	[＃２２ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏ）
3	出力接点情報収集 個別情報 出力接点情報収集 全端子情報	指定した出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」 全出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・オン端子がない場合：「オンありません」 ・オン端子がある場合：「接点出力ｎｎ・・・接点出力ｎｎがオンです」または 「録音（オン）＋録音（オン）・・・＋接点ｎｎ・・がオンです」	[＃３１ｎｎ] （ｎｎ：出力接点Ｎｏ） [＃３１９９]
4	出力接点制御 ＯＮ／ＯＦＦ	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合：「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合：「録音（オン）／録音（オフ）」	オン：[＃４１ｎｎ] オフ：[＃６１ｎｎ] （ｎｎ：出力接点Ｎｏ）
5	集音マイク制御 ＯＮ／ＯＦＦ ゲイン調整	指定したマイクをオンまたはオフする ・オンの場合：「オンしました」を送出後、マイクをオンする ・オフの場合：マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクＯＮ中、[０]～[３]の受信により、マイクのゲインを制御する	オン：[＃４２０ｎ] オフ：[＃６２９９] （ｎ：マイクＮｏ）
6	スピーカ制御 ＯＮ／ＯＦＦ	指定したスピーカをオンまたはオフする ・オンの場合：「オンしました」を送出後、スピーカをオンする ・オフの場合：スピーカをオフし、「オフしました」を送出する	オン：[＃４３０ｎ] オフ：[＃６３９９] （ｎ：スピーカＮｏ）
7	時計設定 月日／時刻／曜日	時計（月日／曜日／時刻）を設定し、設定完了後「ピー」を送出する	月日：[＃８１ｍｍｄｄ] （ｍｍ：月，ｄｄ：日） 時分：[＃８２ｈｈｍｍ] （ｈｈ：時，ｍｍ：分） 曜日：[＃８３ｗ] （ｗ：曜日，日(1)～土(7)）
8	積算値クリア センサ／アナログ	センサ／アナログ端子の積算値をクリアし、クリア完了後「ピー」を送出する	センサ　：[＃０１ｎｎ] （ｎｎ：センサＮｏまたは ９９でオールクリア） アナログ：[＃０２ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏまたは ９９でオールクリア）
9	現在状態確認	異常復旧通報帳票に設定されている現在状態を送信する	[＃５１０１]
１０	定時状態要素１ （前回）	定時状態通報の要素０１の条件で、前回通報された帳票を送信する （標準設定では、前日の日報となります）	[＃５１１１]
１１	定時状態要素１ （前々回）	定時状態通報の要素０１の条件で、前々回通報された帳票を送信する （標準設定では、前々日の日報となります）	[＃５１１２]
１２	定時状態要素２ （前回）	定時状態通報の要素０２の条件で、前回通報された帳票を送信する （標準設定では、前月の月報となります）	[＃５１２１]
１３	定時状態要素２ （前々回）	定時状態通報の要素０２の条件で、前々回通報された帳票を送信する （標準設定では、前々月の月報となります）	[＃５１２２]
１４	定時状態要素３ （前回）	定時状態通報の要素０３の条件で、前回通報された帳票を送信する （標準設定では、使用しません）	[＃５１３１]
１５	定時状態要素３ （前々回）	定時状態通報の要素０３の条件で、前々回通報された帳票を送信する （標準設定では、使用しません）	[＃５１３２]
１６	制御方式切替 音声／センタ	テレコントロール制御方式を（音声制御／センタ制御）を切り替える 音声→センタに切り替えた場合、ＤＴＭＦ[＊＊]を送出する	センタ→音声：[＃９１０１] 音声→センタ：[＃９１０２]
１７	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	[＃９９９９]

注）Ｎｏ．１０～１５は、ＦＡＸＵ（オプション）機能

②センター制御

例：「出力接点01を動作させる(外部機器の制御)」の場合

必要なだけ繰り返すことができます。

注1. 録音メッセージは、[種別(20)：自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21)：暗証番号／項目(09)：暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やコマンドを受信すると「＃＃」(エラーコマンド)をセンター装置に送出します。
注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23)：オンラインメンテナンス／項目(01)：コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。

センタ制御コマンド

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	センサ全端子情報収集	全センサ入力端子の状態をＤＴＭＦで送出する（送出データは次ページ参照）	［＃１１９９］
2	アナログ全端子情報収集	全アナログ入力端子の状態をＤＴＭＦ信号で送出する（送出データは次ページ参照）	［＃２１９９］
3	出力接点全端子情報収集	全出力接点端子の状態をＤＴＭＦ信号で送出する（送出データは次ページ参照）	［＃３１９９］
4	出力接点制御 ＯＮ／ＯＦＦ	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、ＤＴＭＦ［＊＊］を送出する	オン：［＃４１ｎｎ］ オフ：［＃６１ｎｎ］ （ｎｎ：出力接点Ｎｏ）
5	積算値クリア センサ／アナログ	センサ／アナログ端子の積算値をクリアし、ＤＴＭＦ［＊＊］を送出する	センサ　：［＃０１ｎｎ］ （ｎｎ：センサＮｏまたは ９９でオールクリア） アナログ：［＃０２ｎｎ］ （ｎｎ：アナログＮｏまたは ９９でオールクリア）
6	制御方式切替 音声／センタ	テレコントロール制御方式を（音声制御／センタ制御）を切り替える 音声→センタに切り替えた場合、ＤＴＭＦ［＊＊］を送出する	センタ→音声：［＃９１０１］ 音声→センタ：［＃９１０２］
7	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	［＃９９９９］

センタ制御送出データ

センタ制御において、情報収集コマンド([＃1199]等)を受信した場合、以下のようなDTMFデータを送出します。

1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

開始コード				終了コード
A	端子データ		端子データ	A

端子データ	
種別コード	情報データ
Bxx	

2. 端子データ

端子データは、受信コマンドにより、以下のようになります。

①センサ全端子情報収集[＃1199]

[＃1199]の受信により、全てのセンサ入力(アナログをセンサとして使用しているものを含む)とANDを以下の順に送出する

送出順:センサ01…センサ08……センサ41…センサ44……AND01…AND05

(センサ41～44がアナログ入力の端子やAND通報が設定されていない場合は、送出しない)

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
センサ001～008 センサ041～044 (注2)	メーク/ブレーク	—	11	端子No(3桁)+状態(2桁)	00:復旧(正常) 01:異常 09:実装異常
	パルス積算	異常通報	12	端子No(3桁)+状態(2桁)	
		積算値通報	13	端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)	
	時間積算	異常通報	14	端子No(3桁)+状態(2桁)	
		積算値通報	15	端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)	
AND001～005	—	—	41	端子No(3桁)+状態(2桁)	

注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注2. 外部スイッチ及び外部停止ボタンとして使用している端子の状態は正常(00)を送出する。

②アナログ全端子情報収集[＃2199]

[＃2199]の受信により、全てのアナログ入力を以下の順に送出する

送出順:アナログ01…アナログ04

(アナログ01～04がセンサ入力の端子は、送出しない)

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
[＃2199] アナログ001～004	しきい値	異常通報	31	端子No(3桁)+状態(2桁)	00:復旧(正常) 01:異常(積算値の場合) X1:異常(X:しきい値1～5) 09:実装異常
		アナログ値通報	32	端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(3桁)	
	積算値	異常通報	33	端子No(3桁)+状態(2桁)	
		積算値通報	34	端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(8桁)	

注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

③出力接点全端子情報収集[＃3199]

[＃3199]の受信により、全ての出力接点を以下の順に送出する

送出順:出力接点01…出力接点04

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
[＃3199] 出力接点001～004	—	—	91	端子No(3桁)+状態(2桁)	00:オフ 01:オン 09:実装異常

③エレベータホン制御

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号／項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール／項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。
注5. ID番号は「種別(01):IDコード／項目(01):ID番号」で設定して下さい。
注6. 子機番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール／項目(02):子機番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

エレベータホン制御サービス番号

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	自動応答による エレベータ通話	エレベータ暗証番号受信後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	
2	プレストーク送話	かご内の音声をセンターに送出する	[2]
3	プレストーク受話	センターからの音声がかご内に送出される	[3]
4	通話延長	終話予告音中から３０秒以内ＤＴＭＦ［4］または［#］受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートする	[4] または [#]
5	終話	３秒後に「ピー」を送出し、回線を開放する	[6]
6	一斉受話	センターからの音声が全かご内に送出される	[7]
7	再送要求	１秒後にセンターへの端末情報を送出する	[8]
8	ハンズフリー通話	３秒後に「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える	[9]
9	ハンズフリー 受話レベル調整	ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	[92n]
１０	ハンズフリー 受話感度調整	ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[93n] (n：0～7)
１１	ハンズフリー 送話感度調整	ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[94n] (n：0～7)
１２	テレコン切替	エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切り替える	[1]

◆オンラインメンテナンス機能(保守機能)

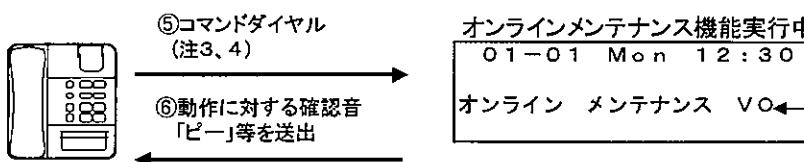
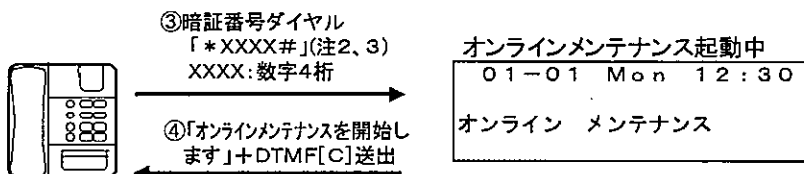
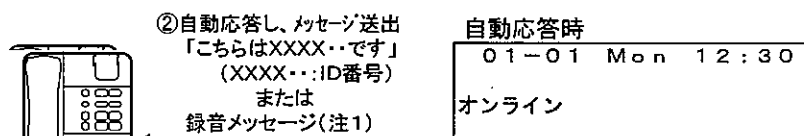
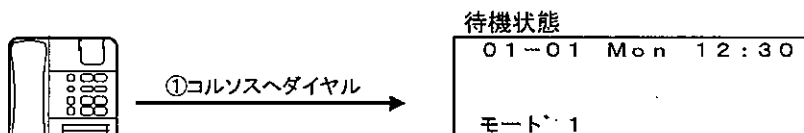
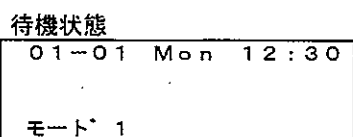
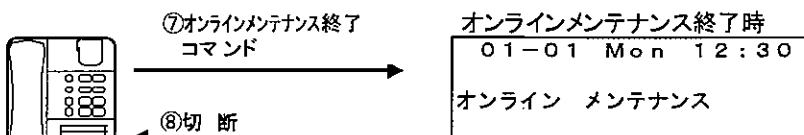
オンラインメンテナンス機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のコマンド送出によって、遠隔操作を行う機能です。
また保守端末(保守用FDが動作可能なパソコン)を使用してシステムデータのアップ/ダウンロード等も行えます。

⚠**注意:保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。**

通常の監視機能(センサ入力、積算等)も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

また、保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。。

・出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
・入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
・「定時(状態)間隔通報」、「アナログ入力定時記録・印刷」を運用している場合は、保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

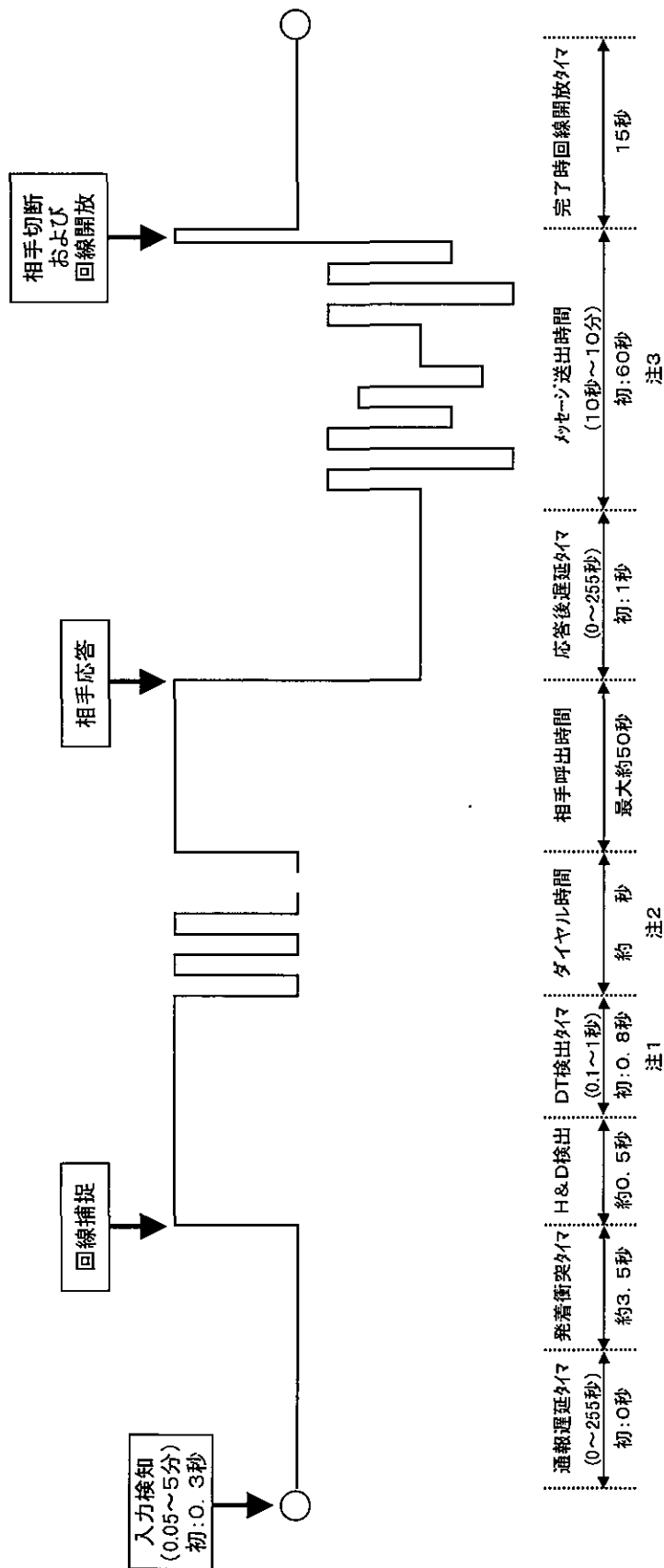
①電話機からのオンラインメンテナンス機能

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23):オンラインメンテナンス/項目(01):コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。

オンラインメンテナンスコマンド

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	システムデータ設定 アップ／ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ／ダウンロードする	―
2	音声メッセージの制御	本装置の録音メッセージフレーズを制御する 録音の場合：指定されたフレーズが録音済みの場合、エラー音「ピッピッピ」を送出する 再生の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ピッピッピ」を送出する 消去の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ピッピッピ」を送出する 消去完了後「ピー」を送出する 注意：録音の場合、録音終了コマンド［＊］音が５０ｍｓ程度フレーズに録音されます。	録音：［＊１１ｘｘ］後２０秒以内に［＊］で録音開始 再度［＊］で録音終了 再生：［＊１２ｘｘ］ ［＊］で再生停止 消去：［＊１３ｘｘ］ （ｘｘ：フレーズNo.００～６３）
3	ｺﾏﾝﾄﾞ待ちﾀｲﾏﾘｽﾀｰﾄ	コマンド待ちタイマをリスタートする	［＊００００］
4	ｵﾝﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ終了	オンラインメンテナンスを終了し、回線を開放する	［＊９９９９］

CS・D7　音声通報タイミングチャート

①正常終了の場合

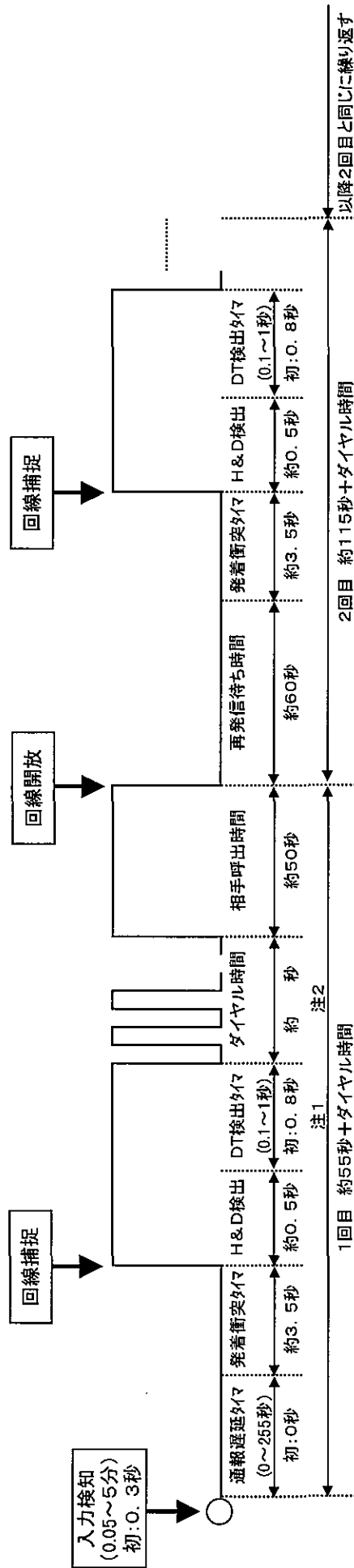
（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3. 2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

注3. メッセージの1フレーズ途中切断は、通信切断となり再通報する。

CS・D7　音声通報タイミングチャート

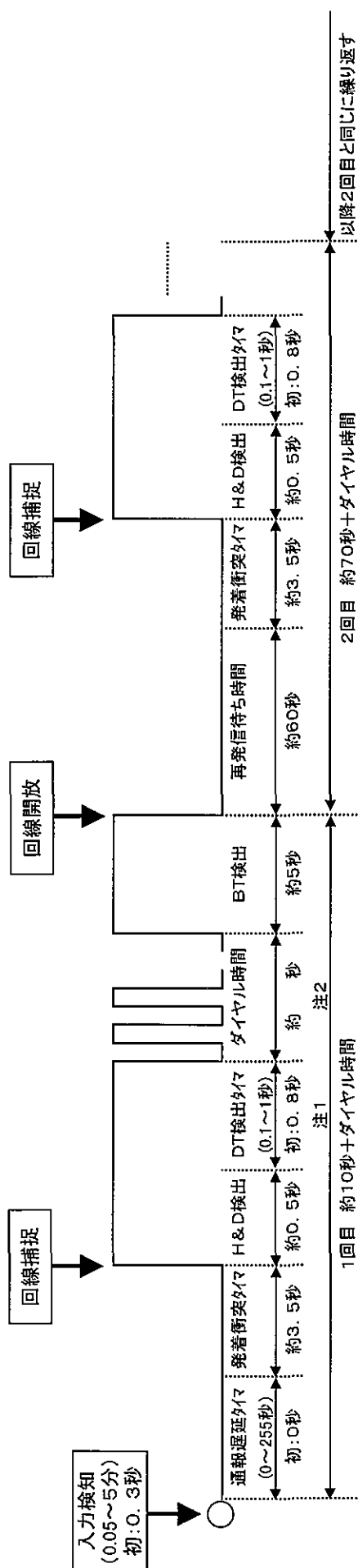
②相手不応答時の場合（通報先設定：1宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

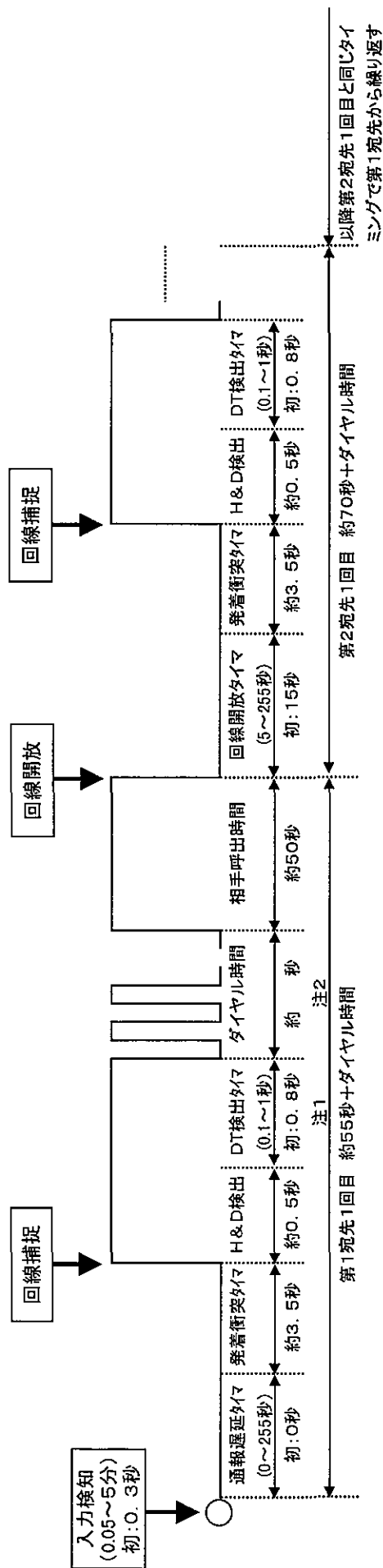
ＣＳ・Ｄ７　音声通報タイミングチャート

③相手話中時の場合（通報先設定：1宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。
注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

ＣＳ・Ｄ７　音声通報タイミングチャート

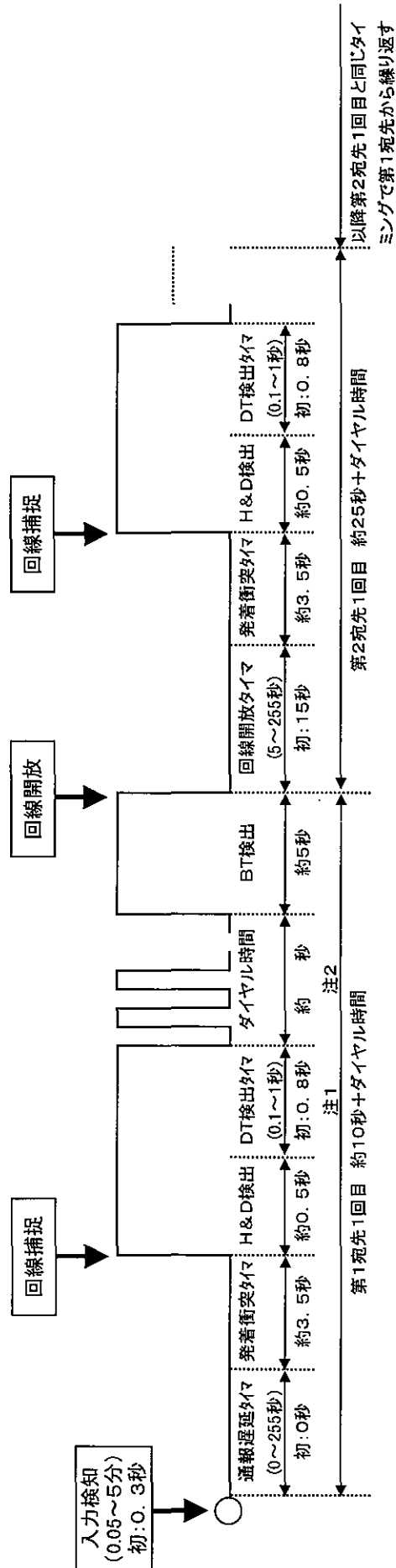
④相手不応答時の場合（通報先設定：2宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

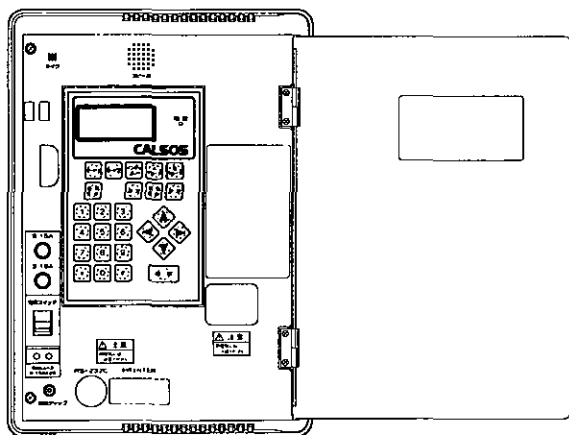
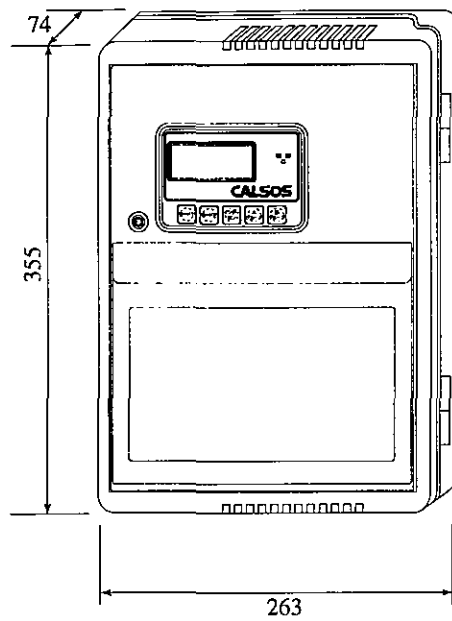
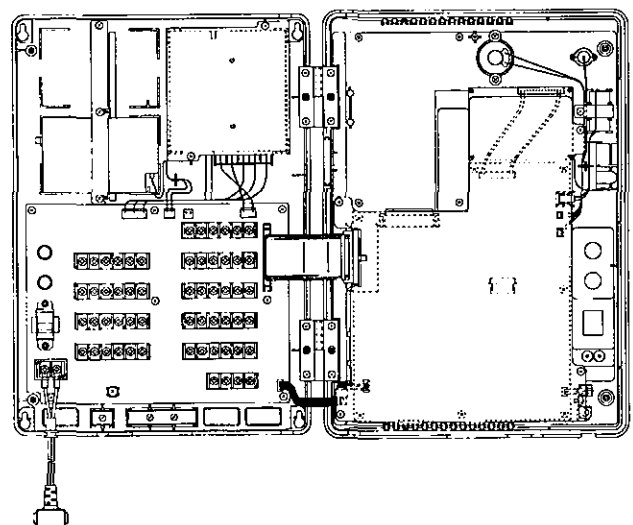
注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

CS・D7　音声通報タイミングチャート

⑤相手話中時の場合（通報先設定：2宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3. 2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

◆CS・D7通報装置外観図（1/2）

外カバー扉を開いた状態

内カバー扉を開いた状態

◆CS・D7通報装置外観図（2/2）